

平成20年度障害者保健福祉推進事業 障害者自立支援調査研究プロジェクト

「発達障害者の地域支援を効果的に行うための調査研究」 平成20年度3月

特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

研究代表者 辻井正次(アスペ・エルデの会CEO・統括ディレクター/中京大学現代社会学部教授)

第1章 はじめに

中京大学 辻井正次

1. はじめに

わが国においては、2005年4月より発達障害者支援法が施行され、発達障害児者に対する支援がスタートしている。いろいろな事業を通して、支援が着実に進められている。しかし、いまだに障害者福祉サービス体系の基本法である障害者自立支援法に明確な位置づけがなされていない。今回、平成20年度において、障害者自立支援法の見直し作業において発達障害者の支援サービスを実現していく上で、発達障害としての診断と障害程度区分の位置づけの仕方についての検討が急務となっている。障害による支援のニーズを明確化し、それに対応するサービスを提供する基本的な枠組みへ向けて、大きな取り組みが必要になっている。

この事業においては、今後の発達障害児者福祉サービスを、当事者や当事者家族の支援ニーズにそった形で構成し直すために、その基本となる標準的な把握の仕組みを構築するための最初の一步に当たる。実際には、非常に大きな研究と実践の両面での取り組みが必要となってくるであろう。

2. 支援ニーズの把握を可能にする枠組みの必要性

発達障害、もしくは発達障害としての支援が有効に機能する人たちの把握において、実際の行政サービスを円滑に進めていくため、支援ニーズを客観的に把握できる基本的なツールが開発および普及できていない状況である。つまり、発達障害の人たちに、その人が受けて当然の支援を提供するための基本的な基準作りが不十分な状態にあると考えられる。こうした中、申請者たちは、特に広汎性発達障害児者の支援ニーズを把握するためのツールとして、広汎性発達障害評価尺度(PARS)を作成し、信頼性・妥当性の検討を行ってきた。しかし、実際に障害者自立支援法による障害児者福祉サービスの提供を考えた場合、必要な支援の評価手法において、必要なアセスメント・ツールが存在しないという問題点がある。国際的にはすでに障害程度は知能指数(IQ)だけでなく、適応状況からも評価される。日本ではまだ障害の程度についてはIQのみが基準となっており、対人関係や社会性など日々の生活や行動上の適応の困難さが明らかでもIQが高いと評価されない。

それは適応状況を把握する上での評価尺度が日本国内で標準化されたものがないためである。そのため発達障害児者が、必要な支援が受けられないという不都合が生じている。世界的には、適応(adaptation)という視点で、社会的な適応指標を評価しているのに対して、わが国においてはそうした標準化された適応指標が存在せず、そのために、どういう支援ニーズを発達障害児者が有しているのか、明確にすることができないために、必要な支援が提供できない、同様に、支援効果の検討が難しいという実態が生じている。筆者らは、国内での発達障害の研究者ネットワークを構築し、支援方法の開発や普及に取り組む一方、すでに、広汎性発達障害の評価においては、今回の研究チームはPARSという診断補助的な評価尺度を開発し、実際に国内で広く使われるようになってきている。PARSは診断的な目的で開発されたため、実際の支援サービスのためのニーズ評価のためのものではなく、国際的な比較にも耐えうる適応状況評価のためのツールが待ち望まれている。

国際的に最も標準的に活用されている Vineland Adaptive Behavior Scales (第2版) 日本版の作成と標準化によって発達障害児者の適応状況や生活・行動の困難度を評価できる仕組みを開発すること。本調査研究を実施することで、発達障害児者の障害程度区分判定などをより適切に実施することを可能にするための知見を集約し、発達障害児者への支援サービスの適正な提供を可能にすることができる。

3. この事業の目的

発達障害児者の支援の前提となる、社会的な適応行動の指標を示す評価尺度が存在することにより、行動上の適応状況について評価が可能になる。日本における適応評価尺度が開発されることによって、発達障害児者の個々の支援ニーズの把握が可能となり、支援計画や障害程度区分においてもより適切な実施につながり、支援を必要とする人に対して適切な支援の実施が可能となる。

ついでには、国際的に最も標準的に活用されている Vineland Adaptive Behavior Scales の日本版の開発と標準化のための調査研究を実施することで、発達障害児者の適応状況や生活・行動の困難度を正しく評価し、障害程度区分判定などをより適切に実施することを可能にするなど、具体的な施策提言につなげる。

本研究の成果によって、現在、障害児者福祉サービスのなかでの位置づけが不明確な発達障害児者の支援のための支援ニーズが、世界的な標準的な枠組みにおいて可能になる。Vineland Adaptive Behavior Scales (VABS) は、コミュニケーション領域(受容言語、表出言語、書字)、日常生活スキル(身辺自立、家事、地域生活)、社会性(対人関係、遊びと余暇、コーピング・スキル)、運動スキル(粗大運動、微細運動)、不適応行動(内向性、外向性、その他、重要事項)の各領域をもち、かなり地域での日常生活での適応度・困難度を把握できる枠組みになっている。こうした世界標準の枠組みをもとに、さらに行政的に活用できる簡易なニーズ把握の方法を開発することで、エビデンスのあるニーズ把握を確立することができる。

この研究の社会的な意義として、発達障害を基本として、知的障害や精神障害など、日常生活の行動という観点で、当事者のできている行動を同じ基準で比較検討することが可能になり、現在、障害者自立支援法で課題となっている、障害程度区分などでの重症度評価において、より妥当性の高い枠組み作りができることが期待される。

第2章：発達障害児者の支援ニーズのアセスメントについて

鳥取大学 井上雅彦

徳島大学 原 幸一

1. 発達障害におけるアセスメント

1) 発達や認知・言語のアセスメント

我が国で発達障害児者のアセスメントによく使用されるアセスメントは以下の表のようなものである。大きくは一般的なスクリーニング検査と障害が疑われる場合に用いられる検査とに分けられる。また、診断後の教育等の援助に必要な諸特徴を知るために用いられる検査がある。査定の年齢と領域によって使い分けが行われている。

以下に簡単な説明を付す。まず、集団での問題行動等が見られる場合には一般的な検査を用いてスクリーニングを行う。1歳半健診、3歳児健診、または発達相談場面では行動、発達が気になる子ども達に対しては年齢に応じたアセスメントが行われている。

乳幼児期においては親からの聞き取り、もしくは観察や介入的な関わりの反応から査定を行う。聞き取りの代表的な道具としては津守式乳幼児精神発達検査、KIDS 乳幼児スケールなどが用いられている。個別的な関わりを含めた査定では遠城寺式、新版 K 式などが用いられており、発達指数として同年齢の子どもたちとの比較での運動、言語、社会性、認知などの水準をみることで特徴を調べる。個別式の検査としては日本では標準化されていないが海外で用いられている道具として Bayley 式乳幼児発達検査(BSID-II)があり、運動および心理面での発達のアセスメントが可能である。

発達面での問題がスクリーニング検査により疑われる場合にはその後さらに能力面でのアセスメントを行う。認知面、言語面での問題の特徴を知るためには個別式の知能検査が用いられ、田中ビネー式知能検査や、言語性・動作性の知能プロフィールからその子どもの認知の特徴を知ることができる WIPPSI (ウェクスラー幼児用知能検査)、WISC (ウェクスラー児童用知能検査) などのウェクスラー系知能検査が用いられる。言語面では ITPA (イリノイ心理言語検査) により言語の理解・表出能力を評価し、言語発達の偏りを知ることができる。認知能力の偏りを知るためには K-ABC が用いられ、継時処理・同時処理などの認知処理過程や習得度の特徴を抽出する手がかりとする。これらの情報は認知・言語の発達水準と特徴を記述するためであり、そのみでは診断の道具とはならない。また、発達障害の特徴と生活面での困難度を明確にするには限界がある。

2) 発達障害のスクリーニングや評価に関するアセスメント

発達での各年齢において発達障害が疑われる場合にはそれぞれの特化した査定を用いる。例えば社会性、言語などの領域で問題が見られた場合には M-CHAT (幼児症自閉症チェックリスト)、高機能自閉症のスクリーニングには ASSQ (Ealer & Gillberg1999) などが使

用される。また子どもとの関わり、観察から発達障害の有無とその水準を査定する道具としては Schopler の CARS (小児自閉症評価尺度) があり、評価は主に訓練を受けた専門家 (心理士) により、自閉症の重症度を含めて評価することができる。しかしながら現時点では CARS では知的障害をもつ自閉症児の評価が主とされ、知的障害をもたない自閉症 (高機能自閉症、アスペルガー障害) を含む広汎性発達障害全体の評価としては、養育者へのインタビューによる PARS (辻井ら、2006) が利用可能である。

自閉症診断において使用される国際的な評価ツール、例えば Rutter, LeCouteur and Lord (2003) による ADI-R (Autism Diagnostic Interview Revised: 自閉症診断面接改訂版) や Lord ら (1989) による ADOS (Autism diagnostic observation schedule: 自閉症診断観察法) などについては我が国では標準化作業が完成していない。現在 ADI-R や ADOS はライセンス制となっており米国の研修に参加し英語でのトライアルをクリアする必要がある。日本版については著作権の問題もあり、最近ようやく一部の研究者が研究用の一時的なライセンスを取得し我が国でのデータを報告している段階にある (中村・土屋・八木ら, 2008)。

2. 適応行動の評価と測定

適応行動は人が自ら機能し、かつ自立して生活していくことのできる度合いと個人的及び社会的責任について文化的に課せられている要請を十分に満足する程度との2側面に分けられ、その概念は成熟、学習、社会適応の3つの範疇を包摂する概念であるとされている (Heber, 1961)。適応行動の評価は支援ニーズや効果を測定する最も重要な評価であり、生活に必要な支援の程度を客観的に測定できることを考えれば支援制度を運用する場合においても活用できる。

DSMIV-TR においても標準化された適応行動の評価の必要性が示されているが国際的なスタンダードとされる適応行動の評価尺度は以下の3つである。Vineland Adaptive Behavior Scales 2nd ed. (Sparrow, Bulla, & Cicchetti, 2005) は、乳幼児から成人期までの社会的自立を評価するように構成され、知的障害、自閉症、発達障害、言語障害を含む広範囲にわたる障害の診断または評価のために必要な情報を提供することが可能である。VABS は、運動スキル、コミュニケーションスキル、日常生活スキルなどを評価できる最もメジャーな評価方法である。

Adaptive Behavior Assessment System—2nd edition (ABAS-II; Harrison, P. L., & Oakland, T. 2003) はアメリカ精神薄弱協会 AAMD が開発した歴史ある適応行動尺度の2版であり、出生から89歳までを対象とし、介護者、親、教師、本人など年齢段階によって評価フォームを用意し4ポイントのリカー尺度で個人のパフォーマンスを評価する。

Scales of Independent Behavior-Revised (SIB-R; Bruininks, Woodcock, Weatherman, & Hill, 1996) は乳児期から90歳までを対象として運動スキル、社会的相互交渉とコミュニケーションスキル、個人的生活スキル (personal living skills)、地域生活スキル (community living skills) の4領域14のサブスケールから構成されている半構造化され

たインタビューである。またオリジナルの SIB から 77 の項目を抜き出した Individual Client and Agency Planning (ICAP; Bruininks, Hill, Weatherman, and Woodcock, 1986) は約 15 分間で施行可能なスケールである。

これらの評価尺度の中で本邦では、初版 A B S の日本版が富安ら (1973) によって「適応行動尺度」として標準化され出版されているが現在は絶版となっており、前述の Vineland 適応行動尺度の前身である Vineland 社会的成熟尺度 (Vineland Social Maturity Scale) に関しては三木 (1959) により「社会生活能力検査」として出版されているが、これは Vineland 社会的成熟尺度の項目抽出版であり現在の Vineland 適応行動尺度については未だ標準化がされていない。国際的なスタンダードとされる適応行動の評価尺度の日本版が存在しないことはエビデンスに基づいた支援研究の推進においても大きな障壁となる。また我が国の自立支援法という新しい支援制度の中でも、発達障害だけでなく、知的障害、自閉症、言語障害、精神障害など多様な障害種に適用でき、かつ適用年齢の広い適応行動評価尺度を開発することが必要とされる。

文献

- Bruininks, R. H., Woodcock, R. W., Weatherman, R. F., & Hill, B. K. (1996).
SIB-R-Scales of Independent Behavior-Revised: Comprehensive manual. Itasca, IL: Riverside.
- Bruininks, R. H., Hill, B. K., Weatherman, R. F., and Woodcock, R. W. (1986).
Examiner's Manual. ICAP: Inventory for Client and Agency Planning. DLM Teaching Resources, Allen, TX.
- Ehlers, S., Gillberg, C., & Wing, L. (1999). A screening questionnaire for Asperger syndrome and other high-functioning autism spectrum disorders in school age children. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 29, 129-140.
- Harrison, P. L., & Oakland, T. (2003). Adaptive Behavior Assessment System—2nd edition: Manual. San Antonio, TX: The Psychological Corporation.
- Heber, R.F. (1961). A Manual on Terminology and Classification in Mental Retardation. Pineville, LA: American Association on Mental Deficiency. 1961
- Lord, C., Rutter, M., Goode, S., Heemsbergen, J., Jordan, H., Mawhood, L., & Schopler, E. (1989). Autism Diagnostic Observation Schedule: A standardized observation of communicative and social behavior. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 19, 185-212.
- 三木安正 (1959) S M社会生活能力検査手引き. 日本文化科学社.
- 中村和彦・土屋賢治・八木敦子・松本かおり・宮地泰士・辻井正次・森則夫 (2008) . 成人期アスペルガー症候群の ADI-R(自閉症診断面接改訂版)による診断—生物学的研究との

関連でー。(特集 成人期のアスペルガー症候群(2), 精神医学, 50(8), (通号 596), 787-799.
医学書院.

Rutter, M., LeCouteur, A., & Lord, C. (2003). *The Autism Diagnostic Interview, Revised (ADI-R)*. Los Angeles: Western Psychological Services.

Sparrow, S. S., Balla, D., & Cicchetti, D. V. (2005). *Vineland adaptive behavior scales (2nd ed.)*. Minneapolis, MN: Pearson Assessments.

富安芳和, 村上英治, 江見佳俊(1973)適応行動尺度の手引き. 日本文化科学者.

辻井正次・行廣隆次・安達潤・市川宏伸・井上雅彦・内山登紀夫 2006

日本自閉症協会広汎性発達障害評定尺度 (PARS) の幼児期尺度の信頼性・妥当性の検討
臨床精神医学 35(8), pp1119-1126.

表 1

発達障害児者への支援に関する主要なアセスメント

領域	種類	テストや特徴など
過去の発達や診断	生育歴	前年度までの配慮や支援情報を得たり、専門機関と連携するために活用する 子どもの行動特徴以外に聞き取りの過程で親の障害理解を推察する情報にもなる。 主治医とのコミュニケーションの密度や薬に対する理解や抵抗等も推察する
	教育歴・相談歴 診断歴 投薬歴	
発達・心理・認知	乳幼児発達	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、津守式乳幼児精神発達診断法、KIDS乳幼児発達スケールなど、乳幼児用で全般の発達を大まかに評価することが可能。記述式のため簡便であり園などでも実施可能。 フロスティング視知覚発達検査。視覚と運動の協応発達を評価する（4歳～7歳11ヶ月まで）読み書きの力の把握に使用する 主として専門機関や特別支援学級・学校により実施。発達指数・知能指数や個人内差、認知処理方略などのより詳しい情報が得られる。新版K式発達検査、田中ビネー、WPPSI（3歳10ヶ月～7歳1ヶ月）、WISC（5歳～16歳11ヶ月）、K-ABC（2歳6ヶ月から12歳11ヶ月）など
	視知覚発達	
	個別実施式検査	
障害・行動特性 行動	スクリーニング質問紙 質問紙 エピソード記録	LD児用はPRSやLDI、ADHD児用はADHD-RS、広汎性発達障害児用ではPARSなど、CBCL（行動チェックリスト） かかわりの中で具体的に日々の様子を記録する。観察の視点としてはアイコンタクト、集団や個別場面での指示理解、姿勢、落ち着き、言語理解、言語表現、会話のズレやニュアンスの誤解、運動動作、人物画、遊びの中でのルール理解やこだわりなど 具体的な気になる行動について事前・事後をあわせて記録する 気になる行動の記録を時系列上に整理することで起こりやすい時間や条件を推定する 平日・休日の家庭や学校での行動の様子を記述。余暇やコミュニケーションの機会やQOLを評価する
生活 環境	質問紙 生活地図 教室環境・家庭環境など	SM式社会生活能力検査など 地図上に生活圏を記載することで生活スキルや余暇、QOLを評価 家庭や家族、地域、クラスメイトの理解や対応、教室環境、学校の体制、連携機関の情報を得る。主として聞き取りによる。

機能分析による行動観察、スキッター・プロット、環境アセスメントシートなど

第3章： 適応行動尺度の作成

1) Vineland Adaptive Behavior Scales について

北海道教育大学旭川校 萩原 拓

1. 概要

Vineland Adaptive Behavior Scales (Vineland ABS) (Sparrow, Balla, & Cicchetti, 1984) [現在の第2版は Vineland Adaptive Behavior Scales, Second Edition (Vineland-II) (Sparrow, Cicchetti, & Balla, 2005)] は、米国で開発された適応行動尺度であり、大規模なサンプル (Vineland-II では 3000 人以上) によって標準化されている。Vineland は、定型発達はもとより、知的障害、広汎性発達障害 (PDD) をはじめとするさまざまな障害をもつ人々の診断およびアセスメントに用いられてきた。米国をはじめとする英語圏における PDD 診断ツールには Autism Diagnostic Interview- Revised (ADI-R; LeCouteur et al., 1989; Lord, Rutter, & LeCouteur, 1994) と Autism Diagnostic Observational Schedule (ADOS; Lord, Rutter, DiLavore, & Risi, 1999) が定番化してきており、それに加えてウェクスラー検査に代表される知能検査、そして適応行動尺度が実施されることが多い。

多くの PDD に適応行動の未発達がみられることは、これまでの研究者によって示唆されてきていることである (例えば Gillham et al., 2000)。これはつまり、現在の PDD 診断および支援を考慮していく上で、個人の認知機能を包括的に把握することに加え、個人が環境でどの程度機能するのか、また自立できるのかを知ることの重要性を同時に示唆している (Tomanik et al., 2007)。米国において Vineland は特に、PDD の研究や診断・アセスメントに用いられることが多く、第2版は特に、アスペルガー症候群などのより高機能な PDD を視野に入れて開発された (Hagiwara et al., 2007)。最近の研究では、定番の ADI-R と ADOS に加え、Vineland のような適応行動尺度を実施することによって診断の信頼性が向上するとの報告がされている (Tomanik et al., 2007)。また、Klin ら(2007)も ADOS と Vineland を用いて適応行動と PDD の障害性に関する研究を行った。この研究結果では、ADOS で評価する「障害度」と Vineland で評価する「適応度」は、コミュニケーションと社会性の支援において、別の領域として考えていくことの可能性が示唆された。つまり、PDD の診断・アセスメントにおける Vineland の重要性は、他の診断ツールに比べて低いものではないことがうかがえる。

本プロジェクトでは、Vineland の改訂版である Vineland-II を使用した。Vineland-II では、標準化の強化に加え、American Association on Mental Retardation (AAMR, 2002) や Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fourth Edition, Text Revision (DSM-IV-TR, APA, 2000) などの最新の診断基準に合わせた改訂がなされている。Vineland-II は、保護者との面接形式をとる Survey Interview Form、保護者が記入回答する Parent/Caregiver Rating Form、教師が記入回答する Teacher Rating Form の3形式を

とるが、本プロジェクトでは、米国の臨床で最も利用されている、Survey Interview Formを使用した。

2. Vineland-II が評価する適応行動

適応行動の定義にはさまざまなものがあるが、Vineland-II では「個人的・社会的充足を満たすのに必要な日常生活における行動 (p.6)」(Sparrow, Cicchetti, & Balla, 2005) と定義されている。ここで定義された適応行動を決定するものとして、Vineland-II の著者らは4つの原則を挙げている。第1に、適応行動は年齢に関連するものであり、それぞれの年齢で重要となる適応行動は異なる。第2に、適応行動は他人の期待や基準によって決定される。つまり、個人が関わる環境によって適応行動の評価も変化するということである。第3に、適応行動は環境の影響や支援などによって良くも悪くもなる。そして第4に、適応行動は行動自体を評価するものであり、その可能性を評価するものではない。つまり、個人に能力や知識があっても、それが実生活で実施・観察されない限りはその行動を評価することはできない。Vineland-II では、以上の定義・原則に基づいて個人の適応行動が評価される。

3. Vineland-II の構成

Vineland-II は5つの領域 (Domain) から成り、それぞれの領域を下位領域 (Subdomain) が構成している。

Domain	Subdomain
Communication Domain (コミュニケーション領域)	Receptive (受容言語)
	Expressive (表出言語)
	Written (読み書き)
Daily Living Skills Domain (日常生活スキル領域)	Personal (身辺自立)
	Domestic (家事)
	Community (地域生活)
Socialization Domain (社会性領域)	Interpersonal Relationships (対人関係)
	Play and Leisure Time (遊びと余暇)
	Coping Skills (コーピングスキル)
Motor Skills Domain (運動スキル領域)	Gross (粗大運動)
	Fine (微細運動)
Maladaptive Behavior Domain (不適応行動領域)	Internalizing (内向性)
	Externalizing (外向性)

	Other (その他)
	Maladaptive Critical Items (重要事項)

対象者が定型発達の場合、運動スキル領域は6才までを評価対象とする。また、不適応行動領域はオプションであり、回答者に許可を求めてから質問をするのが原則となっている。

4. 標準化サンプルと Clinical Sample

Vineland-II は、0～90 才までの 3695 人を標準化サンプルとして標準化された。適応行動は若年齢でその発達が早いことから、若い年齢のサンプルがより多くとられている。また、この標準化サンプルには、米国の人口分布に合わせてさまざまな障害をもつ人々（例えば、知的障害、PDD、学習障害など）も含まれている。

標準化サンプルに加え、障害をもつ人の適応行動評価の妥当性を高めるために、Clinical Sample と呼ばれる、以下の障害に分類したサンプルがとられ、それぞれの障害ごとに領域・下位領域のプロフィールがまとめられている。

- attention-deficit/hyperactivity disorder
- autism-nonverbal
- autism-verbal
- emotional or behavioral disturbance
- deafness/hard of hearing
- learning disability
- mental retardation mild
- mental retardation-moderate
- mental retardation-sever/profound
- visual impairment

この Clinical Sample をベースとした障害ごとのプロフィールによって、Vineland-II では、標準化サンプルと対象者の比較のみならず、それぞれの障害における適応行動発達のパターンに照らし合わせた、より詳細な分析が可能である。

5. 回答者

一般的に、Survey Interview Form の回答者には、対象者の日常をよく知っている成人が選ばれる。対象者が若年の場合は両親、養育者などの保護者が回答者となるケースが多い。また、対象者が成人の場合には、配偶者、成人の家族などが考えられる。対象者が家族と同居していない場合には、対象者の日常を観察できる立場にいる人物（施設職員、カウンセラー、職場の上司など）が回答者に選ばれることもある。

6. 面接時間

マニュアルでは 20～60 分とされているが、対象者の年齢、障害のコンディションなどによって面接時間がそれより長くなることもある。

7. 面接の実施方法

初版の Vineland からの継承であるが、Vineland-II では、Semistructured（半構造化）な面接スタイルをとっている。これは、記録用紙に書いてある各項目をそのまま読んで質問していくのではなく、全体的な会話から次第に詳細事項へと移行する感じで、自然な会話の中で各項目について質問していく方法である。不適応行動領域を除いて、各下位領域の項目は適応行動の発達段階に沿って並んでいるが、Semistructured 面接法では、質問項目が多少前後しても構わないとされている。また、ひとつの行動がその程度によって複数の質問項目に分けられている場合（例えば、15 分話を聞く、30 分話を聞くなど）、一つの話題の中で複数の項目をスコアすることも可能になる。さらに、Semistructured 面接法では、さまざまな形で回答者に質問していくことによって、対象者のより正確な情報を聞き出すことが出来る。

8. Vineland-II のスコアリング

Vineland-II の各項目は、基本的に 2、1、0 の 3 段階で評価される。2 点は対象者がプロンプトなしにその行動を習慣的に行っている場合に与えられる。1 点はその行動の遂行にプロンプトが必要か、または時々行われている場合に与えられる。0 点は、対象者がその行動を滅多に行わないか、または行われていないことを意味する。Vineland-II における評価では、その行動を遂行する対象者の能力や知識に注目するのではなく、実際にその行動が観察できる形で遂行されているかが重要になる。また面接実施中に、ウェクスラー知能検査と同様な下限と上限の設定が各下位領域で可能であり、面接時間の短縮をはかっている。項目の質問内容によっては、対象者に当てはまらない場合も生じるため、そのような項目には「機会がない」ことを意味する N/O の評価がされる。また、回答者が質問に答えられない場合には DK (Don't Know) とスコアすることも可能であるが、このスコアが 1 つの下位領域に 3 つ以上ある場合、この下位領域全体の評価をすることはできない。

Vineland-II では、ウェクスラー知能検査と同様な標準スコア (M=100, SD=15) を各領域から、また下位領域からも v-Scale Score (M=15, SD=3) と呼ばれる標準スコアが得られる。コミュニケーション、日常生活スキル、社会性、運動スキルの領域を合わせて全般的適応行動の尺度となる、Adaptive Behavior Composite (M=100, SD=15) が換算される。不適応行動領域は他の領域と異なり、領域、下位領域ともに v-Scale Score (M=15, SD=3) が得られる。この領域の重要事項においては標準スコアの換算は行われず、それぞれの質問項目で問題行動の頻度（素点 2, 1）と強度（素点 S, M）をそれぞれ記録する。

さらに、上記の標準スコアを基準とした、パーセンタイル順位、Age Equivalent、Stanine に得点を換算することが出来る。また、より叙述的な評価として、標準スコアに従って Low、Moderately Low、Adequate、Moderately High、High の 5 段階にそれぞれの領域、下位領域を分類することも可能である。不適応行動領域においては、Average、Elevated、Clinically Significant の 3 段階が使われる。

参考文献

- American Association on Mental Retardation. (2002). *Mental Retardation: Definition, Classification, and Systems of Supports*, 10th Edition. Washington, DC: American Association on Mental Retardation.
- American Psychiatric Association. (2000). *Diagnostic and statistical manual of mental disorders* (4th ed., text rev.). Washington, DC: Author.
- Gillham, J., Carter, A., Volkmar, F., & Sparrow, S. (2000). Toward a developmental operational definition of autism. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 30, 269–288.
- Hagiwara, T., Cook, K. T., & Simpson, R. L. (2007). Assessment of students with autism spectrum disorders. In R. L. Simpson & B. S. Myles (Eds.), *Educating children and youth with autism: Strategies for effective practice* (2nd Ed.) (pp. 61-92). Austin, TX: Pro-Ed.
- Klin, A., Saulnier, C. A., Sparrow, S. S., Cicchetti, D. V., Volkmar, F. R., & Lord, C. (2007). Social and communication abilities and disabilities in higher functioning individuals with autism spectrum disorders: The Vineland and the ADOS. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 37, 748-759.
- Le Couteur, A., Rutter, M., Lord, C., Rios, P., Robertson, S., Holdgrafer, M., & McLennan, J. D. (1989). Autism Diagnostic Interview- Revised. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 19, 363–389.
- Lord C., Rutter, M., DiLavore, P., & Risi, S. (1999). *Autism diagnostic observation schedule (ADOS), manual*. Los Angeles, CA: Western Psychological Services.
- Lord, C., Rutter, M., & Le Couteur, A. (1994). Autism Diagnostic Interview- Revised: A revised version of a diagnostic interview for caregivers of individuals with possible pervasive developmental disorders. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 24, 659–685.
- Sparrow, S. S., Balla, D. A., & Cicchetti, D. V. (1984). *Vineland adaptive behavior scales*. Minneapolis, MN: Pearson.

- Sparrow, S. S., Cicchetti, D. V., & Balla, D. A. (2005). Vineland adaptive behavior scales, second edition: Survey forms manual. Minneapolis, MN: Pearson.
- Tomanik, S. S., Person, D. A., Loveland, K. A., Lane, D. M., & Shaw, J. B. (2007). Improving the reliability of autism diagnosis: Examining the utility of adaptive behavior. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 37, 921-928.

2) 調査方法

国立精神・神経センター 精神保健研究所 児童・思春期精神保健部
黒田美保

①日本語訳の作成

①-a. Vineland-II 適応行動尺度の臨床使用例：米国ノースカロライナ大学医学部発達障害センターTEACCH 部門での実践

Vineland Adaptive Behavior Scale Second Edition(以下、Vineland-II 適応行動尺度)は、Sparrow, S ら (2005) によってアメリカで作成された。アメリカ国内の多くの教育・療育・福祉機関で使用されている、半構造化面接による行動評価尺度である(詳細は、前項を参照)。現在、Vineland-II 適応行動尺度は、アメリカにとどまらず多くの国で使用されている、国際的にみても最も標準化された行動評定尺度といえる。2005年9月より、田中恭子(熊本市益城病院)と筆者は、米国ノースカロライナ大学医学部発達障害センターTEACCH 部門に留学し、Fayetteville, Wilmington の各 TEACCH センターで、自閉症スペクトラムの診断評価の陪席をすると同時に、Vineland-II 適応行動尺の実施方法、採点及び解釈方法の研究を受けた。

ここで、TEACCH における Vineland-II 適応行動尺度の使用方法を述べる。TEACCH とは、Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children の頭文字をとったもので、自閉症と、それに関連したコミュニケーション障害の子どもへの治療と教育と訳される。1960年代、Shopler, E.が自閉症は脳の障害に基づく認知障害であると捉えて作りだしたプログラムである。現在、ノースカロライナ大学医学部に本部をおき、同州全体を網羅し幼児から成人期までに及ぶ包括的な自閉症スペクトラムへの支援システムとなっている。また、同時に、世界有数の自閉症スペクトラム支援システムのモデルでもある。TEACCH センターのコア・サービスは、診断、療育指導、学校や他機関へのコンサルテーションの3つであり、その診断の部分に Vineland-II 適応行動尺度が取り入れられている。

Wilmington TEACCH センターでの診断を概観したい(各センターもほぼ同様の診断方法をとっているが、センター長の方針で若干の違いがある)。診断が行われる以前に、対象児・者の行動の特徴、発達歴、家族歴などに関する質問紙が保護者のもとに送られ、保護者がそれに記入後臨床センターに送り返すようになっている。それ以外に、いままでかかった医療機関からの診断書や報告書、学校の担任や言語聴覚士などの評価や記録などが臨床センターに送られてくる。このように、事前に多くの情報が収集され、診断のための計画がたてられる。診断当日に使用されるテスト・バッテリーは、保護者に聴取するものと

しては、Vineland-II 適応行動尺度のみである。それ以外に、保護者からは自閉症診断に不可欠な発達早期の情報収集の項目は Vineland-II 適応行動尺度には含まれていないから、それらについても聴取する。自閉症スペクトラムが疑われる対象児・者に対しては、知的障害を伴う子どもの場合、Psychoeducational Profile-Third Edition（以下 PEP-3）、特に 2 歳/3 歳の低年齢の時は Autism Diagnostic Observation Schedule（以下 ADOS）Module 1 と Child Autism Rating Scale（以下 CARS）を併用する。知的障害を伴う思春期・成人の場合は、PEP-3 を中心としていくつかの検査を組み合わせたものと CARS を用い、移行計画に主眼をおく場合は、TEACCH Transition Assessment Profile（以下 TTAP）を用いる。知的障害を伴わない場合には、ADOS の Module 2,3,4 を中心に、Baron-Cohen の”Eye Task”（「心の理論」課題）などの複数の行動や認知側面を観察し評価するバッテリーが組みられる。

（注： ・ PEP-3 は TEACCH で開発された自閉症の子どものための認知発達検査。

- ・ TTAP は TEACCH で開発された、成人と青年を対象とした日常生活、就労、余暇活動に必要なスキルに関する検査（日本では、現在まだ刊行されていない）。
- ・ CARS は TEACCH で開発された自閉症評価尺度、自閉症の行動特徴を 15 項目にわけて、各項目について実際の行動観察し点数つけ、総合点で判断する。高機能用の CARS も開発中で、2009 年度中に米国にて発行予定である。
- ・ ADOS は、Lord,C.や Rutter,M.ら（1999）によって開発された自閉症向けの直接行動観察検査である。標準化された検査器具や状況を用いて、自閉症の診断に役立つ社会的行動やスキル、コミュニケーションを引き出すように作られている。コミュニケーション、社会的相互交渉の各項目の得点を合計して、自閉症または自閉症スペクトラムかどうかを判断する）。

現在、自閉症スペクトラムの診断ツールのゴールドスタンダードは、自閉症スペクトラム本人に対して用いるのは ADOS、保護者に対して発達経過や行動特性の聴取には Autism Diagnostic Interview-Revised（以下 ADI-R）とされているが、敢えて、TEACCH センターは保護者からの聞き取りに Vineland-II 適応行動尺度を使用している。このことに関して、Wilmington TEACCH センターのセンター長でノースカロライナ大学准教授の Wellman, J は、「ADI-R は自閉症スペクトラムかどうかを判断するのみだが、Vineland-II 適応行動尺度は、領域及び下位領域別に比較していくことで、日常生活の行動上の適応の度合いや困難さを指数で客観的に評価することができる。これにより、自閉症スペクトラムの個々の支援ニーズの把握が可能となり、より有効な支援プランを立て実施することが可能となる」と語っていた。その他、TEACCH では、部内の療育施設においても、Vineland-II 適応行動尺度を実施しており、その面接を通して自閉症スペクトラムの特性を保護者に理解させる試みを行っている。これらは、Vineland-II 行動適応尺度が、自閉症スペクトラムに限らず発達障害に対する支援を念頭においた場合に、非常に有用な尺度であることを示

唆しているといえる。

TEACCH センター留学中に、田中と筆者は、Vineland-II 適応行動尺度の翻訳原案を作成した（田中・黒田版 Vineland-II 適応行動尺度）。この田中・黒田版は、研修をよりスムーズに受けるといった私的な目的のために作成され、そのため、原文に忠実であり、例文もアメリカで使用される原文そのままである。例えば、名前はアメリカ人名のままであり、貨幣・長さの単位なども原版のまま、ドル・マイルで表記されている。

①-b. 日本版作成

現在、日本でも適応評価尺度が開発の必要が認識されているが、客観的で詳細な行動尺度を持たないため、行動上の特徴に配慮した支援サービスが行われにくい状況にある。そこで、国際的に最も標準的に活用されている Vineland-II 適応行動尺度の日本版の開発と標準化のための調査研究を実施することとなり、田中・黒田版 Vineland-II 適応尺度を下訳として利用することになった。

2008年7月より、チームで訳語の確認や生活習慣や文化の合わない記述について、原版と照らし合わせながら確認を行い改訂していった。その後、4つの領域（コミュニケーション領域、日常生活スキル領域、社会性スキル領域、運動スキル領域）と不適応行動領域について、日本向けの内容となるように確認（項目内容の変更、削除、項目を加える作業等）を行った。

今年度は、予備調査として、各項目の有効性や出現順序や Vineland 適応行動尺度全体の日本での有効性を確認することを目的としていたため、バックトランスレーションは行っていない。Vineland-II 適応行動尺度の日本版を作成していくことが決定した場合は、著者である Sparrow, S との著作権の契約や翻訳版のバックトランスレーションをして、原著者による検討などの手続きを踏むことが、今後必要である。

② 対象

対象は、広汎性発達障害児・者と定型発達児・者とした。広汎性発達障害は、DSM-IV または DSM-IV-TR に基づく診断を受けている者とした。幼児・児童期・思春期・成人期などの各年齢帯について、均等に人数を割り振りデータ収集を行った（表2参照）。幼児期は0-5歳の各年齢帯の人数を均等に収集し、児童・思春期については、小学生：中学生：高校生が、2：1：1の比率になるように収集した。成人期については、18歳以上とし、今回の調査では18歳以上59歳まで（老化が明確に始まるまで）の年齢帯で調査を行った。広汎性発達障害の知的障害合併については、その比率を最近の疫学調査に基づき25-50%程度と考え、その比率に合致するように知的障害の合併がある対象のデータを収集した。

③ 調査実施方法

③-a. 実施場所

文化や生活習慣が影響すると考えられる尺度であるため、対象者の移住地が偏らないように、日本全国を網羅するように実施場所が選定された。具体的な実施場所については、表2を参照されたい。

③-b. 実施方法

面接で応えてもらう人（回答者）は保護者とし、施設職員等は今回含めなかった。保護者も子どもの日常の行動をよく知っている必要があり、母親が回答者となる場合がほとんどだった。面接前には、研究についてのインフォームドコンセントを行った。また、面接終了後には、謝礼として図書券1000円分が支払われた。

面接者は、前述の研修を受けた心理学を専攻している大学院生らである。アメリカでは、電話による面接も実施されているが、今回は予備調査であるため、全員直接面接の形式をとった。時間的な制約があるため、完全な半構造化面接ではなく、項目を中心に事例を挙げながら聞いていくという形式とした。研究に使用された記録用紙は、原版の形式を変更して、見開き2ページとし、左ページに前述の手順を踏んで完成させた項目の日本語訳、右ページには各項目の採点基準という構成にした（資料2参照）。これは、採点基準を確認しながら面接を行うことを、容易にするためである。採点基準（スコアリング・クライテリア）の部分の翻訳は、萩原によって行われた。

実施時間は、対象者1名につき、1時間から90分だったが、回答者の話す内容によっては、2時間を超える場合もあった。広汎性発達障害群の保護者では、対象にできることとできないことに落差があり、年齢の高い項目ができる一方で、実年齢よりもかなり低い年齢で設定されている項目課題ができない場合も多く、そのために結果として多くの項目について聴取が必要となり、一般に時間が長くなる傾向にあった。一方、定型発達の低年齢群では、できることとできないことの差が明確であり、さらに年齢の制限による該当項目が少ないため30分程度の短時間で聞き取りが終了した。

Vineland-II 適応行動尺度の終了後に、PARS(Pervasive Developmental Disorders Autism Society Japan Rating Scale 広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度)を対象者全員について、同じく保護者面接の形で実施した。

文献

- Baird, G., Simonoff, E., Pickles, A., Loucas, T., et. al. (2006) Prevalence of disorders of the autism spectrum in a population cohort of children in South Thames: the Special Needs and Autism Project(SNAP) *Lancet*; 368: 210-215.
- Chakarabarti, S, Fombonne, E., (2005) Pervasive Developmental Disorders in Preschool

Children: Confirmation of High Prevalence, American Journal of Psychiatry; 162: 1133-1141.

Mesibov, G., Shea, V., Schopler, E. (2005). The TEACCH Approach to Autism Spectrum Disorders. New York. Plenum Publishers.

土屋賢治, 稲田尚子, 神尾陽子, 黒田美保 他 (2007) 自閉症とその関連疾患の診断尺度-ADI-R と ADOS-G について-, 脳 21: 223-227

表1: Vineland- II適応行動尺度 主な変更項目

コミュニケーション領域			
	年齢	変更前	変更後
理解	3+	追加	判断を要する指示が理解できる
	3+	追加	明日や明後日の意味がわかる
	3+	追加	来週の意味がわかる
表出言語	3	現在進行形を使う	進行中の出来事や物事の状態を表したい時に助動詞「～ている」を使う
	4.5	代名詞を使う、性別にあった代名詞を使う必要があるが、文が文法的に正しい必要はない	代名詞を使う、文が文法的に正しい必要はない
	6	規則動詞の過去形を使う、不規則動詞は、文法的に誤って使うかも知れない	現在と過去を区別して表現する
	7+	不規則の複数形を使う	助数詞を正しく使う
読み書き	3-5	1個のアルファベットを文字とわかり数字を区別する	1個の平仮名を文字とわかり数字を区別する
	3-5	すべての活字体の大文字と小文字のアルファベットがわかる	すべての平仮名がわかる
	6	追加	「がっこう」などの促音や「あそんだ」などの撥音が読める
	6	少なくとも10個の単語を声を出して読む	削除(平仮名は表音文字であるため、単語は平仮名習得と同時に読めるため)
	7.8	追加	「～は」「～へ」といった特殊な読み方ができる
	7.8	追加	50以上の漢字を覚えて書く
日常生活スキル領域			
	年齢	変更前	変更後
身辺自立	3	正しくスプーン・フォーク・ナイフを使う	箸で食べる(こぼしてもよい、持ち方は問わない)
	5.6	追加	こぼさないで箸が使える
	7	追加	る
	7+	「自分で定期健診を受ける」と「食事制限などの意志の指示を守る」の項目順序入れ替え	

表2 : Vineland-II適応行動尺度 実施地域と人数

地域		人数総数	定型発達			自閉症スペクトラム				
			乳幼児	児・思	成人	乳幼児	児・思	成人		
北海道	旭川	30	15	6	6	3	15	6	6	3
東北	仙台	20	10	4	4	2	10	4	4	2
	弘前	10	10	4	4	2	0	0	0	0
関東	栃木	20	10	4	4	2	10	4	4	2
	筑波	20	10	4	4	2	10	4	4	2
	東京	110	50	20	20	10	60	24	24	12
	横浜	40	10	4	4	2	30	12	12	6
	中部	富山	10	5	2	2	1	5	2	2
	福井	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	金沢	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	長野	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	名古屋	100	50	20	20	10	50	20	20	10
	浜松	30	15	6	6	3	15	6	6	3
	関西	兵庫	30	15	6	6	3	15	6	6
	奈良	30	15	6	6	3	15	6	6	3
中国	鳥取	20	10	4	4	2	10	4	4	2
	山口	30	10	4	4	2	20	8	8	4
	広島	30	30	12	12	6	0	0	0	0
四国	徳島	20	5	2	2	1	15	6	6	3
	香川	10	10	4	4	2	0	0	0	0
九州	福岡	20	10	4	4	2	10	4	4	2
	久留米	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	大分	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	長崎	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	熊本	10	5	2	2	1	5	2	2	1
	全数		定型発達			自閉症スペクトラム				
合計		650	325	130	130	65	325	130	130	65

3) 調査結果の概要

京都学園大学 行広隆次

協力者：伊藤大幸(名古屋大学大学院院生)

谷 伊織(三重大学医学部レジデント)

1. 対象者の内訳

全 603 名のデータのうち、定型発達群 312 名および PDD 群 247 名のデータを対象に分析を行った。非 PDD で他の障害（精神遅滞、ADHD など）を有する 16 名、非定型発達だが診断名の記録が欠損していた 13 名、適応行動尺度の複数の下位領域において多くの異常欠損が認められた 15 名のデータは分析に含めなかった。分析対象の性別および年齢帯の内訳は表 1 の通りである。なお、一部性別が記録されていないデータがあったため、男女の合計数と全体の人数は完全には一致しない。

表 1 対象者の内訳

	定型発達群			PDD 群		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
0 歳-5 歳	62	58	121	20	4	24
6 歳-12 歳	51	48	99	97	15	114
13 歳以上	50	42	92	93	15	109
合計	164	150	312	210	34	247

2. 欠損値等の処理

適応行動尺度の数量的分析にあたっては原版の Vineland-II にしたがって、個人ごとに以下のように欠損値等の置換処理を行った。まず、各下位領域において、下限ルールにより打ち切られた項目より前に位置する項目には全て評定値「2」を割り当てた。また、上限ルールにより打ち切られた項目より後に位置する項目には全て評定値「0」を割り当てた。DK 回答 (Don't Know ; 「わからない」という回答)、N/O 回答 (No Opportunity ; 「機会がない」という回答)、異常欠損については、全て評定値「1」を割り当てた。

不適応行動尺度については、以上のような置換処理を行わず、欠損値を含むデータは分析ごとに除外した。

3. 項目特性

適応行動尺度の各項目における群別、年齢帯別の平均得点を、下位領域ごとに表 2-1～表 2-11 に示す。また、各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関を表 3-1-1～表 3-11-3 に示す。修正済み項目 - 合計相関とは、項目得点と当該項目を除いた合計得点との相関係数であり、当該項目が尺度内の他の項目得点と一貫している程度を表す。

なお、度数分布表には、欠損値等の置換処理を行う前の度数を示している。また、修正済み項目 - 合計相関は、項目得点の分散が0の場合、算出が不可能であるため、該当する欄には「-」を記載してある。

下位領域「受容言語」

表 2-1 下位領域「受容言語」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	2.00	2.00	2.00	1.96	1.98	1.99
2.	2.00	2.00	2.00	1.88	1.95	1.99
3.	2.00	2.00	2.00	1.88	1.96	1.99
4.	1.97	2.00	2.00	1.92	1.97	1.99
5.	1.98	2.00	2.00	1.88	1.93	1.97
6.	1.83	2.00	2.00	1.75	1.80	1.92
7.	1.83	2.00	2.00	1.71	1.90	1.99
8.	1.88	2.00	2.00	1.67	1.87	1.96
9.	1.89	2.00	2.00	1.67	1.85	1.93
10.	1.88	2.00	2.00	1.63	1.86	1.95
11.	1.71	2.00	2.00	1.58	1.81	1.94
12.	1.78	2.00	2.00	1.38	1.68	1.83
13.	1.58	2.00	2.00	1.04	1.46	1.75
14.	1.44	1.98	1.99	0.83	1.30	1.61
15.	0.97	1.97	1.97	0.54	1.50	1.72
16.	1.38	1.92	1.99	1.13	1.46	1.75
17.	0.96	1.83	1.98	0.58	1.15	1.61
18.	1.02	1.91	1.98	0.29	0.88	1.35
19.	0.98	1.84	1.99	0.54	0.96	1.30
20.	1.10	1.92	1.95	0.54	1.11	1.32
21.	0.52	1.86	1.93	0.25	1.25	1.59
22.	0.93	1.88	1.95	0.42	1.09	1.57
23.	0.47	1.74	1.96	0.21	0.83	1.45

表 3-1-1 下位領域「受容言語」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（0歳～5歳）

	定型							PDD						
	上限以降	0	1	2	下限以前	DK	I-T相関	上限以降	0	1	2	下限以前	DK	I-T相関
1.	0	0	0	17	104	0	-	0	0	1	5	18	0	.54
2.	0	0	0	18	103	0	-	0	0	3	4	17	0	.58
3.	0	0	0	20	101	0	-	0	1	1	6	16	0	.59
4.	0	1	2	20	98	0	.32	0	1	0	7	16	0	.52
5.	0	0	3	20	98	0	.37	0	1	1	8	14	0	.55
6.	0	9	1	13	97	0	.55	0	2	2	7	13	0	.63
7.	0	10	1	29	81	0	.60	0	3	1	7	13	0	.58

8.	0	7	0	33	81	0	.56	0	3	2	8	11	0	.59
9.	0	5	3	35	78	0	.56	0	2	4	8	10	0	.51
10.	3	3	2	46	67	0	.51	0	2	5	11	6	0	.76
11.	4	13	1	96	7	0	.68	0	3	4	17	0	0	.72
12.	5	7	3	99	7	0	.65	0	5	5	14	0	0	.75
13.	5	16	9	85	6	0	.74	0	10	3	11	0	0	.78
14.	5	21	16	73	6	0	.71	0	12	4	8	0	0	.59
15.	9	37	33	37	5	0	.70	2	11	9	2	0	0	.69
16.	10	20	15	72	4	0	.82	5	4	3	12	0	0	.73
17.	15	33	30	40	3	0	.74	7	6	8	3	0	0	.56
18.	18	30	23	47	3	0	.75	7	12	3	2	0	0	.51
19.	26	23	26	44	2	0	.74	7	8	5	4	0	0	.52
20.	27	25	5	64	0	0	.75	8	7	5	4	0	0	.55
21.	34	45	20	21	0	0	.56	9	12	0	3	0	0	.37
22.	37	23	10	51	0	0	.73	10	8	2	4	0	0	.52
23.	38	46	17	20	0	0	.51	10	10	3	1	0	0	.49

表 3-1-2 下位領域「受容言語」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	4	95	0	-	0	0	2	10	102	0	.23
2.	0	0	0	4	95	0	-	0	1	4	11	98	0	.45
3.	0	0	0	4	95	0	--	0	0	4	12	98	0	.33
4.	0	0	0	4	95	0	-	0	1	1	14	98	0	.33
5.	0	0	0	4	95	0	-	0	2	4	12	96	0	.52
6.	0	0	0	4	95	0	-	0	10	3	7	94	0	.68
7.	0	0	0	5	94	0	-	0	4	3	20	87	0	.59
8.	0	0	0	5	94	0	-	0	5	4	24	80	0	.61
9.	0	0	0	6	93	0	-	0	3	11	34	66	0	.68
10.	0	0	0	9	90	0	-	0	7	2	50	55	0	.64
11.	0	0	0	55	44	0	-	0	10	2	88	14	0	.75
12.	0	0	0	55	44	0	--	1	11	13	76	13	0	.81
13.	0	0	0	58	41	0	-	2	20	18	65	9	0	.72
14.	0	0	1	59	38	0	.33	6	22	24	54	8	0	.72
15.	0	1	1	59	38	0	.53	11	10	15	72	6	0	.80
16.	0	3	1	57	37	0	.58	11	14	12	72	5	0	.77
17.	0	4	8	49	37	0	.64	15	21	25	49	4	0	.69
18.	0	0	9	55	35	0	.58	15	32	34	29	4	0	.62
19.	0	3	10	55	31	0	.52	15	24	41	30	4	0	.67
20.	0	3	2	94	0	0	.52	16	19	32	47	0	0	.63
21.	0	4	6	89	0	0	.53	17	23	5	69	0	0	.71
22.	0	3	6	90	0	0	.74	20	23	18	53	0	0	.68
23.	0	8	10	81	0	0	.67	20	37	19	38	0	0	.62

表 3-1-3 下位領域「受容言語」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13 歳以上)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	1	91	0	-	0	0	1	3	105	0	.28
2.	0	0	0	1	91	0	-	0	0	1	5	103	0	.28
3.	0	0	0	1	91	0	-	0	0	1	5	103	0	.35
4.	0	0	0	1	91	0	-	0	0	1	6	102	0	.35
5.	0	0	0	1	91	0	-	0	1	1	7	100	0	.44
6.	0	0	0	1	91	0	-	0	4	1	5	99	0	.64
7.	0	0	0	5	87	0	-	0	0	1	15	93	0	.35
8.	0	0	0	5	87	0	-	0	0	4	19	86	0	.58
9.	0	0	0	5	87	0	-	0	2	4	22	81	0	.53
10.	0	0	0	13	79	0	-	0	0	5	35	69	0	.50
11.	0	0	0	53	39	0	-	0	2	3	77	27	0	.57
12.	0	0	0	54	38	0	-	0	5	8	73	23	0	.71
13.	0	0	0	54	38	0	-	0	11	5	72	21	0	.73
14.	0	0	1	53	38	0	.70	0	16	10	66	17	0	.72
15.	0	1	1	52	38	0	.74	3	8	8	76	14	0	.82
16.	0	0	0	53	38	0	.70	4	7	5	81	12	0	.73
17.	0	0	1	52	38	0	.49	5	9	14	70	11	0	.74
18.	0	0	2	53	37	0	.49	5	19	22	53	9	0	.68
19.	0	0	1	55	36	0	.26	7	20	22	51	9	0	.69
20.	0	1	2	88	0	0	.76	9	19	18	63	0	0	.61
21.	0	3	0	89	0	0	.88	9	11	5	84	0	0	.81
22.	0	2	0	89	0	0	.61	14	5	9	81	0	0	.84
23.	0	1	2	89	0	0	.75	15	8	14	72	0	0	.75

下位領域「表出言語」

表 2-2 下位領域「表出言語」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上
1.	2.00	2.00	2.00	2.00	1.98	2.00
2.	2.00	2.00	2.00	1.75	1.96	1.99
3.	2.00	2.00	2.00	2.00	1.99	2.00
4.	1.98	2.00	2.00	1.83	1.93	1.98
5.	1.99	2.00	2.00	1.79	1.96	2.00
6.	1.99	2.00	2.00	1.79	1.94	1.98
7.	1.99	2.00	2.00	1.92	1.96	1.97
8.	1.93	2.00	2.00	1.79	1.88	1.98
9.	1.98	2.00	2.00	1.79	1.90	1.97
10.	1.94	2.00	2.00	1.75	1.95	1.96

11.	1.86	2.00	2.00	1.67	1.88	1.96
12.	1.87	2.00	2.00	1.67	1.89	1.98
13.	1.86	2.00	2.00	1.71	1.89	1.95
14.	1.76	2.00	2.00	1.50	1.82	1.89
15.	1.79	2.00	2.00	1.46	1.82	1.91
16.	1.79	2.00	2.00	1.58	1.88	1.96
17.	1.75	2.00	2.00	1.58	1.82	1.89
18.	1.74	2.00	2.00	1.54	1.78	1.85
19.	1.73	2.00	2.00	1.42	1.70	1.69
20.	1.70	2.00	2.00	1.54	1.79	1.88
21.	1.74	2.00	2.00	1.54	1.75	1.75
22.	1.74	2.00	2.00	1.42	1.64	1.68
23.	1.73	2.00	2.00	1.50	1.71	1.81
24.	1.68	2.00	2.00	1.25	1.61	1.75
25.	1.62	2.00	2.00	1.33	1.63	1.68
26.	1.59	2.00	2.00	1.29	1.65	1.83
27.	1.64	2.00	2.00	1.25	1.55	1.70
28.	1.66	2.00	2.00	1.25	1.61	1.76
29.	1.55	2.00	2.00	1.21	1.77	1.85
30.	1.56	2.00	2.00	1.29	1.73	1.85
31.	1.59	2.00	2.00	1.17	1.46	1.58
32.	1.59	2.00	2.00	1.25	1.54	1.66
33.	1.62	2.00	2.00	1.25	1.61	1.73
34.	1.54	1.98	2.00	1.21	1.53	1.71
35.	1.43	2.00	2.00	1.08	1.43	1.61
36.	1.35	1.98	2.00	0.83	1.44	1.67
37.	1.40	2.00	2.00	0.83	1.47	1.69
38.	1.26	1.96	2.00	0.92	1.54	1.72
39.	1.20	1.93	1.99	0.54	1.14	1.42
40.	0.83	1.92	1.99	0.42	1.47	1.65
41.	1.15	1.93	1.98	0.58	1.15	1.31
42.	1.17	1.95	1.99	0.50	1.11	1.35
43.	0.98	1.95	1.99	0.79	1.23	1.50
44.	0.86	1.89	1.98	0.46	1.12	1.39
45.	0.19	1.46	1.96	0.25	1.06	1.49
46.	0.93	1.87	1.97	0.38	0.89	1.18
47.	0.75	1.68	1.93	0.29	0.66	0.95
48.	0.45	1.71	1.96	0.13	0.75	0.99
49.	0.61	1.73	1.96	0.21	0.89	1.03
50.	0.20	1.57	1.93	0.38	1.05	1.35
51.	0.05	1.18	1.96	0.38	0.88	1.38
52.	0.31	1.51	1.93	0.29	0.76	1.05
53.	0.17	1.07	1.82	0.17	0.38	0.63
54.	0.08	0.87	1.76	0.17	0.28	0.62

表 3-2-1 下位領域「表出言語」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	8	113	0	-	0	0	0	5	19	0	-
2.	0	0	0	8	113	0	-	0	2	2	1	19	0	.49
3.	0	0	0	8	113	0	-	0	0	0	5	19	0	-
4.	0	1	0	10	110	0	-.02	0	2	0	4	18	0	.38
5.	0	0	1	10	110	0	.24	0	2	1	3	18	0	.55
6.	0	0	1	10	110	0	.24	0	2	1	4	17	0	.38
7.	0	0	1	13	107	0	.24	0	1	0	6	17	0	.41
8.	0	4	1	15	101	0	.50	0	2	1	4	17	0	.43
9.	0	1	0	19	101	0	.24	0	2	1	4	17	0	.48
10.	0	3	1	17	100	0	.44	0	3	0	5	16	0	.45
11.	0	8	1	12	100	0	.65	0	4	0	4	16	0	.64
12.	1	7	0	13	100	0	.62	0	4	0	4	16	0	.64
13.	1	7	1	12	100	0	.66	1	2	1	4	16	0	.59
14.	2	12	1	7	99	0	.83	1	4	2	1	16	0	.70
15.	6	6	1	9	99	0	.77	2	4	1	2	15	0	.81
16.	6	7	0	10	98	0	.78	2	3	0	4	15	0	.70
17.	8	7	0	8	98	0	.83	2	3	0	4	15	0	.69
18.	10	5	2	6	98	0	.86	2	3	1	3	15	0	.74
19.	10	6	1	7	97	0	.86	2	4	2	1	15	0	.83
20.	13	4	2	14	88	0	.89	2	3	1	3	14	0	.81
21.	14	1	1	16	89	0	.85	2	3	1	3	14	0	.81
22.	14	2	0	17	88	0	.85	2	5	0	4	12	0	.88
23.	14	2	1	16	88	0	.87	3	2	0	4	12	0	.72
24.	15	4	1	13	88	0	.89	4	4	0	1	12	0	.88
25.	15	7	2	11	86	0	.88	4	4	0	4	11	0	.89
26.	15	8	4	8	86	0	.89	4	4	1	3	11	0	.92
27.	16	4	3	13	85	0	.90	4	5	0	3	11	0	.91
28.	18	2	1	17	83	0	.90	6	3	0	3	11	0	.91
29.	18	7	4	34	57	0	.88	6	2	3	2	10	0	.87
30.	20	5	3	38	55	0	.88	6	2	1	4	10	0	.84
31.	20	2	6	39	54	0	.91	7	3	0	4	9	0	.88
32.	20	3	4	44	50	0	.89	7	2	0	10	4	0	.91
33.	21	1	2	93	4	0	.90	7	2	0	14	0	0	.91
34.	21	3	8	88	1	0	.87	7	2	1	13	0	0	.92
35.	21	10	7	82	1	0	.84	7	3	2	11	0	0	.84
36.	21	10	17	72	1	0	.81	7	4	6	6	0	0	.71
37.	22	10	8	81	0	0	.79	9	4	2	8	0	0	.68
38.	23	11	21	65	0	0	.50	9	3	2	9	0	0	.77
39.	24	15	19	63	0	0	.77	9	6	4	3	0	0	.52
40.	24	37	20	40	0	0	.55	10	9	0	4	0	0	.42
41.	24	13	29	55	0	0	.71	11	4	4	4	0	0	.57
42.	25	15	21	60	0	0	.73	12	5	2	4	0	0	.51
43.	30	19	25	47	0	0	.66	13	1	1	8	0	0	.71
44.	30	26	26	39	0	0	.65	13	4	3	3	0	0	.50
45.	30	75	9	7	0	0	.20	13	7	1	1	0	0	.30
46.	36	21	16	48	0	0	.62	13	5	3	2	0	0	.42
47.	40	21	29	31	0	0	.59	14	6	0	2	0	0	.29

48.	43	43	16	19	0	0	.47	15	7	1	0	0	0	.03
49.	49	28	14	30	0	0	.53	15	5	3	0	0	0	.31
50.	52	48	18	3	0	0	.32	15	2	5	1	0	0	.47
51.	55	62	2	2	0	0	.17	17	3	1	2	0	0	.33
52.	70	29	6	16	0	0	.36	17	3	3	0	0	0	.28
53.	73	35	5	8	0	0	.29	17	6	0	0	0	0	-.14
54.	80	35	2	4	0	0	.21	18	5	0	0	0	0	-.14

表 3-2-2 下位領域「表出言語」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	2	97	0	-	0	1	0	7	106	0	.22
2.	0	0	0	2	97	0	-	0	1	2	5	106	0	.35
3.	0	0	0	2	97	0	-	0	0	1	7	106	0	.24
4.	0	0	0	2	97	0	-	0	4	0	5	105	0	.34
5.	0	0	0	2	97	0	-	0	1	3	6	104	0	.40
6.	0	0	0	2	97	0	-	0	2	3	5	104	0	.50
7.	0	0	0	2	97	0	-	0	2	1	9	102	0	.40
8.	0	0	0	2	97	0	-	0	6	2	6	100	0	.63
9.	0	0	0	2	97	0	-	0	4	3	7	100	0	.59
10.	0	0	0	2	97	0	-	0	2	2	12	98	0	.42
11.	0	0	0	2	97	0	-	0	5	4	9	96	0	.69
12.	0	0	0	2	97	0	-	1	5	0	14	94	0	.59
13.	0	0	0	2	97	0	-	1	5	1	13	94	0	.62
14.	0	0	0	2	97	0	-	1	9	1	9	94	0	.74
15.	0	0	0	2	97	0	-	3	5	4	12	90	0	.76
16.	0	0	0	2	97	0	-	4	2	2	17	89	0	.63
17.	0	0	0	2	97	0	-	5	5	1	16	87	0	.76
18.	0	0	0	2	97	0	-	5	6	3	13	87	0	.77
19.	0	0	0	2	97	0	-	5	9	6	8	86	0	.83
20.	0	0	0	2	97	0	-	5	6	2	17	84	0	.80
21.	0	0	0	2	97	0	-	6	6	5	13	84	0	.83
22.	0	0	0	2	97	0	-	6	12	5	8	83	0	.88
23.	0	0	0	2	97	0	-	8	8	1	15	82	0	.78
24.	0	0	0	2	97	0	-	9	12	2	8	82	0	.86
25.	0	0	0	2	97	0	-	10	9	4	9	82	0	.85
26.	0	0	0	2	97	0	-	10	9	1	11	82	0	.83
27.	0	0	0	2	97	0	-	10	13	5	8	78	0	.87
28.	0	0	0	2	97	0	-	10	10	4	15	75	0	.88
29.	0	0	0	8	91	0	-	10	3	0	29	72	0	.79
30.	0	0	0	10	89	0	-	10	4	1	26	71	0	.83
31.	0	0	0	10	89	0	-	10	19	4	11	70	0	.86
32.	0	0	0	10	89	0	-	11	12	7	17	67	0	.83
33.	0	0	0	14	85	0	-	11	9	4	39	51	0	.84
34.	0	1	0	14	84	0	.10	11	15	2	38	48	0	.85
35.	0	0	0	19	80	0	-	12	20	1	38	43	0	.85
36.	0	1	0	18	80	0	.32	12	16	8	35	43	0	.83
37.	0	0	0	21	78	0	-	12	15	6	43	38	0	.82
38.	0	1	2	19	77	0	.36	16	6	8	49	35	0	.82

39.	1	1	2	17	77	0	.57	16	26	13	25	33	0	.74
40.	1	2	2	36	58	0	.50	16	12	4	63	19	0	.86
41.	1	1	3	38	56	0	.34	17	19	25	37	16	0	.66
42.	1	0	2	39	56	0	.40	17	23	21	42	11	0	.75
43.	1	1	1	43	53	0	.55	19	18	14	55	8	0	.71
44.	1	1	7	41	49	0	.50	19	20	22	46	7	0	.75
45.	1	23	5	62	8	0	.64	19	31	7	57	0	0	.61
46.	1	2	7	81	8	0	.63	20	29	28	36	0	0	.65
47.	1	6	18	67	7	0	.61	22	37	35	20	0	0	.56
48.	1	8	11	72	7	0	.64	24	39	17	34	0	0	.58
49.	1	8	9	75	6	0	.62	30	24	18	42	0	0	.65
50.	1	12	17	63	6	0	.74	36	11	13	53	0	0	.72
51.	2	33	10	53	0	0	.71	37	23	8	46	0	0	.59
52.	4	14	12	68	0	0	.61	37	27	12	37	0	0	.58
53.	6	28	24	41	0	0	.61	38	47	14	14	0	1	.39
54.	8	41	14	36	0	0	.57	40	54	8	12	0	0	.34

表 3-2-3 下位領域「表出言語」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13 歳以上)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	0	1	108	0	-
2.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	1	1	107	0	.32
3.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	0	2	107	0	-
4.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	0	1	107	0	.31
5.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	0	2	107	0	-
6.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	0	2	106	0	.26
7.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	1	2	105	0	.30
8.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	0	5	103	0	.31
9.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	1	4	103	0	.38
10.	0	0	0	0	92	0	-	0	2	0	10	97	0	.41
11.	0	0	0	0	92	0	-	0	2	0	11	96	0	.40
12.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	0	13	95	0	.31
13.	0	0	0	0	92	0	-	0	2	1	12	94	0	.48
14.	0	0	0	0	92	0	-	0	6	0	11	92	0	.56
15.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	4	11	91	0	.64
16.	0	0	0	0	92	0	-	0	2	0	16	91	0	.40
17.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	6	9	91	0	.67
18.	0	0	0	0	92	0	-	0	6	5	7	91	0	.77
19.	0	0	0	0	92	0	-	0	17	0	1	91	0	.87
20.	0	0	0	0	92	0	-	0	6	1	13	89	0	.66
21.	0	0	0	0	92	0	-	1	11	3	5	88	0	.87
22.	0	0	0	0	92	0	-	4	13	0	4	87	0	.89
23.	0	0	0	0	92	0	-	5	3	3	9	87	0	.82
24.	0	0	0	0	92	0	-	5	7	2	6	87	0	.87
25.	0	0	0	0	92	0	-	5	11	2	3	87	0	.89
26.	0	0	0	1	91	0	-	5	4	1	12	87	0	.68
27.	0	0	0	1	91	0	-	6	9	3	7	84	0	.89
28.	0	0	0	1	91	0	-	6	6	2	11	84	0	.85
29.	0	0	0	2	90	0	-	6	1	3	18	81	0	.76

30.	0	0	0	2	90	0	-	6	2	0	22	79	0	.71
31.	0	0	0	2	90	0	-	6	16	2	6	79	0	.88
32.	0	0	0	3	89	0	-	6	12	1	15	75	0	.89
33.	0	0	0	5	87	0	-	6	8	2	22	71	0	.84
34.	0	0	0	5	87	0	-	6	9	2	22	70	0	.84
35.	0	0	0	5	87	0	-	9	12	1	27	60	0	.87
36.	0	0	0	5	87	0	-	9	7	3	31	58	0	.91
37.	0	0	0	5	87	0	-	9	7	2	41	50	0	.87
38.	0	0	0	5	87	0	-	11	3	3	46	46	0	.83
39.	0	0	0	4	87	0	.21	11	17	6	26	47	0	.75
40.	0	0	0	6	85	0	.21	11	7	2	48	40	0	.90
41.	0	0	1	7	83	0	.42	12	17	18	24	38	0	.68
42.	0	0	0	8	83	0	.21	12	15	17	34	31	0	.75
43.	0	0	0	11	80	0	.21	14	8	10	56	20	0	.83
44.	0	0	0	12	78	0	.12	14	9	20	46	19	0	.78
45.	0	2	0	77	13	0	.80	14	11	5	73	5	0	.80
46.	0	1	1	78	12	0	.68	15	17	26	46	5	0	.66
47.	0	1	4	75	12	0	.59	17	23	35	29	5	0	.63
48.	0	1	2	77	12	0	.69	17	31	15	42	4	0	.60
49.	0	1	2	79	10	0	.69	19	23	23	41	3	0	.64
50.	0	1	4	79	8	0	.73	22	9	10	67	1	0	.78
51.	0	2	0	90	0	0	.80	26	8	0	75	0	0	.74
52.	0	2	2	88	0	0	.76	27	15	19	48	0	0	.67
53.	0	4	9	79	0	0	.54	28	35	23	23	0	0	.47
54.	0	8	6	78	0	0	.48	28	43	8	30	0	0	.41

下位領域「読み書き」

表 2-3 下位領域「読み書き」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	1.74	1.98	2.00	1.46	1.86	1.97
2.	1.50	1.96	2.00	1.13	1.88	1.99
3.	1.24	1.98	2.00	0.96	1.75	1.94
4.	0.89	1.91	2.00	0.50	1.72	1.94
5.	1.06	1.96	2.00	0.67	1.78	1.99
6.	0.70	1.93	2.00	0.83	1.71	1.92
7.	0.92	1.93	2.00	0.63	1.67	1.92
8.	0.83	1.95	2.00	0.75	1.75	1.93
9.	0.66	1.85	2.00	0.63	1.60	1.84
10.	0.12	1.34	2.00	0.29	1.41	1.83
11.	0.30	1.63	2.00	0.33	1.39	1.72
12.	0.07	1.13	1.98	0.17	1.29	1.67
13.	0.10	1.16	1.98	0.17	1.18	1.63
14.	0.24	1.53	1.99	0.38	1.37	1.71

15.	0.23	1.46	1.98	0.38	1.36	1.69
16.	0.20	1.48	1.96	0.42	1.00	1.48
17.	0.07	0.80	1.96	0.25	0.78	1.49
18.	0.07	0.80	1.93	0.29	0.48	0.91
19.	0.08	0.98	1.96	0.42	0.82	1.47
20.	0.07	0.34	1.95	0.25	0.33	1.25
21.	0.07	0.57	1.78	0.25	0.14	0.63
22.	0.07	0.74	1.83	0.25	0.24	0.77
23.	0.07	0.11	1.72	0.25	0.03	0.75
24.	0.07	0.25	1.32	0.25	0.15	0.68
25.	0.07	0.13	1.50	0.25	0.08	0.43

表 3-3-1 下位領域「読み書き」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型							PDD						
	上限以降	0	1	2	下限以前	DK	I-T相関	上限以降	0	1	2	下限以前	DK	I-T相関
1.	0	11	1	79	6	0	.17	0	5	1	15	1	0	.38
2.	0	19	6	68	4	0	.48	0	9	1	11	1	0	.06
3.	0	29	11	53	4	0	.62	0	11	1	9	1	0	.41
4.	0	43	17	33	4	0	.62	0	15	4	2	1	0	.36
5.	9	29	9	46	4	0	.71	3	12	0	6	1	0	.38
6.	17	33	23	23	1	0	.75	5	7	2	6	2	0	.79
7.	23	23	10	40	1	0	.75	9	6	1	4	2	0	.69
8.	32	18	9	37	1	0	.71	9	5	0	7	1	0	.63
9.	36	21	15	24	1	0	.74	10	4	3	4	1	0	.73
10.	40	51	4	2	0	0	.44	11	8	1	1	1	0	.76
11.	42	41	5	9	0	0	.60	12	7	0	2	1	0	.75
12.	44	52	0	1	0	0	.28	12	9	0	0	1	0	.61
13.	51	44	1	1	0	0	.42	13	8	0	0	1	0	.61
14.	76	12	2	7	0	0	.56	18	0	1	1	2	0	.85
15.	79	8	4	6	0	0	.59	18	0	1	1	2	0	.85
16.	81	8	2	6	0	0	.54	18	0	0	2	2	0	.85
17.	82	15	0	0	0	0	.29	18	2	0	0	2	0	.69
18.	82	15	0	0	0	0	.29	18	1	1	0	2	0	.78
19.	83	12	1	1	0	0	.37	18	0	0	2	2	0	.85
20.	86	11	0	0	0	0	.29	18	2	0	0	2	0	.69
21.	91	6	0	0	0	0	.29	18	2	0	0	2	0	.69
22.	91	6	0	0	0	0	.29	18	2	0	0	2	0	.69
23.	91	6	0	0	0	0	.29	18	2	0	0	2	0	.69
24.	94	3	0	0	0	0	.29	19	1	0	0	2	0	.69
25.	94	3	0	0	0	0	.29	19	1	0	0	2	0	.69

表 3-3-2 下位領域「読み書き」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	1	0	10	88	0	.16	0	8	0	17	89	0	.56
2.	0	2	0	10	87	0	.30	0	6	2	19	87	0	.55
3.	0	1	0	11	87	0	.16	0	14	0	14	86	0	.72
4.	0	4	1	8	86	0	.41	0	13	6	10	85	0	.76
5.	0	2	0	18	79	0	.30	3	9	1	21	80	0	.70
6.	0	2	3	29	65	0	.41	3	12	3	21	75	0	.77
7.	0	3	1	31	64	0	.39	9	9	1	26	68	0	.79
8.	1	1	1	43	53	0	.35	9	5	0	40	60	0	.71
9.	1	2	9	38	49	0	.57	10	10	6	32	56	0	.82
10.	1	30	3	16	49	0	.75	10	22	3	24	55	0	.86
11.	1	16	3	43	36	0	.66	12	19	7	33	43	0	.86
12.	1	41	2	22	33	0	.78	12	27	3	41	31	0	.84
13.	2	36	7	25	29	0	.78	17	27	6	44	20	0	.82
14.	14	6	7	44	28	0	.73	23	10	6	64	11	0	.84
15.	14	11	3	45	26	0	.73	24	10	4	65	10	0	.85
16.	17	5	7	63	7	0	.74	26	27	8	53	0	0	.66
17.	17	40	5	33	4	0	.67	27	35	15	37	0	0	.69
18.	17	37	11	30	4	0	.70	27	54	11	22	0	0	.55
19.	19	26	11	42	1	0	.73	31	29	13	40	0	0	.68
20.	22	59	2	15	1	0	.41	36	53	12	13	0	0	.49
21.	40	24	14	17	4	0	.61	47	53	12	2	0	0	.32
22.	40	21	3	31	4	0	.64	48	50	5	11	0	0	.38
23.	41	52	1	1	4	0	.16	51	60	2	0	0	1	.19
24.	50	34	5	6	4	0	.35	69	35	3	7	0	0	.32
25.	50	42	1	2	4	0	.21	73	36	0	4	0	1	.24

表 3-3-3 下位領域「読み書き」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（13歳以上）

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	1	12	95	0	.35
2.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	1	14	94	0	.31
3.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	0	12	94	0	.48
4.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	1	11	94	0	.49
5.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	1	18	90	0	.31
6.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	3	13	90	0	.59
7.	0	0	0	0	92	0	-	0	4	1	16	88	0	.56
8.	0	0	0	1	91	0	-	0	4	0	18	87	0	.53
9.	0	0	0	1	91	0	-	0	6	5	13	85	0	.68
10.	0	0	0	1	91	0	-	2	7	1	15	84	0	.66
11.	0	0	0	2	90	0	-	2	12	3	10	82	0	.81
12.	0	1	0	5	86	0	.65	2	15	2	21	69	0	.83
13.	0	1	0	6	85	0	.65	3	16	2	31	57	0	.84
14.	0	0	1	8	83	0	.67	6	9	2	51	41	0	.78
15.	0	1	0	10	81	0	.65	6	10	2	52	39	0	.79

16.	0	2	0	72	18	0	.81	8	17	7	65	12	0	.74
17.	0	2	0	74	16	0	.81	9	16	6	69	9	0	.85
18.	0	2	2	73	15	0	.78	9	45	11	37	7	0	.61
19.	1	1	0	78	12	0	.81	14	10	10	68	7	0	.82
20.	1	1	0	80	9	0	.80	19	17	10	57	6	0	.77
21.	1	4	9	69	8	0	.61	23	43	17	23	3	0	.54
22.	1	6	2	83	0	0	.60	23	40	8	37	1	0	.57
23.	1	9	6	76	0	0	.49	23	39	10	34	1	0	.58
24.	1	26	9	56	0	0	.30	30	39	5	33	1	0	.48
25.	1	20	3	67	0	0	.39	33	48	9	17	2	0	.45

下位領域「身辺自立」

表 2-4 下位領域「身辺自立」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上
1.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
2.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
3.	1.99	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
4.	1.96	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
5.	1.84	2.00	2.00	1.63	2.00	2.00
6.	1.94	2.00	2.00	1.88	2.00	2.00
7.	1.97	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
8.	1.83	2.00	2.00	1.96	2.00	2.00
9.	1.75	2.00	2.00	1.67	2.00	2.00
10.	1.88	2.00	2.00	1.79	1.97	2.00
11.	1.75	2.00	2.00	1.79	1.98	2.00
12.	1.68	2.00	2.00	1.58	1.96	2.00
13.	1.67	2.00	2.00	1.63	1.98	2.00
14.	1.64	2.00	2.00	1.46	1.92	2.00
15.	1.63	2.00	2.00	1.29	1.94	2.00
16.	1.61	2.00	2.00	1.33	1.98	2.00
17.	1.50	2.00	2.00	1.08	1.89	2.00
18.	1.50	2.00	2.00	1.29	1.84	2.00
19.	1.51	2.00	2.00	1.54	1.89	2.00
20.	1.45	2.00	2.00	1.08	1.70	1.93
21.	1.21	2.00	2.00	1.08	1.85	1.99
22.	1.32	1.98	2.00	1.33	1.92	1.97
23.	1.27	2.00	2.00	1.04	1.81	1.98
24.	0.83	1.92	2.00	0.50	1.42	1.89
25.	1.15	1.95	2.00	0.96	1.68	1.93
26.	1.31	2.00	2.00	1.25	1.90	1.98
27.	0.82	1.90	2.00	0.71	1.40	1.83
28.	1.10	1.98	2.00	0.50	1.75	1.96

29.	0.83	1.95	2.00	0.33	1.50	1.95
30.	0.98	1.93	2.00	0.75	1.74	1.93
31.	0.36	1.67	2.00	0.33	1.32	1.77
32.	0.55	1.74	1.99	0.25	1.21	1.50
33.	0.70	1.83	1.98	0.42	1.54	1.91
34.	1.07	1.96	1.98	0.58	1.68	1.84
35.	0.41	1.67	1.97	0.17	1.35	1.77
36.	0.56	1.72	1.96	0.42	1.15	1.66
37.	0.85	1.82	1.97	0.58	1.39	1.59
38.	0.02	0.82	1.93	0.13	0.62	1.37
39.	0.27	1.58	1.96	0.29	1.18	1.54
40.	0.32	0.87	1.52	0.17	0.66	0.96
41.	0.01	0.09	1.18	0.04	0.12	0.46
42.	0.00	0.04	1.17	0.00	0.04	0.42
43.	0.19	0.49	1.27	0.17	0.39	0.69

表 3-4-1 下位領域「身辺自立」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（0歳～5歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	15	106	0	0	-	0	0	0	5	19	0	0	-
2.	0	0	0	16	105	0	0	-	0	0	0	5	19	0	0	-
3.	0	0	1	15	105	0	0	.21	0	0	0	5	19	0	0	-
4.	0	2	1	19	99	0	0	.32	0	0	0	5	19	0	0	-
5.	0	8	3	12	98	0	0	.59	0	3	3	1	17	0	0	.68
6.	0	3	1	19	98	0	0	.36	0	1	1	5	17	0	0	.43
7.	0	2	0	21	98	0	0	.29	0	0	0	8	16	0	0	.00
8.	1	9	1	15	95	0	0	.59	0	0	1	8	15	0	0	.27
9.	2	11	4	17	87	0	0	.71	0	2	4	4	14	0	0	.74
10.	2	5	0	28	86	0	0	.49	0	1	3	6	14	0	0	.63
11.	2	11	4	18	86	0	0	.69	0	2	1	8	13	0	0	.44
12.	5	11	7	13	85	0	0	.79	0	4	2	6	12	0	0	.72
13.	6	11	6	40	58	0	0	.81	0	3	3	7	11	0	0	.58
14.	6	12	8	39	56	0	0	.82	0	5	3	6	10	0	0	.83
15.	9	9	9	40	54	0	0	.83	1	5	5	4	9	0	0	.74
16.	11	10	5	45	50	0	0	.81	2	4	4	8	6	0	0	.74
17.	14	13	7	43	44	0	0	.85	2	7	4	5	6	0	0	.78
18.	14	15	3	49	40	0	0	.84	3	5	1	11	4	0	0	.75
19.	17	9	7	61	27	0	0	.83	3	2	1	14	4	0	0	.77
20.	18	10	10	63	20	0	0	.75	4	3	8	6	3	0	0	.71
21.	20	26	3	53	19	0	0	.70	4	5	4	8	3	0	0	.86
22.	21	12	15	53	19	0	0	.78	4	2	4	11	3	0	0	.62
23.	22	19	5	57	17	0	0	.77	4	7	1	9	3	0	0	.68
24.	22	32	33	17	17	0	0	.68	5	10	6	0	3	0	0	.66
25.	25	11	30	53	1	0	0	.76	5	3	9	6	1	0	0	.80
26.	27	10	10	74	0	0	0	.86	5	2	4	12	1	0	0	.76
27.	30	25	33	33	0	0	0	.70	6	7	5	5	1	0	0	.62

28.	31	15	17	58	0	0	0	.82	6	11	2	4	1	0	0	.57
29.	32	25	27	37	0	0	0	.73	7	12	2	2	1	0	0	.51
30.	37	12	25	47	0	0	0	.76	7	7	2	7	1	0	0	.73
31.	39	55	10	17	0	0	0	.38	8	12	0	3	1	0	0	.53
32.	40	37	21	23	0	0	0	.59	11	10	0	2	1	0	0	.47
33.	41	29	17	34	0	0	0	.68	13	4	4	3	0	0	0	.67
34.	43	11	4	63	0	0	0	.80	14	2	2	6	0	0	0	.69
35.	48	41	13	18	0	0	0	.50	14	8	0	2	0	0	0	.44
36.	49	30	16	26	0	0	0	.59	15	3	2	4	0	0	0	.59
37.	50	12	15	44	0	0	0	.71	15	1	2	6	0	0	0	.71
38.	50	70	0	1	0	0	0	.12	16	6	1	1	0	0	0	.47
39.	59	41	9	12	0	0	0	.38	17	3	1	3	0	0	0	.51
40.	59	26	0	3	0	0	33	.48	17	3	1	0	0	0	3	.55
41.	61	59	1	0	0	0	0	.09	17	6	1	0	0	0	0	.42
42.	80	41	0	0	0	0	0	-	18	6	0	0	0	0	0	-
43.	80	19	0	1	0	0	21	.38	19	1	1	0	0	0	3	.55

表 3-4-2 下位領域「身辺自立」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	4	110	0	0	-
2.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	4	110	0	0	-
3.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	4	110	0	0	-
4.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	5	109	0	0	-
5.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	5	109	0	0	-
6.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	6	108	0	0	-
7.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	7	107	0	0	-
8.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	8	106	0	0	-
9.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	0	0	11	103	0	0	-
10.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	1	1	10	102	0	0	.25
11.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	1	0	12	101	0	0	.32
12.	0	0	0	2	97	0	0	-	0	1	3	9	101	0	0	.51
13.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	1	0	17	96	0	0	.32
14.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	4	1	17	92	0	0	.56
15.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	3	1	23	87	0	0	.41
16.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	1	0	27	86	0	0	.32
17.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	3	6	20	85	0	0	.67
18.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	7	4	18	85	0	0	.69
19.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	5	3	26	80	0	0	.60
20.	0	0	0	11	88	0	0	-	0	11	12	19	72	0	0	.71
21.	0	0	0	14	85	0	0	-	0	8	1	33	72	0	0	.62
22.	0	1	0	13	85	0	0	.26	0	2	5	36	71	0	0	.54
23.	0	0	0	14	85	0	0	.00	0	8	6	35	65	0	0	.72
24.	0	1	6	7	85	0	0	.52	0	26	11	10	64	0	0	.73
25.	0	1	3	30	65	0	0	.31	0	10	17	32	55	0	0	.76
26.	0	0	0	36	63	0	0	-	1	3	2	53	54	0	0	.56
27.	0	3	4	31	61	0	0	.50	2	23	17	18	53	0	0	.72
28.	0	0	2	37	60	0	0	.42	2	7	11	48	46	0	0	.68
29.	0	1	3	38	57	0	0	.38	3	17	16	34	43	0	0	.72

30.	0	2	3	38	56	0	0	.52	4	8	6	53	43	0	0	.78
31.	0	14	5	25	55	0	0	.70	4	32	5	31	42	0	0	.69
32.	0	10	6	29	54	0	0	.54	5	32	16	22	39	0	0	.69
33.	0	7	3	77	11	0	0	.56	7	11	16	78	2	0	0	.79
34.	0	2	0	91	6	0	0	.38	8	9	3	93	1	0	0	.75
35.	0	8	17	70	4	0	0	.67	11	16	20	66	1	0	0	.73
36.	0	11	6	82	0	0	0	.73	11	31	13	58	1	0	0	.62
37.	1	6	4	88	0	0	0	.46	12	18	9	75	0	0	0	.63
38.	1	52	11	35	0	0	0	.46	13	61	9	31	0	0	0	.49
39.	2	15	8	74	0	0	0	.66	16	27	8	63	0	0	0	.69
40.	4	24	0	15	0	0	56	.43	20	35	4	16	0	0	38	.53
41.	4	88	4	2	0	0	0	.10	22	84	2	6	0	0	0	.20
42.	11	85	2	1	0	0	0	.13	34	76	2	1	0	1	0	.16
43.	13	40	2	3	0	0	41	.43	34	40	0	5	0	0	35	.39

表 3-4-3 下位領域「身辺自立」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
2.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
3.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
4.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
5.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
6.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
7.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
8.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
9.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
10.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
11.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
12.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
13.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
14.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
15.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	107	0	0	-
16.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	6	103	0	0	-
17.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	6	103	0	0	-
18.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	7	102	0	0	-
19.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	8	101	0	0	-
20.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	2	4	3	100	0	0	.61
21.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	1	9	99	0	0	.24
22.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	1	1	9	98	0	0	.47
23.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	2	10	97	0	0	.43
24.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	3	6	7	93	0	0	.49
25.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	0	7	12	89	0	0	.61
26.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	1	0	21	87	0	0	.22
27.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	6	6	14	83	0	0	.66
28.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	1	2	35	71	0	0	.43
29.	0	0	0	6	86	0	0	-	0	1	3	40	65	0	0	.52
30.	0	0	0	7	85	0	0	-	0	3	2	40	64	0	0	.50
31.	0	0	0	8	84	0	0	-	0	11	3	33	62	0	0	.68

32.	0	0	0	8	83	0	0	.06	0	23	9	19	58	0	0	.72
33.	0	1	0	73	18	0	0	.56	0	2	6	93	8	0	0	.44
34.	0	1	0	76	15	0	0	.56	0	6	5	91	7	0	0	.66
35.	0	1	1	75	15	0	0	.68	0	9	7	86	7	0	0	.55
36.	0	2	0	84	6	0	0	.65	0	14	9	83	3	0	0	.49
37.	0	1	1	85	5	0	0	.47	2	15	11	79	2	0	0	.64
38.	0	3	0	86	3	0	0	.60	4	26	9	68	2	0	0	.63
39.	0	2	0	87	3	0	0	.65	5	18	4	82	0	0	0	.69
40.	0	3	1	51	0	0	37	.47	6	24	10	26	0	0	43	.56
41.	0	33	8	50	0	0	0	.47	10	71	5	22	0	0	0	.38
42.	1	32	9	49	0	0	0	.52	16	69	2	22	0	0	0	.37
43.	1	13	6	39	0	0	32	.49	16	31	3	13	0	0	46	.50

下位領域「家事」

表 2-5 下位領域「家事」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	1.64	1.96	2.00	1.29	1.79	1.96
2.	1.50	1.92	2.00	1.33	1.73	1.94
3.	1.41	1.90	2.00	1.29	1.65	1.92
4.	1.12	1.79	2.00	0.67	1.24	1.79
5.	0.79	1.60	2.00	0.38	1.14	1.73
6.	1.10	1.86	2.00	0.83	1.52	1.89
7.	0.61	1.45	2.00	0.75	1.09	1.72
8.	1.09	1.89	2.00	1.13	1.68	1.88
9.	0.41	1.48	1.98	0.38	1.08	1.65
10.	0.26	1.36	1.98	0.46	1.14	1.77
11.	0.51	1.42	1.95	0.38	0.89	1.57
12.	0.21	0.99	1.97	0.38	0.78	1.52
13.	0.31	1.24	1.90	0.50	0.84	1.39
14.	0.29	1.20	1.90	0.29	0.96	1.45
15.	0.31	1.34	1.92	0.13	0.84	1.37
16.	0.00	0.54	1.91	0.04	0.34	0.88
17.	0.13	0.96	1.93	0.21	0.73	1.63
18.	0.09	0.65	1.51	0.04	0.46	0.88
19.	0.11	1.06	1.89	0.17	0.62	1.28
20.	0.03	0.67	1.89	0.08	0.53	1.33
21.	0.05	0.59	1.66	0.08	0.43	1.08
22.	0.03	0.41	1.70	0.04	0.28	0.69
23.	0.00	0.22	1.47	0.04	0.11	0.52
24.	0.00	0.05	0.75	0.04	0.03	0.10

表 3-5-1 下位領域「家事」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（0歳～5歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	18	8	92	3	0	0	.54	0	5	7	11	1	0	0	.14
2.	0	16	29	73	3	0	0	.60	0	6	4	12	2	0	0	.66
3.	0	22	27	70	2	0	0	.52	0	6	5	12	1	0	0	.56
4.	0	30	47	42	2	0	0	.56	0	12	8	3	1	0	0	.42
5.	8	44	43	25	1	0	0	.54	0	18	3	2	1	0	0	.44
6.	9	36	19	57	0	0	0	.60	2	9	6	6	1	0	0	.74
7.	11	62	22	26	0	0	0	.48	3	10	4	6	1	0	0	.56
8.	19	25	22	55	0	0	0	.68	5	5	1	12	1	0	0	.70
9.	28	62	11	19	0	0	1	.62	6	12	3	2	1	0	0	.72
10.	31	68	10	9	0	0	3	.49	7	9	2	2	1	0	3	.73
11.	35	48	14	24	0	0	0	.65	8	10	3	2	1	0	0	.71
12.	41	64	7	9	0	0	0	.53	12	6	3	3	0	0	0	.70
13.	63	34	10	14	0	0	0	.65	12	4	4	4	0	0	0	.64
14.	71	26	13	11	0	0	0	.65	12	5	7	0	0	0	0	.73
15.	73	24	10	14	0	0	0	.67	12	10	1	1	0	0	0	.60
16.	79	42	0	0	0	0	0	.00	14	9	1	0	0	0	0	.66
17.	82	31	0	8	0	0	0	.47	15	6	1	2	0	0	0	.72
18.	85	30	1	5	0	0	0	.42	16	7	1	0	0	0	0	.66
19.	93	18	6	3	0	0	0	.45	20	1	2	1	0	0	0	.60
20.	104	14	2	1	0	0	0	.33	21	2	0	1	0	0	0	.64
21.	104	13	2	2	0	0	0	.35	21	1	2	0	0	0	0	.70
22.	104	15	0	2	0	0	0	.24	21	2	1	0	0	0	0	.66
23.	106	15	0	0	0	0	0	-	21	2	1	0	0	0	0	.66
24.	110	11	0	0	0	0	0	-	22	1	1	0	0	0	0	.66

表 3-5-2 下位領域「家事」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	2	0	44	53	0	0	.13	0	8	8	58	40	0	0	.38
2.	0	2	3	40	53	0	0	.18	0	7	16	51	39	0	0	.55
3.	0	2	6	44	47	0	0	.29	0	12	15	50	36	0	0	.46
4.	0	3	15	34	47	0	0	.39	0	30	26	22	35	0	0	.47
5.	0	12	16	28	43	0	0	.47	2	33	27	23	28	0	0	.63
6.	0	4	6	72	17	0	0	.34	3	13	22	57	18	0	0	.59
7.	0	22	10	51	16	0	0	.52	3	39	19	39	13	1	0	.57
8.	0	2	7	75	15	0	0	.34	4	7	15	77	11	0	0	.55
9.	1	16	17	52	13	0	0	.59	6	36	21	41	10	0	0	.69
10.	1	22	12	48	11	0	5	.64	6	33	11	45	10	0	9	.52
11.	1	15	25	47	11	0	0	.60	7	46	21	30	10	0	0	.61
12.	3	40	14	37	5	0	0	.58	11	48	20	32	2	1	0	.60
13.	7	20	21	45	6	0	0	.64	21	34	22	36	1	0	0	.69
14.	8	23	17	47	4	0	0	.60	22	20	34	37	1	0	0	.72
15.	9	12	22	52	3	0	0	.64	25	28	25	34	1	0	0	.68
16.	11	57	8	18	4	0	0	.68	30	59	10	13	1	0	0	.51

17.	11	35	10	38	4	0	0	.67	31	38	7	38	0	0	0	.71
18.	16	46	9	24	3	0	0	.59	33	50	10	20	1	0	0	.52
19.	18	18	20	42	0	0	0	.65	41	30	15	28	0	0	0	.73
20.	26	35	8	28	0	0	0	.69	47	32	10	25	0	0	0	.68
21.	26	37	12	22	0	0	0	.60	48	35	13	18	0	0	0	.67
22.	29	44	9	15	0	0	0	.60	51	40	14	9	0	0	0	.52
23.	31	51	10	5	0	0	0	.53	57	47	7	3	0	0	0	.28
24.	46	49	1	1	0	0	0	.26	62	50	1	1	0	0	0	.08

表 3-5-3 下位領域「家事」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	4	22	83	0	0	.37
2.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	2	3	22	82	0	0	.43
3.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	2	5	22	80	0	0	.26
4.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	4	15	11	79	0	0	.43
5.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	9	11	14	75	0	0	.47
6.	0	0	0	2	90	0	0	-	0	4	4	33	68	0	0	.36
7.	0	0	0	5	87	0	0	-	1	13	2	42	51	0	0	.46
8.	0	0	0	9	83	0	0	-	1	1	7	50	48	0	0	.55
9.	0	1	0	9	82	0	0	.43	1	13	9	47	38	0	0	.72
10.	0	1	0	12	79	0	0	.43	1	7	7	57	35	0	1	.53
11.	0	0	5	12	75	0	0	.51	1	15	15	45	33	0	0	.51
12.	0	1	1	74	16	0	0	.43	1	19	12	70	7	0	0	.48
13.	0	3	2	70	16	0	0	.77	3	19	23	57	7	0	0	.57
14.	0	2	5	75	10	0	0	.67	3	15	24	62	5	0	0	.72
15.	0	3	1	78	10	0	0	.59	4	18	25	57	5	0	0	.60
16.	0	3	2	77	10	0	0	.81	5	46	19	34	4	0	0	.51
17.	1	2	0	79	10	0	0	.77	8	9	6	82	4	0	0	.68
18.	1	16	11	54	10	0	0	.64	9	40	24	32	4	0	0	.55
19.	1	2	4	79	6	0	0	.74	9	15	31	52	2	0	0	.57
20.	2	3	0	85	2	0	0	.69	12	14	21	62	0	0	0	.73
21.	2	13	1	76	0	0	0	.55	12	32	12	53	0	0	0	.59
22.	2	7	10	73	0	0	0	.68	14	47	21	27	0	0	0	.53
23.	2	18	9	63	0	0	0	.58	17	59	9	24	0	0	0	.49
24.	2	50	11	29	0	0	0	.36	22	81	1	5	0	0	0	.13

下位領域「地域生活」

表 2-6 下位領域「地域生活」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	1.92	1.98	2.00	1.54	1.83	1.85
2.	1.79	1.98	2.00	1.33	1.64	1.78
3.	1.72	1.96	2.00	1.54	1.95	2.00
4.	1.38	1.97	2.00	0.88	1.80	1.93
5.	1.25	1.97	2.00	1.04	1.72	1.85
6.	1.34	1.98	2.00	1.00	1.76	1.93
7.	1.35	1.97	2.00	0.67	1.65	1.88
8.	0.99	1.95	2.00	0.83	1.54	1.75
9.	0.93	1.93	2.00	0.79	1.56	1.83
10.	0.72	1.88	2.00	0.67	1.67	1.88
11.	0.74	1.81	2.00	0.67	1.27	1.61
12.	0.40	1.82	2.00	0.50	1.49	1.77
13.	0.72	1.90	2.00	0.42	1.48	1.84
14.	0.34	1.84	2.00	0.33	1.52	1.77
15.	0.47	1.77	1.98	0.25	1.28	1.72
16.	0.07	1.30	1.98	0.25	1.11	1.56
17.	0.28	1.71	2.00	0.33	1.41	1.74
18.	0.12	1.52	2.00	0.08	1.20	1.70
19.	0.07	1.41	1.98	0.29	1.14	1.65
20.	0.44	1.84	2.00	0.42	1.54	1.83
21.	0.33	1.78	2.00	0.42	1.53	1.75
22.	0.12	1.53	2.00	0.13	1.11	1.57
23.	0.17	1.65	2.00	0.25	1.40	1.67
24.	0.08	1.46	2.00	0.33	1.09	1.52
25.	0.11	1.25	1.98	0.13	1.12	1.60
26.	0.12	1.49	1.96	0.21	1.25	1.69
27.	0.06	1.34	2.00	0.21	1.26	1.66
28.	0.09	1.26	1.95	0.08	0.92	1.40
29.	0.07	1.20	1.98	0.25	0.96	1.44
30.	0.01	0.94	1.98	0.08	0.77	1.40
31.	0.02	0.59	1.91	0.21	0.62	1.25
32.	0.00	0.57	1.85	0.04	0.42	0.91
33.	0.02	1.04	1.87	0.08	0.77	1.44
34.	0.00	0.43	1.93	0.00	0.25	1.23
35.	0.00	0.36	1.79	0.04	0.18	0.75
36.	0.00	0.81	1.86	0.08	0.50	0.87
37.	0.00	0.14	1.45	0.00	0.16	0.65
38.	0.00	0.08	1.67	0.00	0.05	0.70
39.	0.00	0.01	1.09	0.00	0.01	0.31

40.	0.00	0.17	1.34	0.00	0.14	0.53
41.	0.00	0.09	1.23	0.00	0.05	0.41
42.	0.00	0.01	0.68	0.00	0.00	0.22
43.	0.00	0.01	0.85	0.00	0.00	0.14
44.	0.00	0.01	0.86	0.00	0.00	0.08

表 3-6-1 下位領域「地域生活」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	5	0	70	46	0	0	.29	0	5	1	14	4	0	0	.45
2.	0	9	7	61	44	0	0	.42	0	8	0	12	4	0	0	.50
3.	0	13	7	57	43	0	1	.44	0	4	2	13	4	0	1	.41
4.	0	34	7	60	20	0	0	.66	0	13	1	7	3	0	0	.72
5.	2	29	29	45	16	0	0	.72	1	8	5	9	1	0	0	.41
6.	4	32	8	66	11	0	0	.71	2	9	2	10	1	0	0	.57
7.	7	28	9	69	8	0	0	.66	2	13	2	6	1	0	0	.48
8.	21	30	20	49	1	0	0	.76	5	8	2	8	1	0	0	.67
9.	25	21	38	36	1	0	0	.63	5	5	9	4	1	0	0	.47
10.	27	37	17	29	1	0	10	.59	6	6	3	3	1	0	5	.72
11.	29	37	20	34	1	0	0	.62	6	7	6	4	1	0	0	.78
12.	33	55	18	14	1	0	0	.58	7	10	2	4	1	0	0	.74
13.	34	30	27	29	1	0	0	.70	8	9	3	2	1	0	0	.72
14.	45	49	13	14	0	0	0	.53	9	10	2	2	1	0	0	.84
15.	48	38	13	22	0	0	0	.65	12	7	4	0	1	0	0	.84
16.	51	65	1	4	0	0	0	.35	13	8	0	2	1	0	0	.77
17.	56	46	4	15	0	0	0	.57	16	4	0	3	1	0	0	.73
18.	69	42	6	4	0	0	0	.44	17	6	0	0	1	0	0	.64
19.	73	42	3	3	0	0	0	.30	18	2	1	2	1	0	0	.84
20.	93	1	1	26	0	0	0	.71	19	0	0	4	1	0	0	.82
21.	93	7	2	19	0	0	0	.67	19	0	0	4	1	0	0	.82
22.	93	20	2	6	0	0	0	.48	19	3	1	0	1	0	0	.73
23.	93	16	3	9	0	0	0	.55	19	2	0	2	1	0	0	.77
24.	93	22	2	4	0	0	0	.34	19	1	0	3	1	0	0	.84
25.	95	18	1	5	0	0	2	.47	19	3	1	0	1	0	0	.72
26.	101	12	2	6	0	0	0	.53	20	1	1	1	1	0	0	.76
27.	101	16	1	3	0	0	0	.33	20	1	1	1	1	0	0	.78
28.	104	11	1	5	0	0	0	.46	20	3	0	0	1	0	0	.64
29.	105	11	1	4	0	0	0	.36	20	1	0	2	1	0	0	.75
30.	107	13	1	0	0	0	0	.22	20	3	0	0	1	0	0	.64
31.	108	11	0	0	0	0	2	.24	20	1	0	1	1	0	1	.76
32.	110	11	0	0	0	0	0	-	21	2	1	0	0	0	0	.65
33.	111	8	1	1	0	0	0	.28	21	1	2	0	0	0	0	.68
34.	113	8	0	0	0	0	0	-	21	3	0	0	0	0	0	.00
35.	113	8	0	0	0	0	0	-	21	2	1	0	0	0	0	.65
36.	115	6	0	0	0	0	0	-	22	1	0	1	0	0	0	.64
37.	115	6	0	0	0	0	0	-	22	2	0	0	0	0	0	-
38.	117	4	0	0	0	0	0	-	23	1	0	0	0	0	0	-

39.	117	4	0	0	0	0	0	-	23	1	0	0	0	0	0	-
40.	117	4	0	0	0	0	0	-	23	1	0	0	0	0	0	-
41.	117	4	0	0	0	0	0	-	24	0	0	0	0	0	0	-
42.	117	4	0	0	0	0	0	-	24	0	0	0	0	0	0	-
43.	117	4	0	0	0	0	0	-	24	0	0	0	0	0	0	-
44.	117	4	0	0	0	0	0	-	24	0	0	0	0	0	0	-

表 3-6-2 下位領域「地域生活」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	1	0	7	91	0	0	.14	0	8	3	27	76	0	0	.50
2.	0	1	0	7	91	0	0	.14	0	17	7	15	75	0	0	.72
3.	0	2	0	7	90	0	0	.27	0	3	0	37	74	0	0	.27
4.	0	1	1	8	89	0	0	.24	0	10	3	30	71	0	0	.61
5.	0	1	1	12	85	0	0	.19	0	13	6	24	71	0	0	.56
6.	0	1	0	16	82	0	0	.14	0	10	7	27	70	0	0	.66
7.	0	1	1	20	77	0	0	.17	1	14	10	26	63	0	0	.72
8.	0	2	1	31	65	0	0	.37	4	20	4	26	60	0	0	.81
9.	0	1	5	28	65	0	0	.33	4	14	14	22	60	0	0	.76
10.	0	4	2	26	65	0	2	.40	8	7	3	32	59	0	5	.68
11.	0	6	7	26	60	0	0	.48	8	29	8	11	57	0	0	.76
12.	1	5	6	31	56	0	0	.60	9	15	8	26	54	0	0	.82
13.	1	2	4	37	55	0	0	.47	9	12	17	22	54	0	0	.83
14.	1	5	4	45	44	0	0	.51	11	14	5	33	51	0	0	.83
15.	1	4	13	39	42	0	0	.44	13	25	6	19	51	0	0	.88
16.	2	30	4	20	42	0	0	.74	14	36	2	11	51	0	0	.81
17.	2	9	7	39	42	0	0	.60	17	14	4	29	49	0	0	.86
18.	2	18	8	34	37	0	0	.76	20	23	5	32	34	0	0	.89
19.	2	23	8	31	35	0	0	.79	22	26	2	33	31	0	0	.85
20.	6	1	2	54	36	0	0	.56	22	2	4	55	30	0	0	.82
21.	6	2	6	50	35	0	0	.61	22	3	4	58	27	0	0	.83
22.	6	15	5	40	33	0	0	.67	22	25	7	34	26	0	0	.84
23.	6	7	9	71	6	0	0	.67	22	10	3	75	3	0	0	.86
24.	7	18	3	66	5	0	0	.69	23	27	3	57	3	0	0	.77
25.	6	25	7	52	4	0	5	.67	25	17	11	53	3	0	5	.65
26.	7	13	10	65	4	0	0	.71	26	13	5	67	1	0	1	.79
27.	10	19	7	59	4	0	0	.74	26	14	4	69	1	0	0	.83
28.	11	22	7	55	4	0	0	.70	27	29	11	47	0	0	0	.74
29.	12	23	8	52	3	0	1	.77	27	27	5	49	0	0	6	.72
30.	13	32	15	38	1	0	0	.79	29	36	9	39	0	0	0	.69
31.	18	44	11	20	1	0	5	.59	34	34	11	25	0	0	10	.55
32.	23	44	8	23	1	0	0	.63	39	46	10	19	0	0	0	.48
33.	30	14	7	48	0	0	0	.73	43	21	12	38	0	0	0	.61
34.	34	42	3	20	0	0	0	.48	45	52	6	11	0	0	0	.36
35.	40	40	2	17	0	0	0	.49	47	53	6	7	0	1	0	.35
36.	43	14	4	38	0	0	0	.69	49	32	9	24	0	0	0	.54
37.	45	46	2	6	0	0	0	.31	53	51	2	8	0	0	0	.28
38.	52	42	2	3	0	0	0	.24	65	45	1	2	0	1	0	.21
39.	57	41	0	0	0	0	1	.08	69	44	0	0	0	1	0	.10

40.	58	25	1	1	0	0	14	.40	72	26	0	0	0	0	16	.29
41.	74	19	2	3	0	0	0	.26	87	24	0	3	0	0	0	.18
42.	79	19	0	0	0	0	0	.10	94	20	0	0	0	0	0	-
43.	80	18	0	0	0	0	0	.10	96	18	0	0	0	0	0	-
44.	81	17	0	0	0	0	0	.10	97	17	0	0	0	0	0	-

表 3-6-3 下位領域「地域生活」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	8	0	9	92	0	0	.61
2.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	12	0	5	91	0	0	.73
3.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	17	92	0	0	.00
4.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	3	0	16	89	0	0	.48
5.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	5	4	11	88	0	0	.65
6.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	1	4	18	85	0	0	.56
7.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	4	3	18	83	0	0	.64
8.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	11	3	11	83	0	0	.83
9.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	6	5	14	83	0	0	.69
10.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	4	0	18	83	0	3	.53
11.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	18	4	3	83	0	0	.89
12.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	10	3	13	82	0	0	.78
13.	0	0	0	0	92	0	0	-	1	5	5	16	82	0	0	.72
14.	0	0	0	1	91	0	0	-	1	11	1	17	79	0	0	.78
15.	0	1	0	0	91	0	0	.47	3	11	2	13	80	0	0	.80
16.	0	1	0	0	91	0	0	.47	3	20	2	4	80	0	0	.87
17.	0	0	0	1	91	0	0	-	3	10	2	16	78	0	0	.83
18.	0	0	0	2	90	0	0	-	4	12	1	15	77	0	0	.85
19.	0	1	0	2	89	0	0	.47	5	13	2	13	76	0	0	.87
20.	0	0	0	3	89	0	0	-	6	2	2	22	76	0	0	.72
21.	0	0	0	3	89	0	0	-	6	6	2	19	75	0	0	.81
22.	0	0	0	4	88	0	0	-	6	17	1	15	70	0	0	.86
23.	0	0	0	20	72	0	0	-	6	11	2	49	41	0	0	.85
24.	0	0	0	21	71	0	0	-	6	18	3	44	37	0	0	.83
25.	0	1	0	20	71	0	0	.47	8	12	4	50	35	0	0	.85
26.	0	2	0	20	70	0	0	.47	9	6	4	58	32	0	0	.75
27.	0	0	0	23	69	0	0	-	10	8	0	61	29	0	0	.84
28.	0	1	3	25	63	0	0	.25	12	19	3	52	23	0	0	.71
29.	0	1	0	29	62	0	0	.47	12	14	6	54	20	0	3	.76
30.	0	1	0	31	60	0	0	.47	12	19	3	57	18	0	0	.78
31.	0	3	0	28	59	0	2	.44	13	24	7	49	15	0	1	.65
32.	0	6	2	69	15	0	0	.36	16	36	15	38	4	0	0	.56
33.	1	3	4	77	7	0	0	.51	17	10	7	73	2	0	0	.75
34.	1	2	0	82	7	0	0	.50	18	22	4	63	2	0	0	.68
35.	1	8	1	75	7	0	0	.35	19	44	9	35	1	0	0	.52
36.	1	3	5	79	4	0	0	.36	23	31	14	39	1	0	0	.56
37.	1	22	5	61	3	0	0	.65	24	46	7	31	1	0	0	.48
38.	1	13	2	73	3	0	0	.59	31	38	4	35	1	0	0	.49
39.	1	41	0	48	2	0	0	.72	36	55	2	15	1	0	0	.34
40.	3	10	4	42	2	0	31	.66	38	28	7	15	0	1	20	.46

41.	6	24	11	51	0	0	0	.71	45	38	7	19	0	0	0	.39
42.	6	54	1	31	0	0	0	.59	51	45	2	11	0	0	0	.31
43.	9	44	0	39	0	0	0	.69	59	41	3	6	0	0	0	.25
44.	13	39	1	39	0	0	0	.72	60	43	2	3	0	1	0	.23

下位領域「対人関係」

表 2-7 下位領域「対人関係」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	2.00	1.99	2.00	2.00	1.99	1.97
2.	1.98	1.99	2.00	1.83	1.99	1.95
3.	1.98	1.99	2.00	1.92	1.99	1.98
4.	1.98	1.99	2.00	2.00	1.97	1.98
5.	1.98	1.99	2.00	2.00	1.91	1.86
6.	1.98	1.99	2.00	1.88	1.96	1.91
7.	1.97	1.99	2.00	1.92	1.97	1.94
8.	1.95	1.99	2.00	1.92	1.92	1.91
9.	1.95	1.99	2.00	1.58	1.77	1.75
10.	1.98	1.99	2.00	1.71	1.88	1.87
11.	1.98	1.99	2.00	1.83	1.81	1.76
12.	1.98	1.99	2.00	1.83	1.96	1.92
13.	1.97	1.99	2.00	1.54	1.68	1.70
14.	1.83	1.99	2.00	1.13	1.42	1.49
15.	1.72	1.99	2.00	1.04	1.48	1.54
16.	1.72	1.97	2.00	1.08	1.54	1.56
17.	1.61	1.99	2.00	1.08	1.55	1.72
18.	1.60	1.97	2.00	1.08	1.45	1.41
19.	1.68	1.99	2.00	0.96	1.52	1.55
20.	1.55	1.97	1.98	0.92	1.24	1.17
21.	1.28	1.91	1.96	0.92	1.08	1.15
22.	1.21	1.96	1.91	0.54	1.05	1.24
23.	1.23	1.89	1.91	0.58	1.03	1.17
24.	1.03	1.92	1.99	0.46	1.04	1.27
25.	0.85	1.72	1.91	0.17	0.65	0.88
26.	0.83	1.82	2.00	0.21	0.82	1.11
27.	0.85	1.87	2.00	0.25	1.10	1.34
28.	0.67	1.70	1.98	0.21	0.69	0.87
29.	0.69	1.80	1.95	0.08	0.65	0.64
30.	0.45	1.61	1.93	0.25	0.72	0.97
31.	0.68	1.73	1.99	0.17	0.94	1.21
32.	0.31	1.54	1.93	0.17	0.57	0.73
33.	0.21	1.17	1.87	0.13	0.61	1.06

34.	0.32	1.42	1.92	0.08	0.52	0.94
35.	0.10	0.93	1.92	0.00	0.11	0.43
36.	0.11	0.79	1.82	0.00	0.20	0.28
37.	0.05	0.58	1.60	0.00	0.14	0.22
38.	0.00	0.05	1.14	0.00	0.01	0.04

表 3-7-1 下位領域「対人関係」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	10	111	0	-	0	0	0	4	20	0	-
2.	1	0	0	9	111	0	.20	0	2	0	2	20	0	.54
3.	1	0	0	9	111	0	.20	0	1	0	3	20	0	.41
4.	1	0	0	9	111	0	.20	0	0	0	5	19	0	-
5.	1	0	0	9	111	0	.20	0	0	0	7	17	0	-
6.	1	0	0	8	111	0	.28	0	1	1	6	16	0	.49
7.	1	0	1	8	110	0	.29	0	0	2	6	16	0	.55
8.	1	1	1	7	110	0	.32	0	0	2	6	16	0	.55
9.	1	1	1	7	110	0	.29	0	5	0	5	14	0	.54
10.	1	0	0	16	103	0	.28	0	3	1	9	11	0	.60
11.	0	0	1	36	83	0	.09	0	2	0	11	11	0	.54
12.	0	0	1	39	80	0	.28	0	1	2	12	9	0	.49
13.	0	2	0	43	76	0	.20	1	3	3	8	9	0	.67
14.	0	7	7	32	75	0	.51	1	8	3	3	9	0	.82
15.	0	14	6	65	36	0	.52	1	8	5	3	7	0	.75
16.	0	14	6	67	34	0	.52	1	10	0	9	4	0	.70
17.	1	16	13	63	28	0	.65	2	8	2	8	4	0	.81
18.	4	17	7	68	25	0	.65	5	6	0	11	2	0	.82
19.	7	9	7	77	21	0	.61	5	5	5	7	2	0	.85
20.	10	14	7	86	4	0	.69	5	7	2	9	1	0	.61
21.	13	25	11	68	4	0	.60	7	5	2	10	0	0	.82
22.	14	19	29	55	4	0	.70	7	8	5	4	0	0	.64
23.	14	19	27	58	3	0	.66	7	9	2	6	0	0	.72
24.	16	31	23	48	3	0	.71	10	8	1	5	0	0	.52
25.	19	35	31	34	2	0	.65	10	10	4	0	0	0	.52
26.	21	39	20	39	1	0	.60	13	8	1	2	0	0	.39
27.	25	40	9	46	1	0	.77	14	6	2	2	0	0	.42
28.	30	45	11	34	1	0	.67	15	6	1	2	0	0	.38
29.	40	37	5	38	1	0	.59	17	6	0	1	0	0	.19
30.	45	42	13	21	0	0	.58	17	3	2	2	0	0	.52
31.	55	19	12	35	0	0	.64	18	4	0	2	0	0	.33
32.	56	38	17	10	0	0	.47	18	3	2	1	0	0	.44
33.	58	47	7	9	0	0	.41	19	3	1	1	0	0	.36
34.	64	35	5	17	0	0	.51	19	4	0	1	0	0	.21
35.	66	46	6	3	0	0	.35	20	4	0	0	0	0	-
36.	78	35	3	5	0	0	.35	21	3	0	0	0	0	-
37.	89	29	0	3	0	0	.25	21	3	0	0	0	0	-
38.	94	27	0	0	0	0	-	23	1	0	0	0	0	-

表 3-7-2 下位領域「対人関係」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型						PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	2	96	0	.42	0	0	1	12	101	0	.25
2.	0	0	0	2	96	0	.42	0	0	1	15	98	0	.25
3.	0	0	0	2	96	0	.42	0	0	1	15	98	0	.25
4.	0	0	0	2	96	0	.42	0	1	1	17	95	0	.30
5.	0	0	0	2	96	0	.42	0	3	4	14	93	0	.48
6.	0	0	0	2	96	0	.42	0	1	3	19	91	0	.30
7.	0	0	0	2	96	0	.42	0	1	0	25	87	0	.30
8.	0	0	0	2	96	0	.42	0	2	5	20	87	0	.39
9.	0	0	0	2	96	0	.42	0	11	3	18	81	0	.55
10.	0	0	0	2	96	0	.42	0	4	6	27	77	0	.46
11.	0	0	0	2	96	0	.42	0	6	10	26	72	0	.54
12.	0	0	0	3	95	0	.42	0	1	3	38	72	0	.24
13.	0	0	0	3	95	0	.42	0	16	5	22	71	0	.49
14.	0	0	0	3	95	0	.42	0	30	6	12	66	0	.73
15.	0	0	0	11	87	0	.42	0	24	11	28	51	0	.69
16.	0	1	0	11	86	0	.33	0	22	9	46	37	0	.66
17.	0	0	0	17	81	0	.42	2	21	5	57	29	0	.75
18.	0	1	0	18	79	0	.33	5	22	9	54	24	0	.58
19.	0	0	0	22	76	0	.42	7	9	23	52	23	0	.68
20.	0	1	0	74	23	0	.14	10	26	14	62	1	0	.64
21.	0	3	2	71	22	0	.25	11	36	11	56	0	0	.61
22.	0	0	3	75	20	0	.23	11	30	26	47	0	0	.70
23.	0	3	4	71	20	0	.32	11	35	19	49	0	0	.69
24.	0	2	3	74	19	0	.41	16	31	15	52	0	0	.67
25.	0	8	11	62	17	0	.46	20	44	26	24	0	0	.59
26.	0	2	13	66	17	0	.49	24	30	27	32	1	0	.61
27.	0	2	8	72	16	0	.50	24	25	5	60	0	0	.78
28.	1	7	13	62	15	0	.44	28	39	14	32	0	0	.51
29.	1	4	9	70	14	0	.50	31	39	14	30	0	0	.63
30.	1	9	18	58	12	0	.59	31	33	17	32	0	0	.66
31.	3	6	8	74	7	0	.52	37	17	13	47	0	0	.73
32.	3	9	21	59	6	0	.61	38	35	17	24	0	0	.60
33.	3	30	15	45	5	0	.54	40	34	10	30	0	0	.57
34.	5	16	14	63	0	0	.58	42	35	15	22	0	0	.58
35.	5	39	17	37	0	0	.45	42	62	7	3	0	0	.27
36.	8	45	13	32	0	0	.44	49	49	9	7	0	0	.42
37.	11	57	4	26	0	0	.34	53	52	2	7	0	0	.28
38.	15	81	0	2	0	0	-.04	60	53	1	0	0	0	.15

表 3-7-3 下位領域「対人関係」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13 歳以上)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	1	10	97	0	.30
2.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	3	10	95	0	.36
3.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	0	14	94	0	.22
4.	0	0	0	0	92	0	-	0	1	0	16	92	0	.22
5.	0	0	0	0	92	0	-	0	7	1	12	89	0	.45
6.	0	0	0	0	92	0	-	0	4	2	14	89	0	.43
7.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	0	19	87	0	.18
8.	0	0	0	0	92	0	-	0	4	2	17	86	0	.30
9.	0	0	0	0	92	0	-	0	13	1	13	82	0	.44
10.	0	0	0	0	92	0	-	0	6	2	27	74	0	.34
11.	0	0	0	0	92	0	-	0	12	1	26	69	0	.64
12.	0	0	0	0	92	0	-	0	2	5	36	66	0	.38
13.	0	0	0	0	92	0	-	1	14	3	25	66	0	.61
14.	0	0	0	0	92	0	-	1	23	8	13	64	0	.75
15.	0	0	0	1	91	0	-	1	22	4	23	59	0	.61
16.	0	0	0	3	89	0	-	1	20	6	39	43	0	.52
17.	0	0	0	7	85	0	-	2	12	2	57	35	0	.70
18.	0	0	0	9	83	0	-	3	27	3	45	30	0	.55
19.	0	0	0	10	82	0	-	4	15	11	55	24	0	.68
20.	0	1	0	73	18	0	.42	5	34	13	52	5	0	.56
21.	0	2	0	72	18	0	-.03	9	31	13	51	5	0	.50
22.	0	3	2	69	18	0	.71	11	19	23	52	4	0	.62
23.	0	2	3	67	19	0	.40	11	22	24	47	4	0	.61
24.	0	0	1	73	18	0	.45	14	22	8	61	4	0	.66
25.	0	2	4	68	18	0	.39	14	32	29	29	4	0	.62
26.	0	0	0	74	18	0	-	15	23	21	46	4	0	.55
27.	0	0	0	74	18	0	-	17	14	9	66	2	0	.73
28.	0	0	2	73	17	0	.60	18	35	15	38	1	0	.60
29.	0	1	3	71	17	0	.29	21	47	12	28	1	0	.48
30.	0	1	4	73	14	0	.68	21	23	22	40	1	0	.68
31.	0	0	1	77	14	0	.09	24	16	5	63	0	0	.74
32.	0	1	4	74	13	0	.37	29	26	26	26	0	0	.58
33.	0	3	6	76	7	0	.59	31	14	12	51	0	0	.60
34.	0	0	7	83	2	0	.36	32	10	30	35	0	0	.66
35.	0	1	5	86	0	0	.52	32	41	23	11	0	1	.35
36.	0	5	7	80	0	0	.62	32	56	10	9	0	0	.43
37.	1	14	7	70	0	0	.42	33	61	6	9	0	0	.28
38.	2	36	3	51	0	0	.26	34	73	0	2	0	0	.10

下位領域「遊びと余暇」

表 2-8 下位領域「遊びと余暇」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	2.00	2.00	2.00	1.96	1.98	1.98
2.	2.00	2.00	2.00	1.79	1.97	1.94
3.	2.00	2.00	2.00	1.79	1.95	1.93
4.	1.98	2.00	2.00	1.79	1.90	1.92
5.	1.85	2.00	2.00	1.42	1.72	1.82
6.	1.82	2.00	2.00	1.25	1.67	1.83
7.	1.72	2.00	2.00	1.13	1.63	1.80
8.	1.73	2.00	2.00	1.33	1.81	1.82
9.	1.74	2.00	2.00	1.17	1.73	1.80
10.	1.74	2.00	2.00	1.25	1.66	1.76
11.	1.80	2.00	2.00	1.33	1.56	1.71
12.	1.55	2.00	2.00	1.13	1.62	1.76
13.	1.56	2.00	2.00	0.88	1.54	1.58
14.	1.50	2.00	2.00	0.79	1.54	1.62
15.	1.47	2.00	2.00	0.83	1.61	1.79
16.	1.34	2.00	2.00	0.46	1.43	1.71
17.	1.21	1.98	2.00	0.42	1.38	1.68
18.	1.04	2.00	2.00	0.50	1.54	1.71
19.	0.80	1.93	2.00	0.25	1.21	1.62
20.	0.88	1.96	2.00	0.29	1.41	1.61
21.	1.03	1.85	1.96	0.46	1.13	1.31
22.	0.84	1.92	1.97	0.50	1.15	1.51
23.	0.37	1.52	1.93	0.17	0.68	1.12
24.	0.39	1.67	1.98	0.21	0.89	1.45
25.	0.17	1.47	1.98	0.13	0.65	1.20
26.	0.16	1.48	1.96	0.13	0.95	1.48
27.	0.10	0.76	1.83	0.00	0.32	0.66
28.	0.03	0.94	1.98	0.00	0.45	1.06
29.	0.02	0.93	1.96	0.00	0.40	0.80
30.	0.00	0.59	1.91	0.00	0.11	0.63
31.	0.00	0.04	1.50	0.00	0.00	0.27

表 3-8-1 下位領域「遊びと余暇」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（0歳～5歳）

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	17	104	0	-	0	0	1	9	14	0	.32
2.	0	0	0	20	101	0	-	0	2	1	8	13	0	.30
3.	0	0	0	22	99	0	-	1	1	1	8	13	0	.42
4.	0	1	0	34	86	0	.20	0	2	1	8	13	0	.41
5.	0	6	6	24	85	0	.40	0	5	4	3	12	0	.65
6.	0	9	4	24	84	0	.56	0	8	2	2	12	0	.75
7.	1	14	4	18	84	0	.66	0	9	3	1	11	0	.81
8.	1	13	5	21	81	0	.61	1	7	0	5	11	0	.69
9.	0	11	10	43	57	0	.66	3	5	4	2	10	0	.85
10.	3	10	5	47	56	0	.62	5	3	2	7	7	0	.75
11.	5	7	0	54	55	0	.60	6	2	0	10	6	0	.72
12.	6	18	7	37	53	0	.76	6	3	3	7	5	0	.78
13.	7	15	9	62	28	0	.79	6	7	1	7	3	0	.72
14.	8	20	4	65	24	0	.75	6	8	1	7	2	0	.69
15.	10	18	8	67	18	0	.83	7	5	4	6	2	0	.81
16.	13	23	8	62	15	0	.78	7	11	1	3	2	0	.71
17.	15	22	21	48	15	0	.79	9	8	4	1	2	0	.58
18.	19	31	16	54	1	0	.81	10	7	2	4	1	0	.62
19.	24	37	23	37	0	0	.67	10	10	2	1	1	0	.61
20.	28	33	14	46	0	0	.70	11	9	1	2	1	0	.65
21.	33	22	6	59	0	0	.75	11	7	1	4	1	0	.74
22.	40	17	26	38	0	0	.74	15	1	4	3	1	0	.74
23.	41	48	19	13	0	0	.48	17	4	2	0	1	0	.63
24.	42	49	13	17	0	0	.48	17	4	1	1	1	0	.63
25.	45	64	3	9	0	0	.36	17	5	1	0	1	0	.51
26.	51	58	5	7	0	0	.36	17	5	1	1	0	0	.51
27.	70	44	2	5	0	0	.23	21	3	0	0	0	0	-
28.	81	38	0	2	0	0	.19	21	3	0	0	0	0	-
29.	98	22	0	1	0	0	.12	22	2	0	0	0	0	-
30.	103	18	0	0	0	0	-	22	2	0	0	0	0	-
31.	108	13	0	0	0	0	-	24	0	0	0	0	0	-

表 3-8-2 下位領域「遊びと余暇」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	2	97	0	-	0	0	2	15	97	0	.28
2.	0	0	0	2	97	0	-	0	0	3	15	96	0	.35
3.	0	0	0	2	97	0	-	0	2	2	15	95	0	.36
4.	0	0	0	2	97	0	-	0	3	5	15	91	0	.51
5.	0	0	0	2	97	0	-	0	14	4	5	91	0	.77
6.	0	0	0	2	97	0	-	0	18	2	5	89	0	.82
7.	0	0	0	3	96	0	-	0	21	0	11	82	0	.82
8.	0	0	0	2	97	0	-	1	8	4	21	79	0	.22
9.	0	0	0	5	94	0	-	4	8	7	17	78	0	.74

10.	0	0	0	5	94	0	-	5	12	5	17	75	0	.83
11.	0	0	0	5	94	0	-	5	18	4	12	75	0	.75
12.	0	0	0	5	94	0	-	5	15	3	18	73	0	.67
13.	0	0	0	7	92	0	-	5	17	8	20	64	0	.82
14.	0	0	0	7	92	0	-	6	16	8	21	62	0	.81
15.	0	0	0	10	89	0	-	8	12	3	39	51	0	.78
16.	0	0	0	11	88	0	-	9	21	5	29	50	0	.75
17.	0	1	0	21	77	0	.20	12	18	11	31	42	0	.83
18.	0	0	0	45	54	0	-	12	10	8	58	26	0	.82
19.	0	2	3	49	45	0	.27	12	22	22	42	16	0	.78
20.	0	1	2	53	43	0	.18	15	14	9	62	14	0	.78
21.	0	7	1	86	5	0	.09	15	32	5	62	0	0	.56
22.	0	3	2	89	5	0	.18	16	23	19	56	0	0	.69
23.	0	20	8	66	5	0	.41	16	51	15	31	0	1	.50
24.	0	15	3	79	2	0	.54	16	43	9	46	0	0	.63
25.	0	17	18	62	2	0	.60	18	48	22	26	0	0	.55
26.	3	18	9	67	2	0	.65	27	26	14	47	0	0	.63
27.	6	53	4	35	0	0	.45	36	58	3	17	0	0	.34
28.	7	41	9	42	0	0	.61	39	45	7	21	0	1	.45
29.	11	39	6	43	0	0	.60	40	48	6	20	0	0	.44
30.	16	52	4	27	0	0	.59	46	61	1	6	0	0	.21
31.	28	69	0	2	0	0	.20	59	55	0	0	0	0	-

表 3-8-3 下位領域「遊びと余暇」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型							PDD						
	上限以降	0	1	2	下限以前	DK	I-T相関	上限以降	0	1	2	下限以前	DK	I-T相関
1.	0	0	0	0	92	0	-	0	0	2	10	97	0	.36
2.	0	0	0	0	92	0	-	0	2	3	7	97	0	.54
3.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	2	8	96	0	.56
4.	0	0	0	0	92	0	-	1	3	1	8	96	0	.56
5.	0	0	0	0	92	0	-	1	9	0	3	96	0	.82
6.	0	0	0	0	92	0	-	1	8	0	5	95	0	.77
7.	0	0	0	0	92	0	-	1	9	2	6	91	0	.81
8.	0	0	0	0	92	0	-	1	9	0	11	88	0	.82
9.	0	0	0	0	92	0	-	4	6	2	13	84	0	.82
10.	0	0	0	0	92	0	-	5	7	2	12	83	0	.81
11.	0	0	0	0	92	0	-	6	9	2	9	83	0	.81
12.	0	0	0	0	92	0	-	6	6	2	13	82	0	.74
13.	0	0	0	0	92	0	-	6	16	2	5	80	0	.82
14.	0	0	0	0	92	0	-	6	13	3	8	79	0	.77
15.	0	0	0	0	92	0	-	6	5	1	20	77	0	.76
16.	0	0	0	0	92	0	-	6	9	2	18	74	0	.73
17.	0	0	0	1	91	0	-	6	8	7	29	59	0	.82
18.	0	0	0	1	91	0	-	6	9	1	42	50	0	.85
19.	0	0	0	2	90	0	-	6	11	7	44	41	0	.81
20.	0	0	0	2	90	0	-	7	12	4	47	39	0	.81
21.	0	2	0	8	82	0	.62	8	27	4	42	27	0	.57
22.	0	1	1	11	79	0	.73	9	12	11	53	24	0	.70
23.	0	3	0	14	75	0	.54	9	32	14	37	17	0	.59

24.	0	1	0	16	75	0	.61	9	16	10	59	15	0	.78
25.	0	1	0	16	75	0	.61	11	25	15	45	13	0	.67
26.	0	1	2	77	12	0	.65	12	11	11	72	3	0	.79
27.	0	6	4	77	5	0	.53	19	52	4	32	2	0	.41
28.	0	1	0	91	0	0	.32	19	25	13	50	0	0	.58
29.	0	2	0	90	0	0	.33	20	43	5	41	0	0	.50
30.	0	4	0	88	0	0	.24	21	50	7	31	0	0	.37
31.	1	20	4	67	0	0	.38	29	64	3	13	0	0	.29

下位領域「コーピング」

表 2-9 下位領域「コーピング」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上
1.	1.60	1.96	2.00	1.17	1.68	1.84
2.	1.53	1.99	2.00	0.83	1.68	1.82
3.	1.72	1.95	2.00	1.50	1.64	1.91
4.	1.63	1.94	2.00	1.63	1.75	1.90
5.	1.34	1.92	2.00	0.92	1.44	1.72
6.	1.31	1.96	2.00	0.42	1.38	1.63
7.	1.21	1.84	1.99	0.83	1.46	1.77
8.	1.14	1.84	2.00	0.92	1.41	1.78
9.	0.98	1.82	1.99	0.46	1.27	1.58
10.	0.98	1.78	1.99	0.50	1.41	1.61
11.	0.60	1.64	1.99	0.17	0.99	1.56
12.	0.76	1.71	2.00	0.25	1.01	1.51
13.	0.52	1.64	1.98	0.21	0.95	1.33
14.	0.40	1.36	1.98	0.29	0.83	1.61
15.	0.50	1.38	1.98	0.17	0.70	1.39
16.	0.73	1.57	1.98	0.38	1.04	1.51
17.	0.50	1.41	1.98	0.21	0.85	1.42
18.	0.26	1.37	1.98	0.08	0.79	1.33
19.	0.33	1.36	1.97	0.04	0.69	1.32
20.	0.34	1.23	1.97	0.08	0.43	1.01
21.	0.21	1.38	1.93	0.13	0.62	1.34
22.	0.36	1.47	1.95	0.08	0.96	1.66
23.	0.14	1.06	1.84	0.00	0.43	0.82
24.	0.17	1.27	1.97	0.08	0.82	1.46
25.	0.14	1.04	1.90	0.00	0.68	1.19

26.	0.09	0.85	1.74	0.00	0.31	0.68
27.	0.07	0.94	1.89	0.00	0.50	1.12
28.	0.05	0.82	1.84	0.04	0.33	0.72
29.	0.02	0.65	1.88	0.00	0.28	0.83
30.	0.07	0.81	1.93	0.08	0.35	0.84

表 3-9-1 下位領域「コーピング」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	12	25	58	26	0	.43	0	5	10	8	1	0	.14
2.	0	19	19	60	23	0	.61	0	10	8	6	0	0	.68
3.	0	13	8	79	21	0	.35	0	3	6	15	0	0	.24
4.	0	15	15	70	21	0	.17	0	2	5	17	0	0	-.20
5.	1	24	30	63	3	0	.60	1	8	8	7	0	0	.57
6.	3	25	27	63	3	0	.70	1	17	2	4	0	0	.63
7.	4	26	36	53	2	0	.65	1	8	10	5	0	0	.53
8.	5	36	22	56	2	0	.71	1	8	8	7	0	0	.54
9.	18	24	39	38	2	0	.71	5	11	5	3	0	0	.69
10.	19	29	28	44	1	0	.69	7	9	4	4	0	0	.14
11.	20	50	29	21	1	0	.53	6	15	2	1	0	0	.45
12.	26	35	28	31	1	0	.64	7	12	4	1	0	0	.29
13.	29	46	29	16	1	0	.68	9	10	5	0	0	0	.68
14.	34	50	25	11	1	0	.57	9	9	5	1	0	0	.46
15.	41	34	31	14	1	0	.64	12	9	2	1	0	0	.31
16.	48	15	28	30	0	0	.71	12	4	7	1	0	0	.65
17.	55	29	14	23	0	0	.68	14	6	3	1	0	0	.46
18.	56	48	2	15	0	0	.48	14	9	0	1	0	0	.08
19.	56	39	12	14	0	0	.55	16	7	1	0	0	0	.11
20.	58	35	15	13	0	0	.52	16	7	0	1	0	0	.30
21.	69	37	5	10	0	0	.52	18	4	1	1	0	0	.62
22.	76	20	6	19	0	0	.62	20	3	0	1	0	0	.50
23.	76	34	5	6	0	0	.45	21	3	0	0	0	0	-
24.	82	25	7	7	0	0	.52	22	0	2	0	0	0	.63
25.	88	23	3	7	0	0	.46	22	2	0	0	0	0	.00
26.	90	24	3	4	0	0	.32	22	2	0	0	0	0	-
27.	96	19	4	2	0	0	.37	22	2	0	0	0	0	-
28.	99	17	4	1	0	0	.30	22	1	1	0	0	0	.52
29.	101	18	2	0	0	0	.22	23	1	0	0	0	0	-
30.	107	9	2	3	0	0	.38	23	0	0	1	0	0	.50

表 3-9-2 下位領域「コーピング」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (6歳~12歳)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	1	2	10	86	0	.27	0	12	12	32	58	0	.43
2.	0	0	1	15	83	0	.06	0	11	15	34	54	0	.57
3.	0	2	1	20	76	0	.23	0	15	11	37	51	0	.31
4.	0	1	3	19	75	0	.18	0	10	7	47	49	0	.28
5.	0	3	2	44	50	0	.24	0	18	27	35	33	0	.64
6.	0	0	4	48	47	0	.11	0	26	19	38	31	0	.63
7.	0	5	6	42	46	0	.47	0	22	17	51	24	0	.50
8.	0	4	7	40	47	0	.43	2	23	17	49	23	0	.59
9.	0	5	8	44	42	0	.38	6	26	19	46	17	0	.66
10.	0	4	14	40	41	0	.31	6	19	17	57	15	0	.59
11.	0	9	16	34	38	0	.51	7	41	19	33	14	0	.56
12.	0	9	11	42	37	0	.56	8	38	21	35	12	0	.74
13.	1	6	22	36	34	0	.55	12	36	24	33	9	0	.73
14.	1	20	20	24	33	0	.55	14	44	17	30	9	0	.65
15.	3	14	26	22	33	0	.70	20	41	26	19	8	0	.62
16.	3	8	19	62	5	0	.74	26	12	34	42	0	0	.64
17.	3	12	27	52	4	0	.69	28	25	24	36	0	0	.64
18.	5	20	11	58	4	0	.65	29	34	12	39	0	0	.69
19.	6	16	17	54	4	0	.63	29	36	19	30	0	0	.70
20.	8	17	25	44	4	0	.64	30	47	25	12	0	0	.50
21.	10	15	10	59	4	0	.71	33	39	13	29	0	0	.64
22.	13	8	9	65	3	0	.73	44	12	7	51	0	0	.73
23.	14	20	24	37	3	0	.75	47	31	23	13	0	0	.54
24.	18	12	11	55	2	0	.78	49	13	11	41	0	0	.74
25.	20	22	10	44	2	0	.59	50	20	11	33	0	0	.70
26.	19	27	21	29	2	0	.66	50	40	13	11	0	0	.49
27.	24	21	14	39	0	0	.67	50	32	7	25	0	0	.59
28.	25	26	13	33	0	0	.63	51	40	8	15	0	0	.50
29.	26	39	3	30	0	0	.57	55	42	1	15	0	1	.50
30.	30	22	13	33	0	0	.67	60	28	12	14	0	0	.60

表 3-9-3 下位領域「コーピング」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型							PDD						
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	-	0	4	9	17	79	0	.47
2.	0	0	0	0	92	0	-	0	5	10	16	78	0	.60
3.	0	0	0	0	92	0	-	0	5	0	27	77	0	.27
4.	0	0	0	0	92	0	-	0	3	5	27	74	0	.39
5.	0	0	0	1	91	0	-	0	12	6	22	69	0	.57
6.	0	0	0	1	91	0	-	1	15	8	21	64	0	.72
7.	0	0	1	0	91	0	.89	1	5	13	29	61	0	.59
8.	0	0	0	1	91	0	-	1	7	8	34	59	0	.64
9.	0	0	1	0	91	0	.89	1	16	12	29	51	0	.66
10.	0	0	1	0	91	0	.89	1	18	5	36	49	0	.59

11.	0	0	1	0	91	0	.89	1	17	12	32	47	0	.79
12.	0	0	0	1	91	0	.00	1	19	13	32	44	0	.78
13.	0	1	0	0	91	0	.89	4	23	19	22	41	0	.79
14.	0	1	0	0	91	0	.89	7	10	7	43	41	0	.64
15.	0	1	0	1	90	0	.89	8	20	10	33	38	0	.71
16.	0	1	0	3	88	0	.89	9	7	20	42	30	0	.74
17.	1	0	0	8	83	0	.89	9	15	15	42	28	0	.76
18.	1	0	0	11	80	0	.89	9	24	7	41	28	0	.80
19.	1	0	1	15	75	0	.83	10	19	16	44	20	0	.72
20.	1	0	1	15	75	0	.83	10	34	20	29	16	0	.61
21.	1	1	2	70	18	0	.60	11	17	16	60	5	0	.63
22.	1	0	3	73	15	0	.70	13	3	5	85	3	0	.71
23.	1	4	5	67	15	0	.59	13	34	35	25	2	0	.55
24.	1	0	1	78	12	0	.81	13	11	11	73	1	0	.68
25.	1	2	3	74	12	0	.58	13	24	14	57	1	0	.69
26.	1	6	10	63	12	0	.55	14	45	26	23	1	0	.51
27.	1	3	2	86	0	0	.56	16	26	12	55	0	0	.66
28.	1	4	5	82	0	0	.56	16	40	28	25	0	0	.51
29.	1	3	3	85	0	0	.56	22	36	12	39	0	0	.50
30.	1	0	4	87	0	0	.77	22	29	24	34	0	0	.54

下位領域「粗大運動」

表 2-10 下位領域「粗大運動」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
2.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
3.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
4.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
5.	2.00	2.00	2.00	1.83	2.00	2.00
6.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
7.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
8.	1.98	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
9.	1.98	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
10.	1.98	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
11.	1.98	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
12.	1.98	2.00	2.00	1.88	2.00	2.00
13.	1.92	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
14.	1.88	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
15.	1.96	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
16.	1.98	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
17.	1.96	2.00	2.00	1.92	1.98	2.00
18.	1.97	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
19.	1.88	2.00	2.00	2.00	1.98	2.00

20.	1.88	2.00	2.00	2.00	1.96	2.00
21.	1.83	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
22.	1.83	2.00	2.00	1.79	1.96	2.00
23.	1.78	2.00	2.00	1.92	1.93	1.98
24.	1.77	2.00	2.00	1.96	1.97	2.00
25.	1.65	2.00	2.00	1.75	1.94	1.96
26.	1.46	2.00	2.00	1.38	1.88	1.94
27.	1.49	2.00	2.00	1.42	1.89	2.00
28.	1.53	2.00	2.00	1.83	1.99	2.00
29.	1.46	1.97	2.00	1.46	1.89	1.94
30.	1.47	2.00	2.00	1.50	1.96	1.94
31.	1.40	2.00	2.00	1.42	1.90	1.96
32.	1.52	2.00	2.00	1.54	1.94	1.94
33.	1.45	2.00	2.00	1.46	1.96	1.99
34.	1.45	2.00	2.00	1.67	1.78	1.82
35.	1.19	1.97	1.99	1.08	1.82	1.88
36.	1.05	1.97	2.00	1.00	1.70	1.90
37.	1.13	2.00	2.00	0.88	1.77	1.85
38.	0.81	1.87	2.00	0.54	1.44	1.46
39.	0.45	1.71	1.99	0.38	1.13	1.42
40.	0.36	1.66	1.98	0.21	1.31	1.68

表 3-10-1 下位領域「粗大運動」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型							PDD								
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	0	0	3	21	0	0	-
2.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	0	0	3	21	0	0	-
3.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	0	0	3	21	0	0	-
4.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	0	0	3	21	0	0	-
5.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	2	0	1	21	0	0	.34
6.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	0	0	3	21	0	0	-
7.	0	0	0	8	113	0	0	-	0	0	0	3	21	0	0	-
8.	0	1	0	16	104	0	0	.33	0	0	0	4	20	0	0	-
9.	0	1	1	16	103	0	0	.37	0	0	0	4	20	0	0	-
10.	0	1	0	17	103	0	0	.33	0	0	0	4	20	0	0	-
11.	0	1	0	17	103	0	0	.33	0	0	0	4	20	0	0	-
12.	0	1	0	17	103	0	0	.33	0	1	1	2	20	0	0	.48
13.	0	5	0	14	102	0	0	.42	0	0	0	4	20	0	0	-
14.	1	6	1	12	101	0	0	.59	0	0	0	4	20	0	0	-
15.	1	1	1	18	100	0	0	.45	0	0	0	4	20	0	0	-
16.	1	0	0	21	99	0	0	.33	0	0	0	5	19	0	0	-
17.	1	1	1	30	88	0	0	.38	0	1	0	7	16	0	0	.47
18.	1	1	0	31	88	0	0	.41	0	0	0	9	15	0	0	-
19.	1	6	1	26	87	0	0	.60	0	0	0	9	15	0	0	-
20.	1	4	4	26	86	0	0	.64	0	0	0	10	14	0	0	-
21.	1	9	1	25	85	0	0	.70	0	0	0	10	14	0	0	-

22.	2	7	3	30	79	0	0	.71	0	1	3	6	14	0	0	.53
23.	4	8	3	52	54	0	0	.75	0	0	2	9	13	0	0	-.04
24.	4	9	2	52	54	0	0	.77	0	0	1	11	12	0	0	.48
25.	7	14	0	46	54	0	0	.83	0	3	0	9	12	0	0	.34
26.	8	18	13	29	53	0	0	.80	0	7	1	4	12	0	0	.67
27.	11	16	8	34	52	0	0	.78	0	6	2	4	12	0	0	.74
28.	13	15	1	41	51	0	0	.85	0	1	2	10	11	0	0	.58
29.	17	9	1	32	50	0	12	.79	0	5	1	6	10	0	2	.73
30.	18	12	4	41	46	0	0	.85	1	5	0	8	10	0	0	.69
31.	19	15	4	77	6	0	0	.82	1	5	2	13	3	0	0	.69
32.	22	3	8	83	5	0	0	.84	1	3	3	17	0	0	0	.63
33.	22	10	3	81	5	0	0	.84	2	3	3	16	0	0	0	.56
34.	23	7	6	82	3	0	0	.85	2	1	2	19	0	0	0	.63
35.	24	16	10	62	1	0	8	.74	2	8	0	12	0	0	2	.59
36.	24	29	9	59	0	0	0	.67	2	8	4	10	0	0	0	.48
37.	28	20	9	64	0	0	0	.73	2	10	3	9	0	0	0	.70
38.	29	38	10	44	0	0	0	.58	3	11	7	3	0	0	0	.68
39.	35	48	22	16	0	0	0	.42	6	12	3	3	0	0	0	.49
40.	39	56	1	17	0	0	8	.35	7	13	1	1	0	0	1	.09

表 3-10-2 下位領域「粗大運動」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
2.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
3.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
4.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
5.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
6.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
7.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
8.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
9.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
10.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
11.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
12.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
13.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
14.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
15.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	4	110	0	0	-
16.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	5	109	0	0	-
17.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	1	0	6	107	0	0	.39
18.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	9	105	0	0	-
19.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	2	8	104	0	0	.39
20.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	1	2	7	104	0	0	.49
21.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	11	103	0	0	.00
22.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	1	1	10	101	0	0	.60
23.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	2	3	9	99	0	0	.49
24.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	1	0	14	98	0	0	.10
25.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	3	0	12	98	0	0	.31
26.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	4	4	7	97	0	0	.71

27.	0	0	0	6	93	0	0	-	0	5	1	14	93	0	0	.63
28.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	0	0	24	89	0	0	.15
29.	0	0	0	4	92	0	3	.19	0	3	1	16	89	0	3	.70
30.	0	0	0	11	88	0	0	-	0	2	0	28	83	0	0	.57
31.	0	0	0	53	46	0	0	-	0	5	1	78	30	0	0	.69
32.	0	0	0	54	45	0	0	-	0	2	3	80	29	0	0	.21
33.	0	0	0	54	45	0	0	-	0	2	1	85	26	0	0	.52
34.	0	0	0	55	44	0	0	-	0	10	5	74	25	0	0	.49
35.	0	0	1	63	33	0	1	.40	1	7	3	84	18	0	1	.67
36.	0	0	2	71	25	0	0	.36	1	12	6	79	14	0	1	.64
37.	0	0	0	99	0	0	0	-	2	8	6	97	1	0	0	.71
38.	0	4	5	90	0	0	0	.42	4	24	8	77	1	0	0	.46
39.	0	9	11	79	0	0	0	.33	4	38	15	57	0	0	0	.54
40.	0	15	4	80	0	0	0	.38	6	31	2	72	0	0	3	.50

表 3-10-3 下位領域「粗大運動」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13 歳以上)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上 限 以 降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
2.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
3.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
4.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
5.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
6.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
7.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
8.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
9.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
10.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
11.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
12.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
13.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
14.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
15.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
16.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
17.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	107	0	0	-
18.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	107	0	0	-
19.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	107	0	0	-
20.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	107	0	0	-
21.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	3	106	0	0	-
22.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	5	104	0	0	-
23.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	1	0	4	104	0	0	.44
24.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	0	0	5	104	0	0	-
25.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	2	0	3	104	0	0	.62
26.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	3	0	5	101	0	0	.32
27.	0	0	0	6	86	0	0	-	0	0	0	11	98	0	0	-
28.	0	0	0	6	86	0	0	-	0	0	0	13	96	0	0	-
29.	0	0	0	6	86	0	0	-	0	2	0	9	96	0	2	.63
30.	0	0	0	6	86	0	0	-	0	3	1	17	88	0	0	.64

31.	0	0	0	45	47	0	0	-	0	2	0	77	30	0	0	.45
32.	0	0	0	44	48	0	0	-	0	2	3	78	26	0	0	.49
33.	0	0	0	46	46	0	0	-	0	0	1	84	24	0	0	-.01
34.	0	0	0	46	46	0	0	-	0	8	4	77	20	0	0	.57
35.	0	0	0	46	45	0	0	-	0	4	0	82	18	0	4	.44
36.	0	0	0	49	43	0	0	-	1	2	3	85	16	0	0	.41
37.	0	0	0	92	0	0	0	-	1	5	2	99	0	0	0	.18
38.	0	0	0	92	0	0	0	-	1	23	9	74	0	0	0	.36
39.	0	0	1	91	0	0	0	-.01	1	25	9	72	0	0	0	.45
40.	0	1	0	91	0	0	0	-.02	1	12	2	87	0	0	6	.50

下位領域「微細運動」

表 2-11 下位領域「微細運動」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
2.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
3.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
4.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
5.	1.98	2.00	2.00	1.88	2.00	2.00
6.	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
7.	1.98	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
8.	1.93	2.00	2.00	1.83	1.98	2.00
9.	1.85	2.00	2.00	1.88	1.99	2.00
10.	1.79	2.00	2.00	1.71	1.95	2.00
11.	1.66	2.00	2.00	1.50	1.97	2.00
12.	1.60	2.00	2.00	1.83	1.94	2.00
13.	1.73	2.00	2.00	1.71	1.95	2.00
14.	1.74	2.00	2.00	1.67	1.90	2.00
15.	1.55	2.00	2.00	1.42	1.89	1.99
16.	1.57	2.00	2.00	1.54	1.89	1.99
17.	1.56	2.00	2.00	1.13	1.78	1.94
18.	1.59	2.00	2.00	1.54	1.89	1.99
19.	1.40	2.00	2.00	1.21	1.90	1.98
20.	1.41	2.00	2.00	1.25	1.82	1.97
21.	1.23	1.98	2.00	0.96	1.72	1.94
22.	0.95	1.98	2.00	0.83	1.77	1.98
23.	1.37	2.00	2.00	1.25	1.82	1.96
24.	1.09	1.97	2.00	1.00	1.80	1.98
25.	1.08	1.99	2.00	0.71	1.76	1.94
26.	1.02	1.98	2.00	0.88	1.71	1.94
27.	0.79	1.98	2.00	0.63	1.61	1.90
28.	0.98	1.98	2.00	0.83	1.68	1.90
29.	0.97	1.97	2.00	0.63	1.68	1.90

30.	0.49	1.78	2.00	0.46	1.37	1.89
31.	0.31	1.71	1.99	0.33	1.31	1.69
32.	0.63	1.88	2.00	0.67	1.53	1.90
33.	0.52	1.76	2.00	0.33	1.21	1.61
34.	0.17	1.21	1.96	0.29	1.18	1.69
35.	0.07	1.31	1.96	0.00	0.72	1.53
36.	0.07	0.73	1.96	0.04	0.67	1.50

表 3-11-1 下位領域「微細運動」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（0歳～5歳）

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	7	114	0	0	-	0	0	0	2	22	0	0	-
2.	0	0	0	7	114	0	0	-	0	0	0	2	22	0	0	-
3.	0	0	0	7	114	0	0	-	0	0	0	2	22	0	0	-
4.	0	0	0	9	112	0	0	-	0	0	0	2	21	0	0	-
5.	0	1	0	15	105	0	0	.20	0	1	1	1	21	0	0	.49
6.	0	0	0	34	87	0	0	-	0	0	0	6	18	0	0	-
7.	0	1	0	33	87	0	0	.20	0	0	0	7	17	0	0	-
8.	0	4	0	32	85	0	0	.34	0	2	0	6	16	0	0	.49
9.	0	8	2	72	39	0	0	.55	0	1	1	11	11	0	0	.49
10.	0	11	3	68	39	0	0	.55	0	3	1	9	11	0	0	.46
11.	1	18	3	60	39	0	0	.70	0	5	2	6	11	0	0	.64
12.	1	22	2	59	37	0	0	.74	1	1	0	10	12	0	0	.48
13.	5	10	3	67	36	0	0	.68	1	2	1	10	10	0	0	.62
14.	7	7	4	67	36	0	0	.63	1	2	2	9	10	0	0	.59
15.	8	18	3	56	36	0	0	.74	1	5	2	6	10	0	0	.67
16.	9	15	4	58	35	0	0	.77	1	3	3	8	9	0	0	.67
17.	10	16	1	86	8	0	0	.79	2	8	1	10	3	0	0	.76
18.	11	13	2	88	7	0	0	.79	2	3	1	15	3	0	0	.67
19.	17	18	3	76	7	0	0	.80	2	7	1	11	3	0	0	.83
20.	17	14	9	74	7	0	0	.83	2	7	0	12	3	0	0	.77
21.	22	20	9	63	7	0	0	.84	5	6	3	7	3	0	0	.81
22.	24	34	11	45	7	0	0	.78	6	8	0	8	2	0	0	.84
23.	28	8	4	74	7	0	0	.83	7	1	2	12	2	0	0	.85
24.	29	14	24	48	6	0	0	.78	7	4	2	9	2	0	0	.85
25.	32	18	11	54	6	0	0	.84	7	5	7	4	1	0	0	.81
26.	33	17	19	50	2	0	0	.81	8	4	3	9	0	0	0	.86
27.	33	33	15	39	1	0	0	.72	9	6	3	6	0	0	0	.71
28.	36	19	12	52	1	0	0	.83	11	2	2	9	0	0	0	.88
29.	41	15	13	51	1	0	0	.81	11	4	3	6	0	0	0	.75
30.	41	46	9	25	0	0	0	.54	11	6	3	4	0	0	0	.64
31.	46	50	11	13	0	0	0	.47	11	9	0	4	0	0	0	.52
32.	53	26	8	34	0	0	0	.62	13	2	2	7	0	0	0	.80
33.	53	31	11	26	0	0	0	.59	14	6	0	4	0	0	0	.52
34.	58	48	1	5	0	0	9	.33	15	4	2	2	0	0	1	.56
35.	65	50	3	3	0	0	0	.24	15	9	0	0	0	0	0	.00
36.	67	46	0	0	0	0	8	.18	15	8	0	0	0	0	1	.20

表 3-11-2 下位領域「微細運動」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (6歳~12歳)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
2.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	3	111	0	0	-
3.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	4	110	0	0	-
4.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	5	109	0	0	-
5.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	6	108	0	0	-
6.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	8	106	0	0	-
7.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	0	0	10	104	0	0	-
8.	0	0	0	3	96	0	0	-	0	1	0	9	104	0	0	.27
9.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	0	0	13	100	0	0	.32
10.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	2	1	10	100	0	0	.58
11.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	1	1	12	100	0	0	.36
12.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	3	1	11	99	0	0	.57
13.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	2	2	12	98	0	0	.51
14.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	5	1	10	98	0	0	.65
15.	0	0	0	7	92	0	0	-	0	6	0	11	97	0	0	.65
16.	0	0	0	7	92	0	0	-	1	3	4	10	96	0	0	.72
17.	0	0	0	8	91	0	0	-	1	11	1	11	90	0	0	.82
18.	0	0	0	9	90	0	0	-	1	5	0	18	90	0	0	.67
19.	0	0	0	8	91	0	0	-	1	3	3	17	90	0	0	.70
20.	0	0	0	8	91	0	0	-	1	8	3	12	90	0	0	.78
21.	0	1	0	7	91	0	0	.31	2	11	5	6	89	0	0	.81
22.	0	1	0	8	90	0	0	.31	2	9	4	13	86	0	0	.85
23.	0	0	0	9	90	0	0	-	3	7	1	25	78	0	0	.78
24.	0	0	3	7	89	0	0	.36	6	2	7	24	75	0	0	.84
25.	0	0	1	13	85	0	0	.20	7	4	5	26	72	0	0	.84
26.	0	0	2	60	37	0	0	.34	7	6	7	75	19	0	0	.87
27.	0	0	2	64	33	0	0	.09	8	8	12	68	17	0	0	.82
28.	0	1	0	64	34	0	0	.31	8	8	5	76	17	0	0	.83
29.	0	1	1	66	31	0	0	.37	8	8	5	82	11	0	0	.83
30.	0	10	1	65	22	0	0	.46	9	23	7	68	6	0	0	.68
31.	0	12	5	62	20	0	0	.55	13	19	15	64	3	0	0	.71
32.	0	5	1	77	15	0	1	.51	15	8	1	81	2	0	7	.81
33.	0	7	10	82	0	0	0	.54	15	21	18	60	0	0	0	.66
34.	2	30	4	53	0	0	9	.54	18	22	6	61	0	0	7	.63
35.	2	28	8	61	0	0	0	.54	19	50	8	37	0	0	0	.44
36.	4	53	4	30	0	0	8	.45	21	48	5	31	0	0	9	.40

表 3-11-3 下位領域「微細運動」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型								PDD							
	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関	上限 以降	0	1	2	下限 以前	DK	N/O	I-T 相関
1.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
2.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
3.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-

4.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
5.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
6.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
7.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
8.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
9.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
10.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	0	109	0	0	-
11.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
12.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	1	108	0	0	-
13.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	3	106	0	0	-
14.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	3	106	0	0	-
15.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	106	0	0	.34
16.	0	0	0	0	92	0	0	-	0	0	0	2	106	0	0	.34
17.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	2	1	1	104	0	0	.54
18.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	0	0	4	104	0	0	.34
19.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	0	1	3	104	0	0	.27
20.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	1	0	3	104	0	0	.63
21.	0	0	0	1	91	0	0	-	0	2	1	3	102	0	0	.66
22.	0	0	0	4	88	0	0	-	0	0	1	11	96	0	0	.63
23.	0	0	0	5	87	0	0	-	0	1	1	11	95	0	0	.67
24.	0	0	0	5	87	0	0	-	0	0	1	15	92	0	0	.39
25.	0	0	0	11	81	0	0	-	0	1	3	15	89	0	0	.76
26.	0	0	0	52	40	0	0	-	0	2	1	74	31	0	0	.57
27.	0	0	0	52	40	0	0	-	0	4	2	74	28	0	0	.64
28.	0	0	0	52	40	0	0	-	0	4	2	75	27	0	0	.68
29.	0	0	0	52	40	0	0	-	0	3	4	75	26	0	0	.76
30.	0	0	0	56	36	0	0	-	1	4	1	81	21	0	0	.58
31.	0	0	1	55	36	0	0	.87	1	14	3	75	15	0	0	.64
32.	0	0	0	56	36	0	0	-	3	1	1	88	14	0	1	.59
33.	0	0	0	92	0	0	0	-	3	12	11	81	0	0	0	.55
34.	0	1	0	89	0	0	2	.88	3	11	1	89	0	0	3	.70
35.	0	2	0	90	0	0	0	.61	3	17	10	78	0	0	0	.49
36.	0	1	0	89	0	0	2	.88	3	20	3	77	0	0	5	.54

次に、不適応行動尺度の各項目における群別、年齢帯別の平均得点を、下位尺度ごとに表 2-12～表 2-15 に示す。また、各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関を表 3-12-1～表 3-15-3 に示す。

下位尺度「不適応内向」

表 2-12 下位尺度「不適応内向」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	0.23	0.11	0.04	0.58	0.73	0.45
2.	0.08	0.06	0.11	0.67	0.68	0.81
3.	0.12	0.05	0.04	1.21	0.61	0.44
4.	0.05	0.04	0.08	0.46	0.48	0.36
5.	0.08	0.05	0.05	0.17	0.36	0.26
6.	0.11	0.15	0.15	0.67	0.84	0.64
7.	0.03	0.05	0.05	0.67	0.58	0.37
8.	0.08	0.03	0.07	0.63	0.80	0.90
9.	0.04	0.02	0.07	0.45	0.26	0.20
10.	0.05	0.02	0.09	0.59	0.36	0.40
11.	0.04	0.02	0.09	0.45	0.33	0.43

表 3-12-1 下位尺度「不適応内向」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（0歳～5歳）

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T相関	0	1	2	I-T相関
1.	84	11	6	.32	15	4	5	.37
2.	95	2	3	.56	12	8	4	.62
3.	92	4	4	.49	7	5	12	.63
4.	97	1	2	.66	16	5	3	-.04
5.	93	4	2	.75	21	2	1	.36
6.	89	5	3	.61	13	6	5	.60
7.	95	1	1	.88	12	8	4	.58
8.	93	0	4	.53	13	7	4	.32
9.	95	0	2	.88	16	2	4	.76
10.	94	1	2	.86	12	7	3	.60
11.	95	0	2	.88	14	6	2	.37

表 3-12-2 下位尺度「不適応内向」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T相関	0	1	2	I-T相関

1.	86	9	1	.26	62	19	32	.52
2.	90	6	0	.01	58	34	22	.51
3.	92	3	1	.16	71	16	27	.47
4.	93	2	1	.15	79	15	20	.54
5.	90	5	0	.31	86	13	14	.51
6.	81	12	1	.45	50	30	32	.51
7.	91	3	1	.45	67	25	20	.41
8.	93	1	1	-.05	46	41	24	.22
9.	94	0	1	-	93	7	11	.35
10.	94	0	1	-	84	14	13	.57
11.	94	0	1	-	85	15	11	.58

表 3-12-3 下位尺度「不適応内向」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	88	2	1	.87	74	18	15	.45
2.	82	8	1	.69	51	27	30	.38
3.	88	2	1	.82	76	17	15	.32
4.	86	3	2	.73	81	14	12	.20
5.	87	3	1	.71	87	10	9	.35
6.	80	8	3	.68	56	34	17	.44
7.	88	1	2	.74	80	14	13	.47
8.	88	2	2	.84	41	37	30	.35
9.	88	2	2	.74	92	10	6	.45
10.	86	4	2	.81	77	19	12	.46
11.	86	4	2	.81	77	16	15	.48

下位尺度「不適応外向」

表 2-13 下位尺度「不適応外向」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上	0歳- 5歳	6歳- 12歳	13歳 以上
1.	0.35	0.23	0.13	1.38	0.94	0.53
2.	0.34	0.24	0.12	1.46	0.84	0.66
3.	0.29	0.16	0.15	0.88	0.43	0.19
4.	0.10	0.06	0.12	0.29	0.18	0.11
5.	0.09	0.05	0.07	1.21	0.55	0.60
6.	0.09	0.08	0.09	0.21	0.22	0.21
7.	0.28	0.14	0.04	1.00	0.38	0.34
8.	0.38	0.23	0.32	1.17	0.83	0.68
9.	0.15	0.04	0.05	0.38	0.47	0.25
10.	0.22	0.16	0.14	0.75	0.54	0.44

表 3-13-1 下位尺度「不適応外向」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	72	21	7	.42	4	7	13	.63
2.	74	20	7	.53	3	7	14	.52
3.	78	15	7	.58	10	7	7	.53
4.	93	2	4	.62	18	5	1	.12
5.	90	7	1	.52	5	9	10	.52
6.	90	5	2	.59	19	5	0	.17
7.	75	15	6	.49	8	8	8	.67
8.	67	23	7	.46	8	4	12	.66
9.	85	8	3	.45	17	5	2	.49
10.	78	17	2	.56	12	6	6	.59

表 3-13-2 下位尺度「不適応外向」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (6歳～12歳)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	78	14	4	.60	42	37	35	.48
2.	77	15	4	.72	49	34	31	.55
3.	83	11	2	.50	80	19	15	.49
4.	90	6	0	.20	99	10	5	.29
5.	91	3	1	.34	68	28	17	.43
6.	89	6	1	.36	92	17	4	.45
7.	85	7	3	.35	77	26	8	.44
8.	79	12	5	.57	47	36	28	.45
9.	93	2	1	.22	75	20	16	.60
10.	82	13	1	.48	64	34	13	.69

表 3-13-3 下位尺度「不適応外向」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	81	8	2	.78	69	21	18	.44
2.	82	7	2	.66	56	33	19	.45
3.	80	8	3	.61	93	10	5	.47
4.	83	7	2	.75	100	4	4	.37
5.	87	4	1	.78	62	26	19	.41
6.	85	6	1	.71	89	14	4	.39
7.	89	2	1	.83	77	25	6	.42
8.	70	15	7	.61	58	25	24	.42
9.	89	1	2	.59	87	13	7	.40
10.	81	9	2	.70	69	29	9	.56

下位尺度「不適應その他」

表 2-14 下位尺度「不適應その他」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	0.29	0.04	0.02	0.88	0.25	0.06
2.	0.57	0.12	0.02	1.04	0.28	0.03
3.	0.07	0.02	0.02	0.33	0.25	0.10
4.	0.34	0.25	0.17	0.54	0.76	0.43
5.	0.06	0.04	0.07	0.04	0.22	0.18
6.	0.16	0.24	0.10	0.46	0.34	0.16
7.	0.16	0.18	0.06	1.04	0.94	0.70
8.	0.12	0.14	0.07	1.04	0.80	0.52
9.	0.01	0.01	0.07	0.21	0.29	0.14
10.	0.18	0.09	0.10	0.46	0.46	0.34
11.	0.00	0.00	0.02	0.00	0.04	0.04
12.	0.02	0.03	0.09	0.09	0.13	0.12
13.	0.02	0.00	0.09	0.95	0.43	0.40
14.	0.01	0.01	0.03	0.14	0.14	0.03
15.	0.00	0.00	0.02	0.10	0.02	0.00

表 3-14-1 下位尺度「不適應その他」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T相関	0	1	2	I-T相関
1.	79	11	9	.18	11	5	8	.58
2.	65	12	22	-.08	10	3	11	.26
3.	92	5	1	.15	18	4	2	.13
4.	76	11	11	.10	15	5	4	-.09
5.	91	4	1	.23	23	1	0	.00
6.	83	12	2	.19	16	5	3	.29
7.	84	10	3	.13	9	5	10	.48
8.	89	4	4	.16	8	7	9	.20
9.	95	1	0	-.11	19	5	0	.22
10.	82	11	3	.11	14	9	1	-.24
11.	97	0	0	-	24	0	0	-
12.	96	0	1	.13	21	2	0	-.18
13.	94	2	0	.01	8	6	7	.42
14.	95	1	0	.18	19	1	1	.21
15.	96	0	0	-	19	0	1	.24

表 3-14-2 下位尺度「不適応その他」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (6歳~12歳)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	92	2	1	.32	96	8	10	.32
2.	86	7	2	.31	92	12	10	.28
3.	94	0	1	.26	93	13	8	.32
4.	78	10	7	.18	61	19	34	.26
5.	90	2	1	.12	93	13	6	.38
6.	77	11	6	.17	85	18	10	.24
7.	80	13	2	.33	42	35	35	.49
8.	84	9	2	.55	56	24	33	.55
9.	94	1	0	.05	92	8	12	.45
10.	88	7	1	.11	76	22	15	.46
11.	96	0	0	-	110	2	1	.44
12.	94	1	1	-.01	103	5	5	.25
13.	96	0	0	-	77	20	14	.29
14.	94	1	0	-.07	99	8	4	.31
15.	95	0	0	-	109	0	1	.45

表 3-14-3 下位尺度「不適応その他」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (13歳以上)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	89	0	1	.84	105	0	3	.15
2.	89	0	1	.84	106	1	1	.00
3.	89	0	1	.84	101	3	4	.23
4.	81	3	6	.38	82	7	20	.05
5.	86	2	2	.69	95	7	6	.10
6.	84	3	3	.41	94	11	3	.17
7.	87	1	2	.84	58	24	26	.44
8.	88	0	3	.77	72	16	20	.32
9.	87	2	2	.75	98	5	5	.26
10.	84	5	2	.69	78	20	8	.16
11.	90	0	1	.84	104	2	1	.03
12.	85	4	2	.80	98	5	4	.08
13.	85	4	2	.80	73	24	9	.23
14.	89	1	1	.82	104	1	1	.14
15.	90	0	1	.84	106	0	0	-

下位尺度「重要事項」

表 2-15 下位尺度「重要事項」の各項目の平均得点

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
1.	0.03	0.01	0.00	0.04	0.12	0.08
2.	0.11	0.05	0.04	1.04	0.74	0.74
3.	0.06	0.01	0.00	0.33	0.25	0.22
4.	0.02	0.02	0.00	0.50	0.47	0.46
5.	0.04	0.01	0.01	0.74	0.52	0.69
6.	0.03	0.00	0.01	0.30	0.43	0.37
7.	0.04	0.01	0.03	0.39	0.18	0.17
8.	0.03	0.00	0.00	0.91	0.51	0.50
9.	0.03	0.03	0.01	0.57	0.56	0.53
10.	0.03	0.01	0.01	0.17	0.29	0.40
11.	0.08	0.05	0.00	0.57	0.61	0.55
12.	0.11	0.13	0.04	0.48	0.78	0.87
13.	0.02	0.00	0.01	0.00	0.12	0.18
14.	0.02	0.00	0.00	0.17	0.24	0.30

表 3-15-1 下位尺度「重要事項」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関 (0歳～5歳)

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T相関	0	1	2	I-T相関
1.	97	1	1	.89	23	1	0	.25
2.	91	5	3	.66	8	7	9	.55
3.	94	2	2	.72	18	4	2	.20
4.	97	0	1	.93	15	6	3	.43
5.	92	2	1	.91	11	7	5	.47
6.	93	1	1	.82	17	5	1	.18
7.	93	0	2	.73	15	7	1	.27
8.	93	1	1	.91	10	5	8	.33
9.	93	1	1	.82	13	7	3	.52
10.	94	1	1	.82	19	4	0	.13
11.	90	4	2	.68	12	9	2	.51
12.	87	7	2	.56	15	5	3	.37
13.	95	0	1	.93	23	0	0	-
14.	95	0	1	.93	20	2	1	.33

表 3-15-2 下位尺度「重要事項」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（6歳～12歳）

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	94	1	0	.47	101	9	2	.07
2.	91	3	1	.24	60	22	31	.63
3.	94	1	0	-.04	95	9	10	.40
4.	93	2	0	.40	80	13	20	.60
5.	93	1	0	-.04	70	20	18	.47
6.	94	0	0	-	75	23	12	.57
7.	93	1	0	.08	93	12	4	.41
8.	94	0	0	.00	72	20	18	.46
9.	91	3	0	.15	60	38	12	.32
10.	94	1	0	-.04	85	18	7	.30
11.	91	3	1	.29	62	29	19	.38
12.	86	6	3	.50	51	32	27	.32
13.	95	0	0	-	99	5	4	.33
14.	95	0	0	-	90	10	8	.27

表 3-15-3 下位尺度「重要事項」の各項目の度数分布および修正済み項目 - 合計相関（13歳以上）

	定型				PDD			
	0	1	2	I-T 相関	0	1	2	I-T 相関
1.	91	0	0	-	99	7	1	.12
2.	87	4	0	.18	56	24	28	.46
3.	91	0	0	-	92	8	8	.18
4.	91	0	0	-	77	12	19	.41
5.	90	1	0	.41	58	26	24	.38
6.	90	1	0	-.03	79	18	11	.42
7.	89	1	1	.17	92	14	2	.25
8.	91	0	0	-	73	15	19	.32
9.	90	1	0	-.03	66	25	16	.48
10.	90	1	0	-.03	76	16	13	.22
11.	92	0	0	-	68	21	19	.40
12.	88	4	0	.18	48	25	34	.26
13.	91	1	0	.41	92	11	4	.32
14.	92	0	0	-	86	8	12	.19

4. 領域・下位領域ごとの分析

適応行動尺度および不適応行動尺度の領域・下位領域ごとの尺度得点の平均値と標準偏差を群別、年齢帯別に表4、表5に示す。各下位領域の尺度得点は、それぞれの下位領域を構成する項目の得点を合計したものである。また、領域「コミュニケーション」の尺度得点は下位領域「受容言語」、「表出言語」、「読み書き」の尺度得点の合計、領域「日常生活スキル」の尺度得点は下位領域「身辺自立」、「家事」、「地域生活」の尺度得点の合計、領域「社会性」の尺度得点は下位領域「対人関係」、「遊びと余暇」、「コーピング」の尺度得点の合計、領域「運動スキル」の尺度得点は下位領域「粗大運動」、「微細運動」の尺度得点の合計である。「適応行動」は適応行動尺度の全領域の尺度得点の合計、「不適応行動」は不適応行動尺度の「不適応内向」、「不適応外向」、「不適応その他」の尺度得点の合計である。なお、不適応行動尺度の「重要項目」は臨床的に重要な意味を持つ行動を項目単位で評価するための項目群であるため、「不適応行動」の得点の計算には含まれない。

表4 適応行動尺度の領域・下位領域ごとの平均得点および標準偏差 (SD)

	定型						PDD					
	0歳-5歳		6歳-12歳		13歳以上		0歳-5歳		6歳-12歳		13歳以上	
	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)
受容言語	34.1	(9.6)	44.8	(2.6)	45.7	(1.5)	27.3	(9.7)	35.5	(10.0)	40.5	(7.9)
表出言語	75.9	(24.1)	102.1	(6.4)	107.1	(2.6)	60.1	(26.5)	81.2	(26.4)	89.0	(23.1)
読み書き	12.0	(7.6)	31.9	(10.0)	47.8	(3.8)	12.1	(12.0)	27.8	(12.7)	37.5	(10.9)
コミュニケーション	123.6	(31.7)	178.9	(17.4)	199.6	(9.1)	106.7	(48.8)	143.7	(47.9)	166.2	(39.4)
身辺自立	51.3	(19.3)	75.8	(5.4)	82.9	(3.3)	45.0	(18.1)	68.7	(12.9)	76.8	(7.3)
家事	12.0	(8.1)	28.6	(10.0)	44.3	(5.1)	10.9	(9.3)	21.9	(11.4)	33.9	(9.3)
地域生活	18.2	(11.4)	54.7	(14.9)	80.2	(7.4)	16.4	(16.4)	45.1	(22.0)	61.1	(20.8)
日常生活スキル	81.5	(36.5)	158.8	(27.1)	206.5	(15.0)	83.8	(55.6)	134.7	(43.8)	170.7	(34.6)
対人関係	48.3	(11.8)	66.1	(6.6)	73.7	(3.3)	35.5	(13.0)	47.1	(14.8)	50.5	(15.0)
遊びと余暇	34.9	(11.7)	53.0	(5.1)	60.9	(2.4)	23.3	(13.7)	39.8	(15.2)	46.9	(15.1)
コーピング	19.7	(11.7)	44.0	(12.5)	58.6	(4.5)	11.5	(6.9)	28.7	(15.3)	42.2	(15.1)
社会性	102.8	(32.9)	163.1	(21.6)	192.3	(10.5)	80.4	(46.6)	115.3	(42.0)	138.5	(41.9)
粗大運動	66.4	(14.0)	79.1	(1.5)	80.0	(0.3)	66.8	(9.3)	76.1	(5.6)	77.7	(3.5)
微細運動	47.1	(16.1)	68.2	(3.8)	71.9	(0.8)	43.9	(16.5)	62.4	(12.2)	69.1	(5.3)
運動スキル	113.5	(29.3)	147.3	(4.5)	151.3	(3.9)	114.2	(26.1)	137.9	(17.4)	146.7	(7.3)
適応行動	421.4	(125.9)	647.7	(65.5)	749.7	(33.8)	385.1	(169.6)	533.7	(140.1)	622.1	(117.2)

表5 不適応行動尺度の領域・下位領域ごとの平均得点および標準偏差 (SD)

	定型						PDD					
	0歳-5歳		6歳-12歳		13歳以上		0歳-5歳		6歳-12歳		13歳以上	
	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)	平均	(SD)
不適応内向	0.8	(2.4)	0.5	(1.0)	0.8	(2.7)	6.5	(4.9)	6.1	(4.9)	5.1	(4.1)
不適応外向	2.3	(3.2)	1.3	(2.2)	1.2	(2.9)	8.7	(4.6)	5.4	(4.3)	3.8	(3.5)

不適応 その他	1.9	(1.8)	1.2	(1.7)	0.9	(3.5)	7.6	(3.6)	5.3	(4.4)	3.0	(2.6)
不適応行動	4.5	(4.5)	3.0	(3.9)	3.0	(8.8)	20.3	(11.2)	16.9	(11.8)	11.7	(8.3)
重要事項	0.7	(3.0)	0.3	(0.9)	0.2	(0.5)	6.3	(4.2)	5.9	(4.8)	6.0	(4.4)

適応行動尺度の下位領域ごとの尺度得点のヒストグラムを、群別、年齢帯別に図 1-1～図 1-11 に示す。

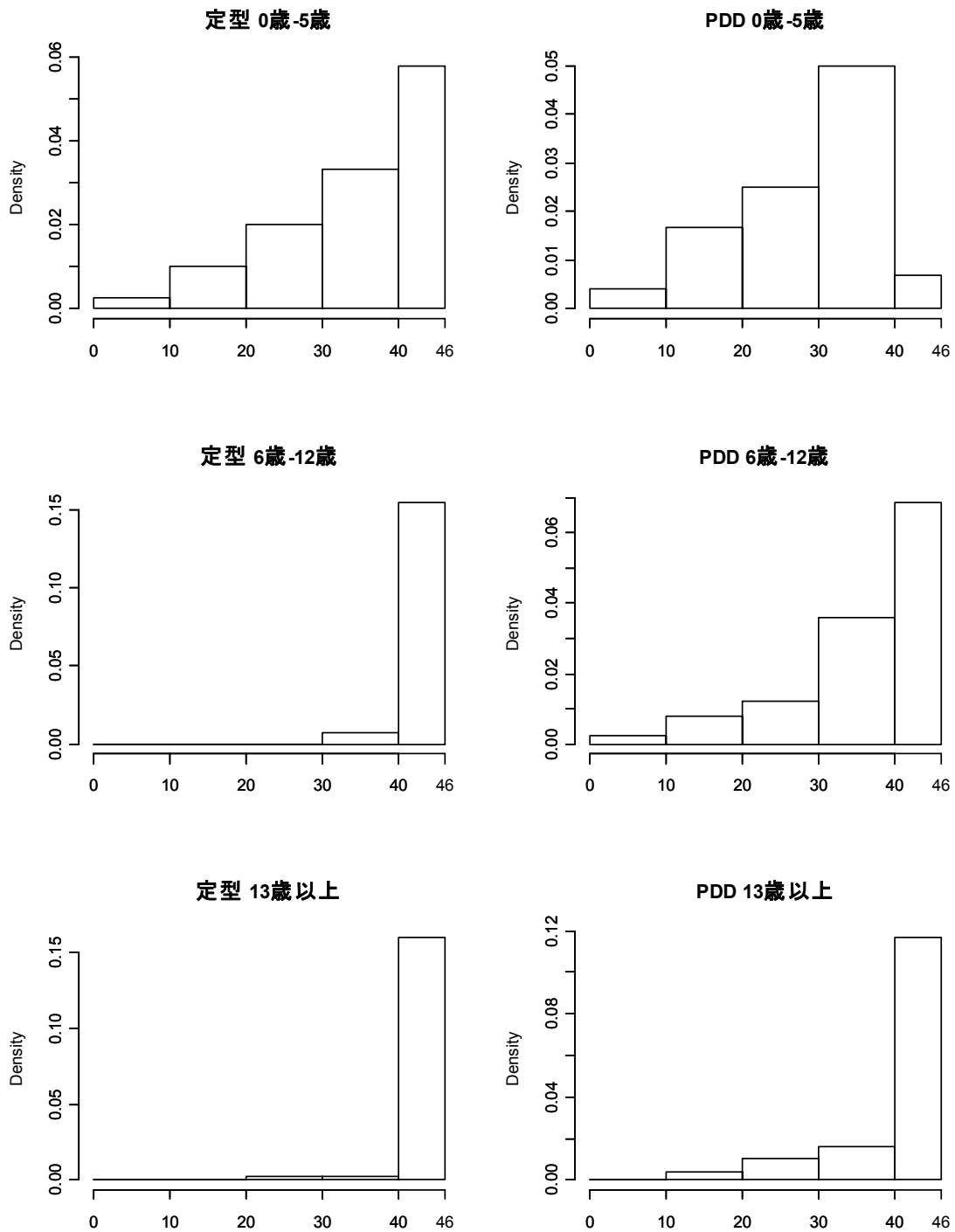


図 1-1 下位領域「受容言語」の尺度得点のヒストグラム

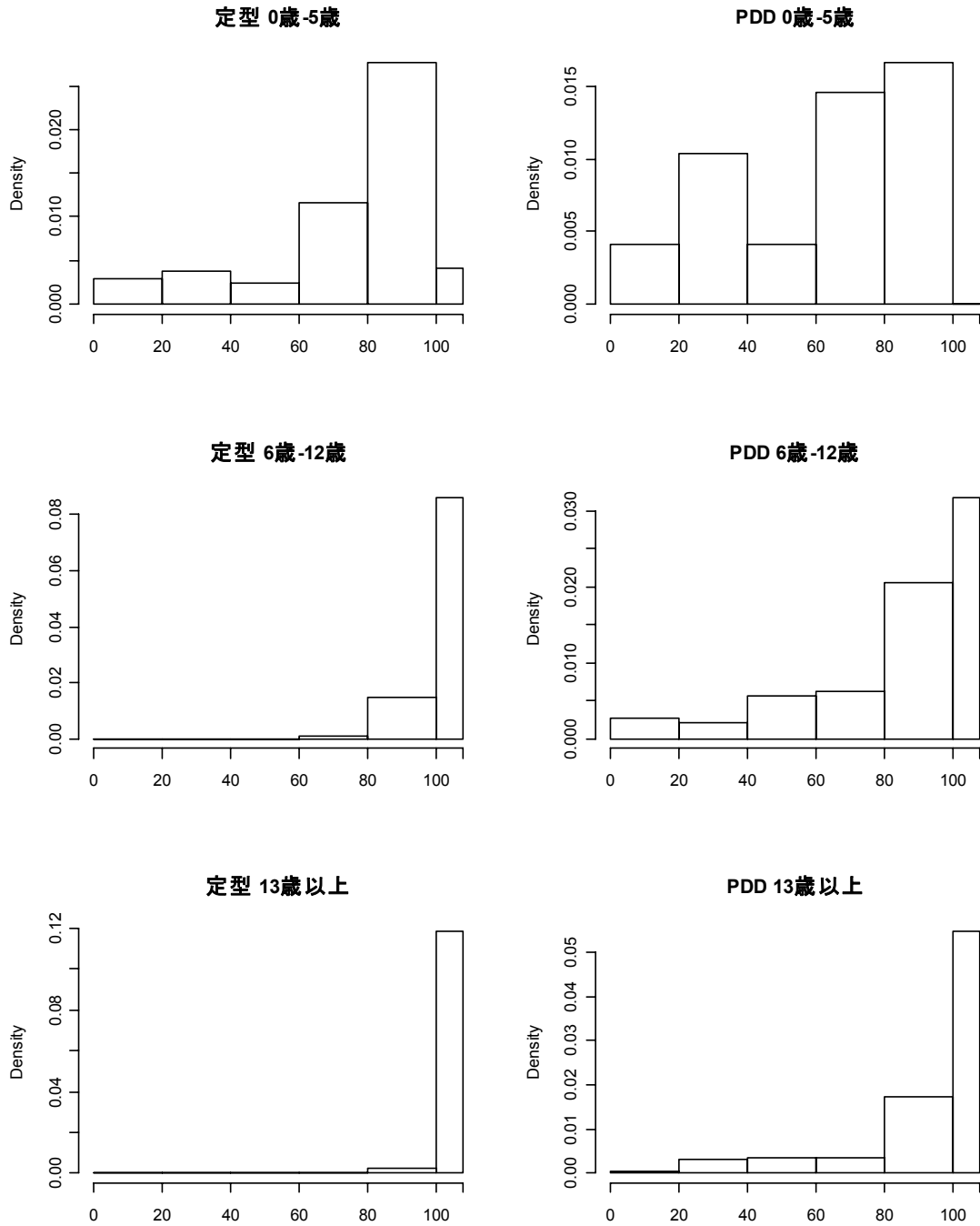


図 1-2 下位領域「表出言語」の尺度得点のヒストグラム

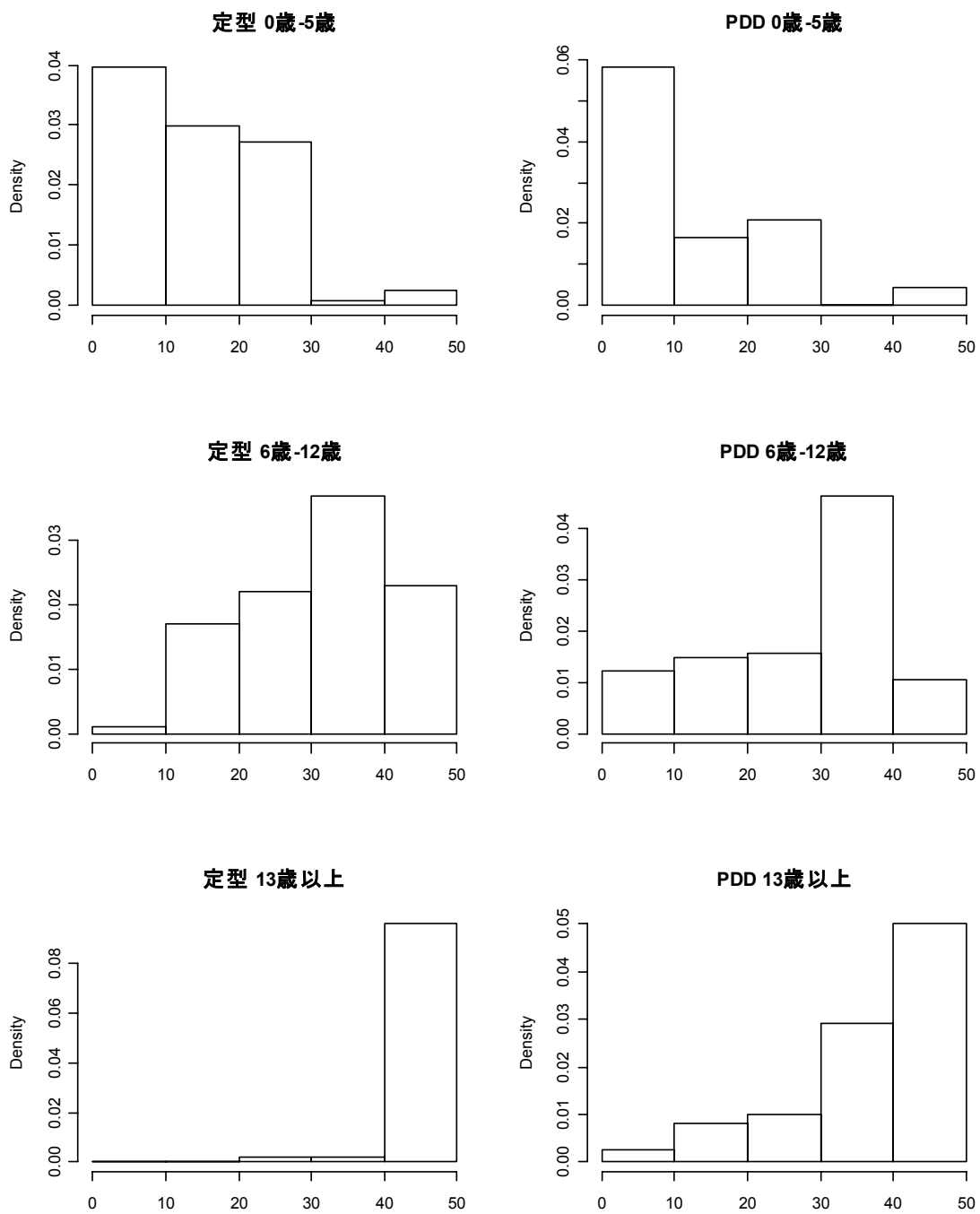


図 1-3 下位領域「読み書き」の尺度得点のヒストグラム

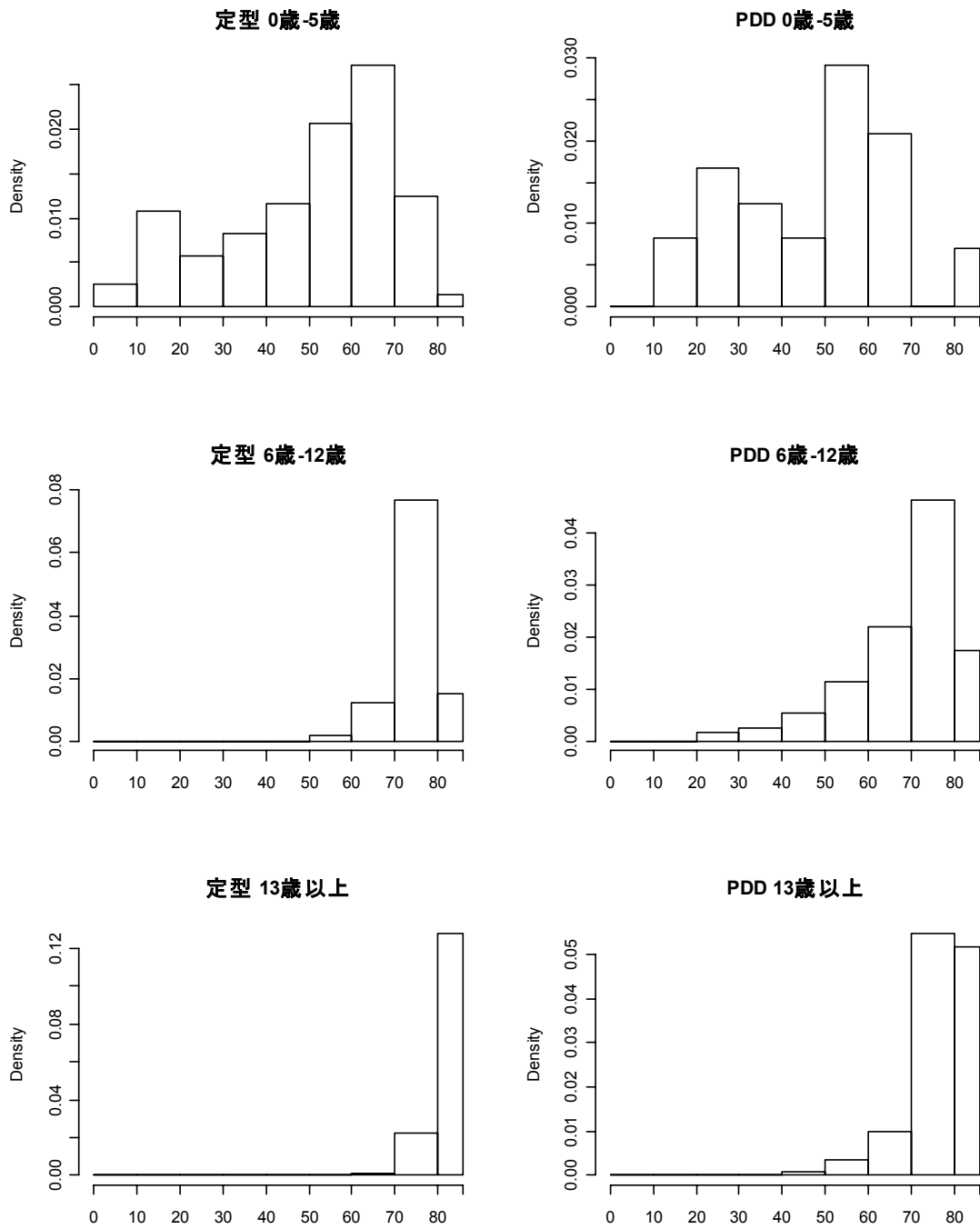


図 1-4 下位領域「身辺自立」の尺度得点のヒストグラム

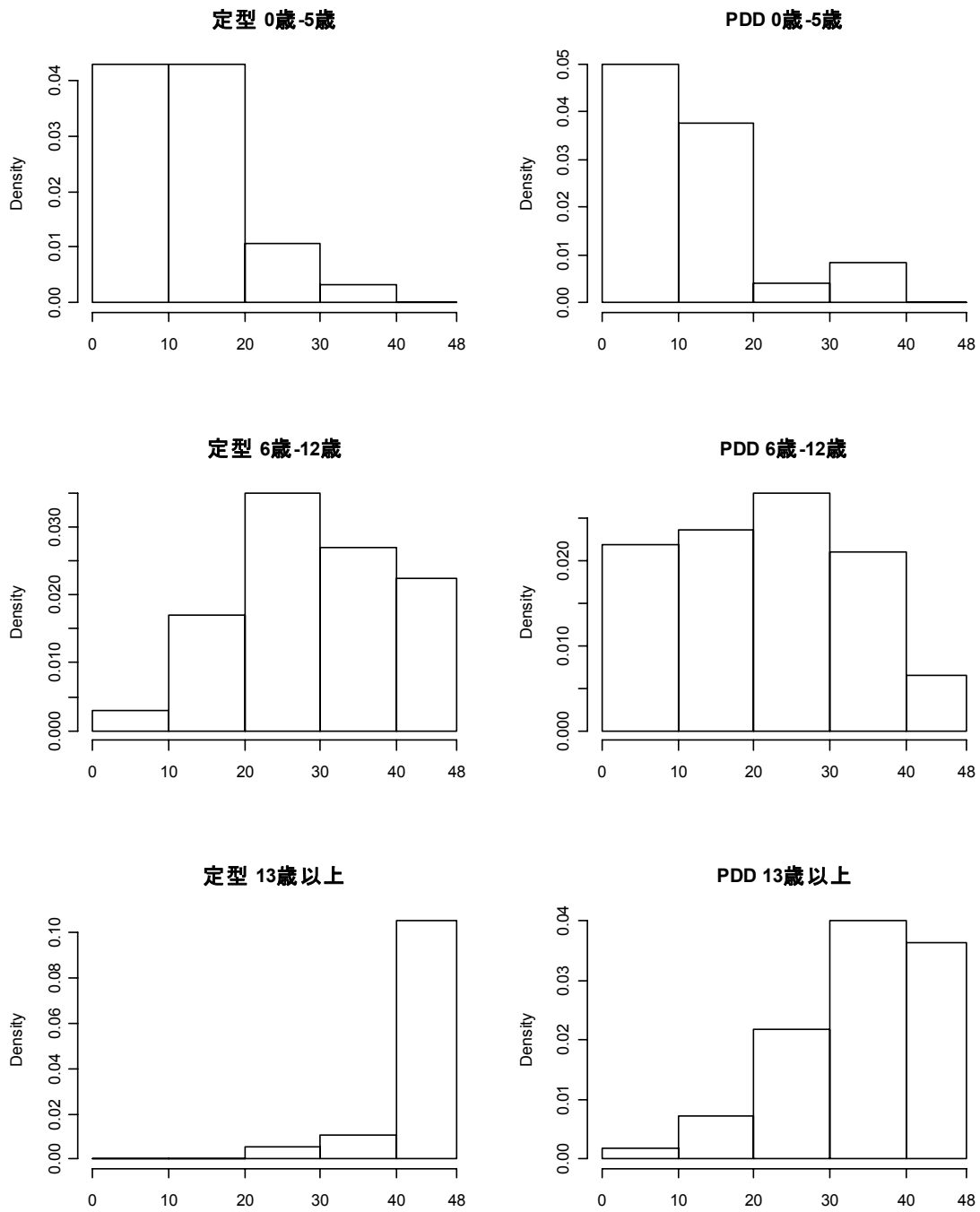


図 1-5 下位領域「家事」の尺度得点のヒストグラム

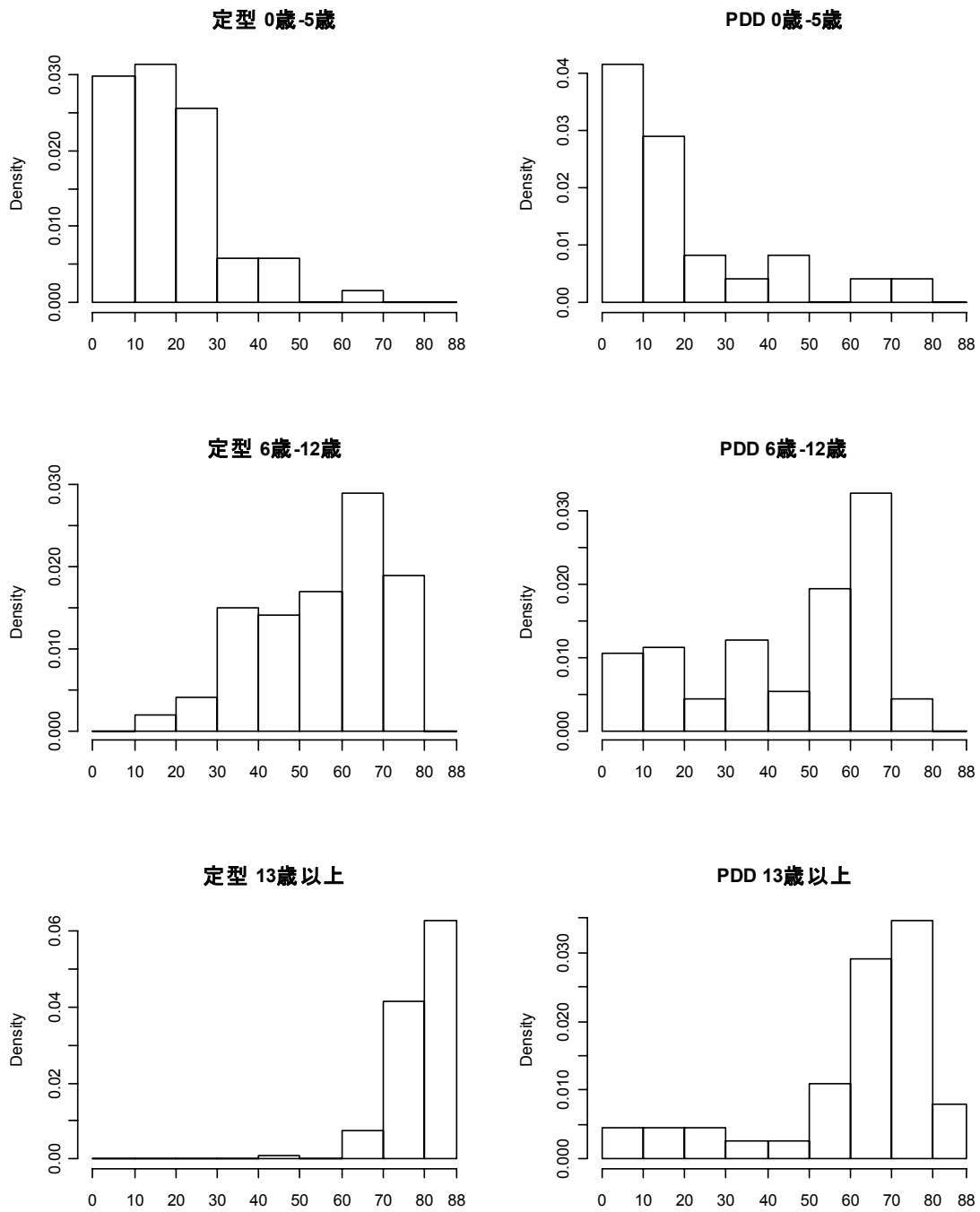


図 1-6 下位領域「地域生活」の尺度得点のヒストグラム

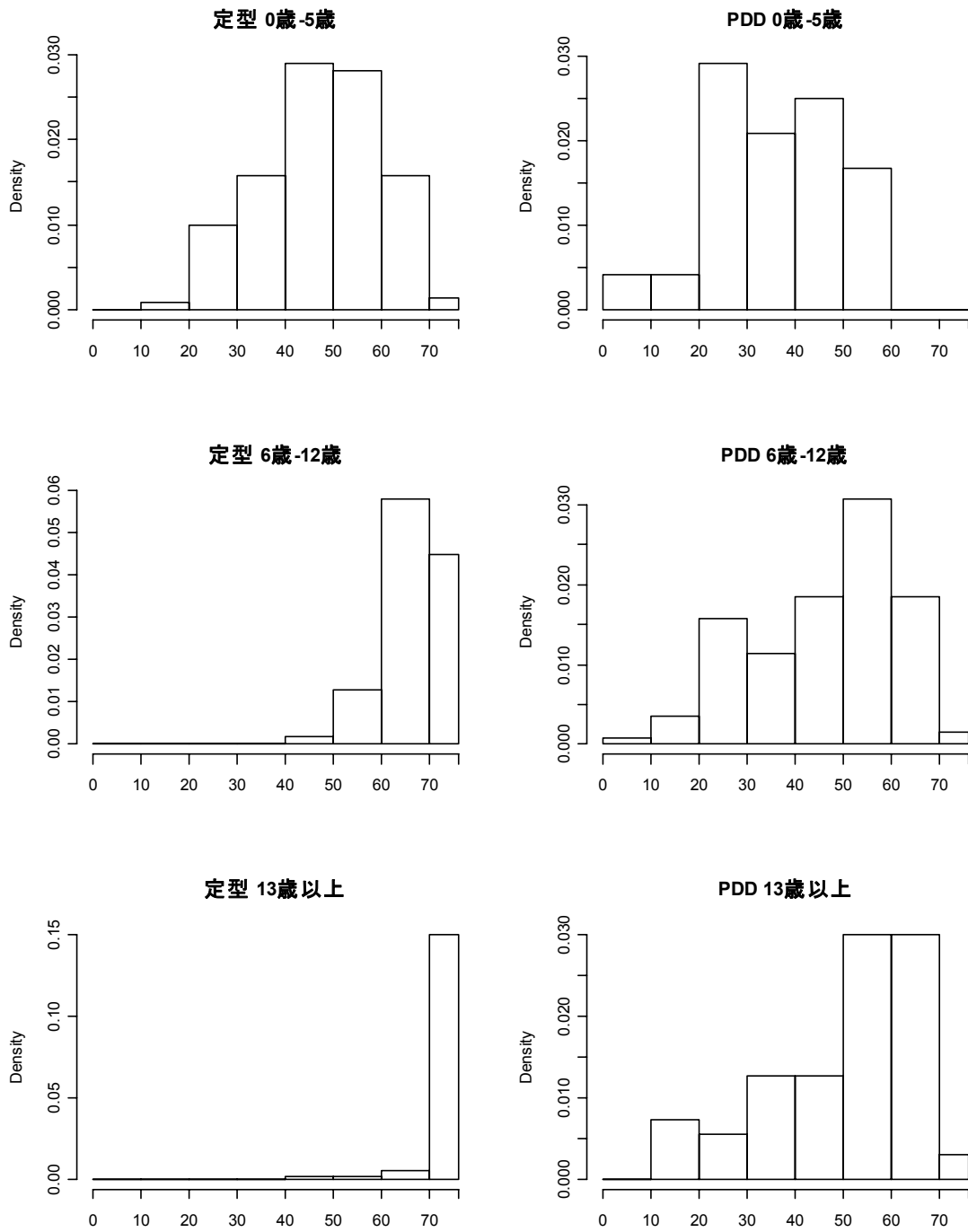


図 1-7 下位領域「対人関係」の尺度得点のヒストグラム

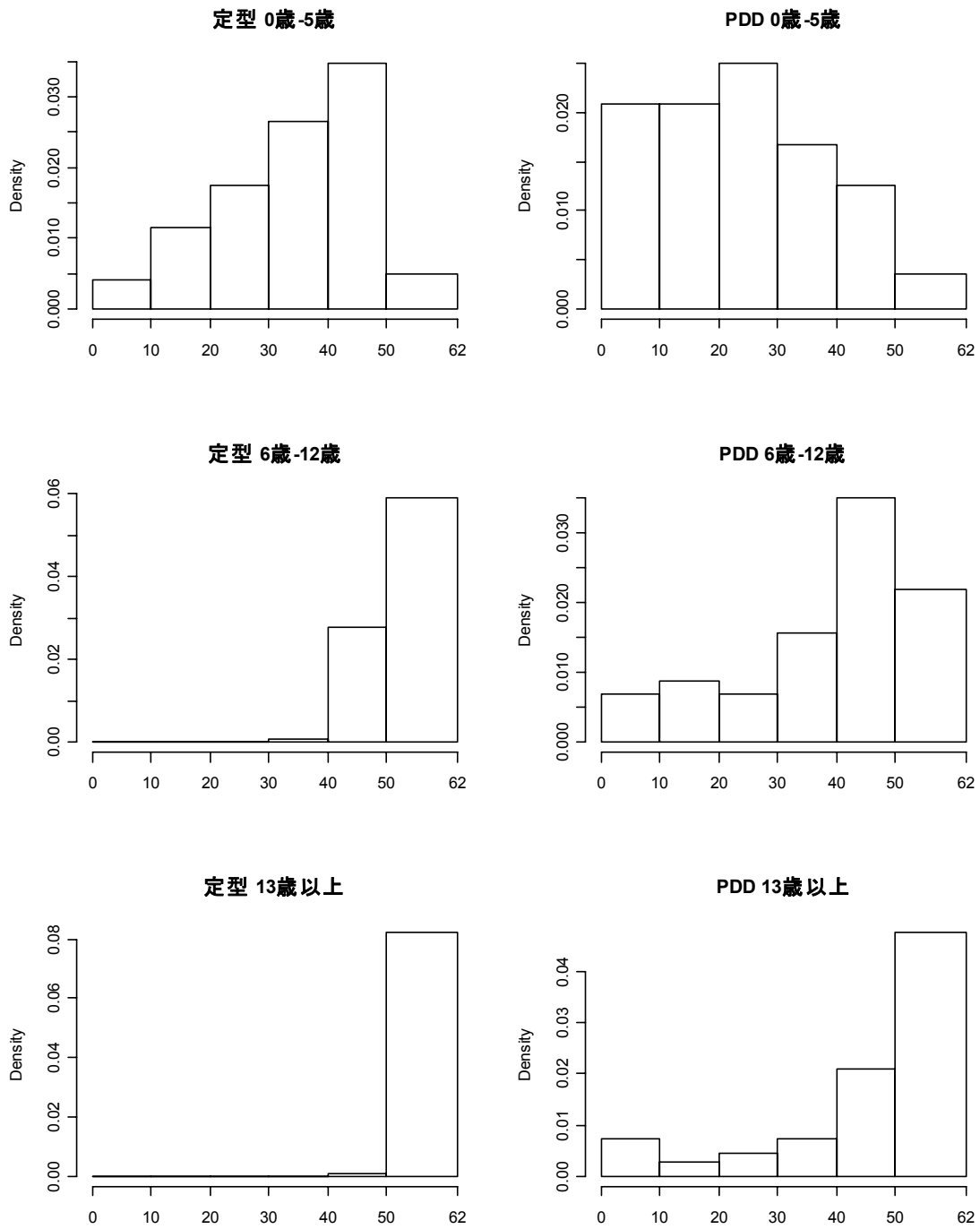


図 1-8 下位領域「遊びと余暇」の尺度得点のヒストグラム

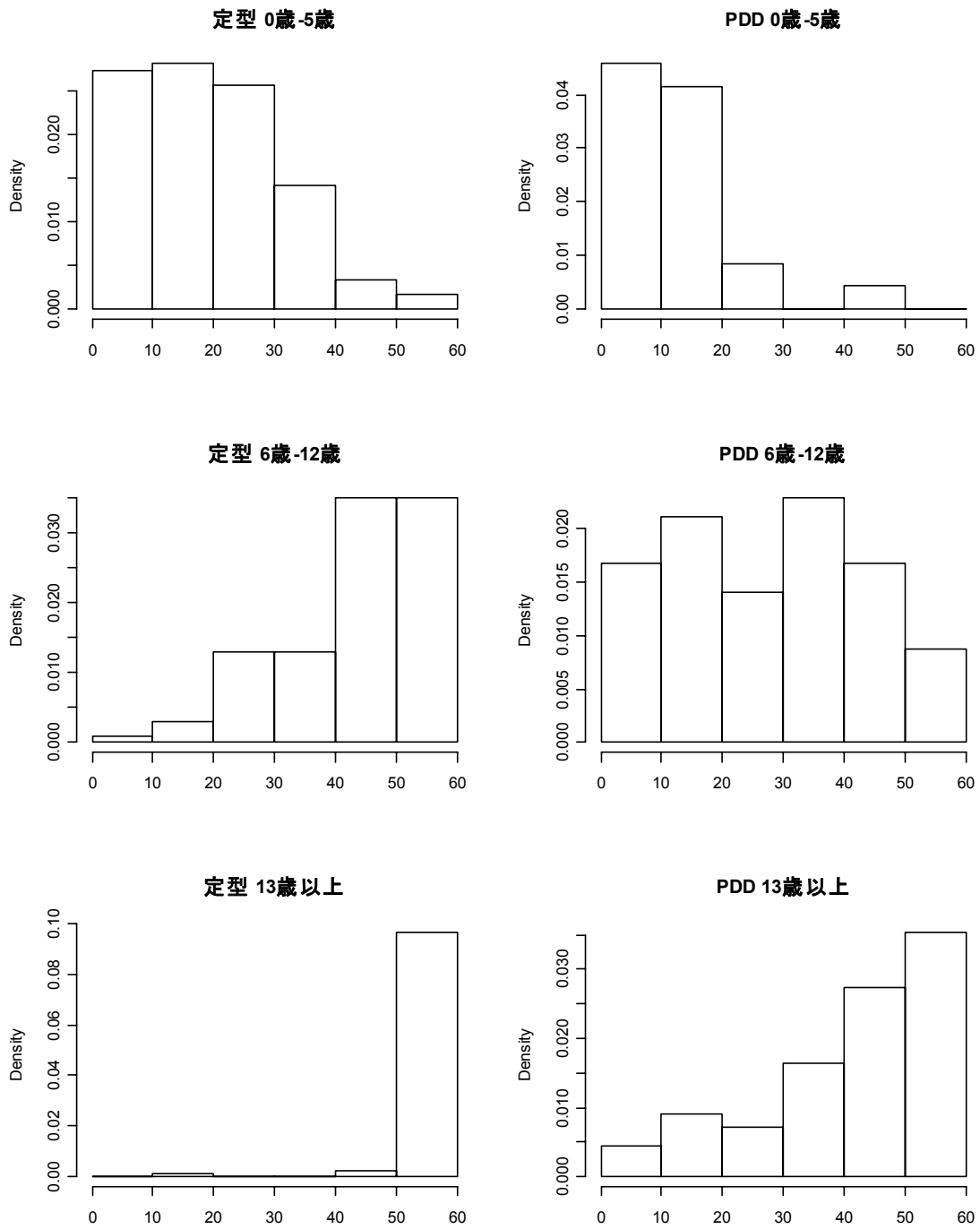


図 1-9 下位領域「コーピング」の尺度得点のヒストグラム

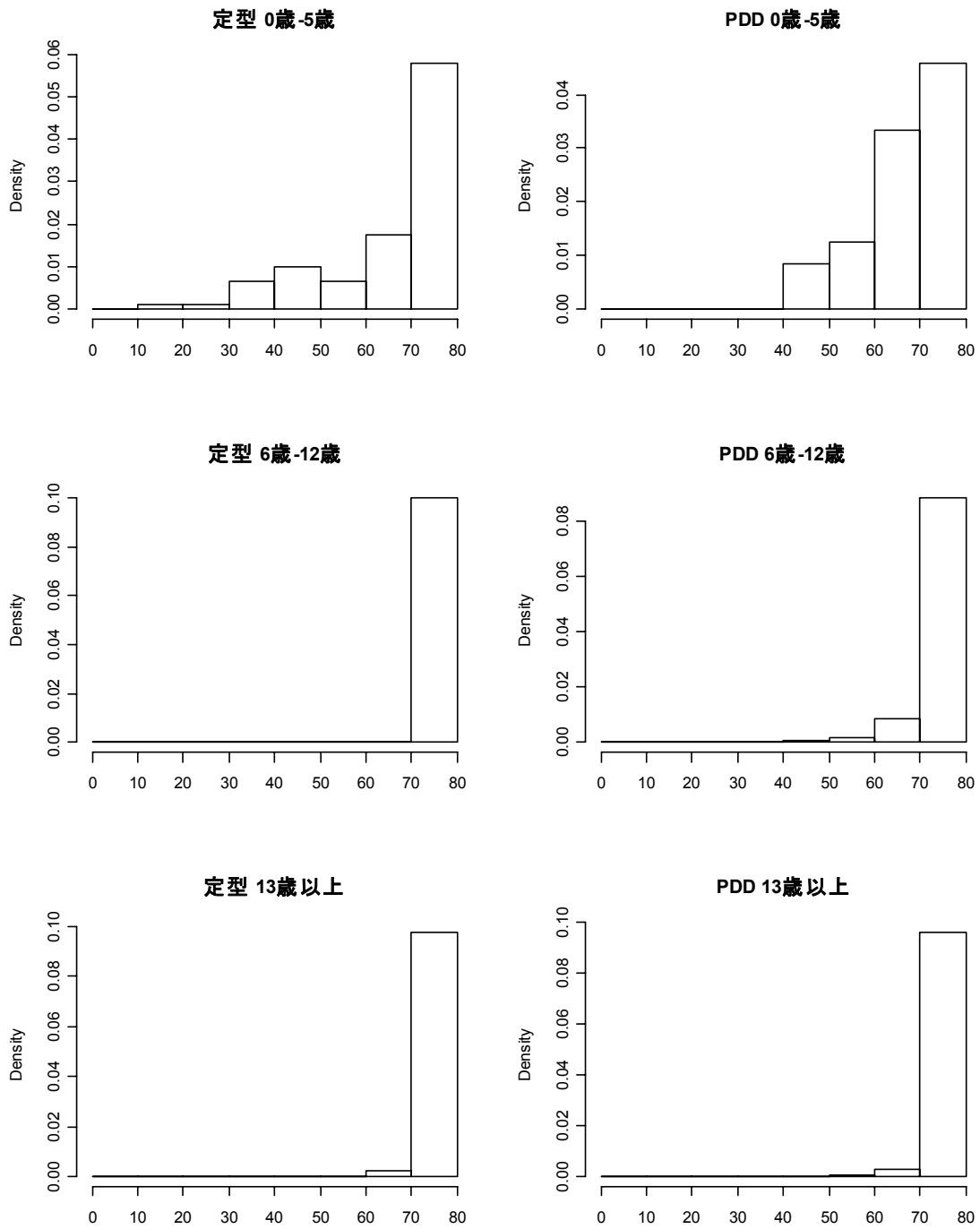


図 1-10 下位領域「粗大運動」の尺度得点のヒストグラム

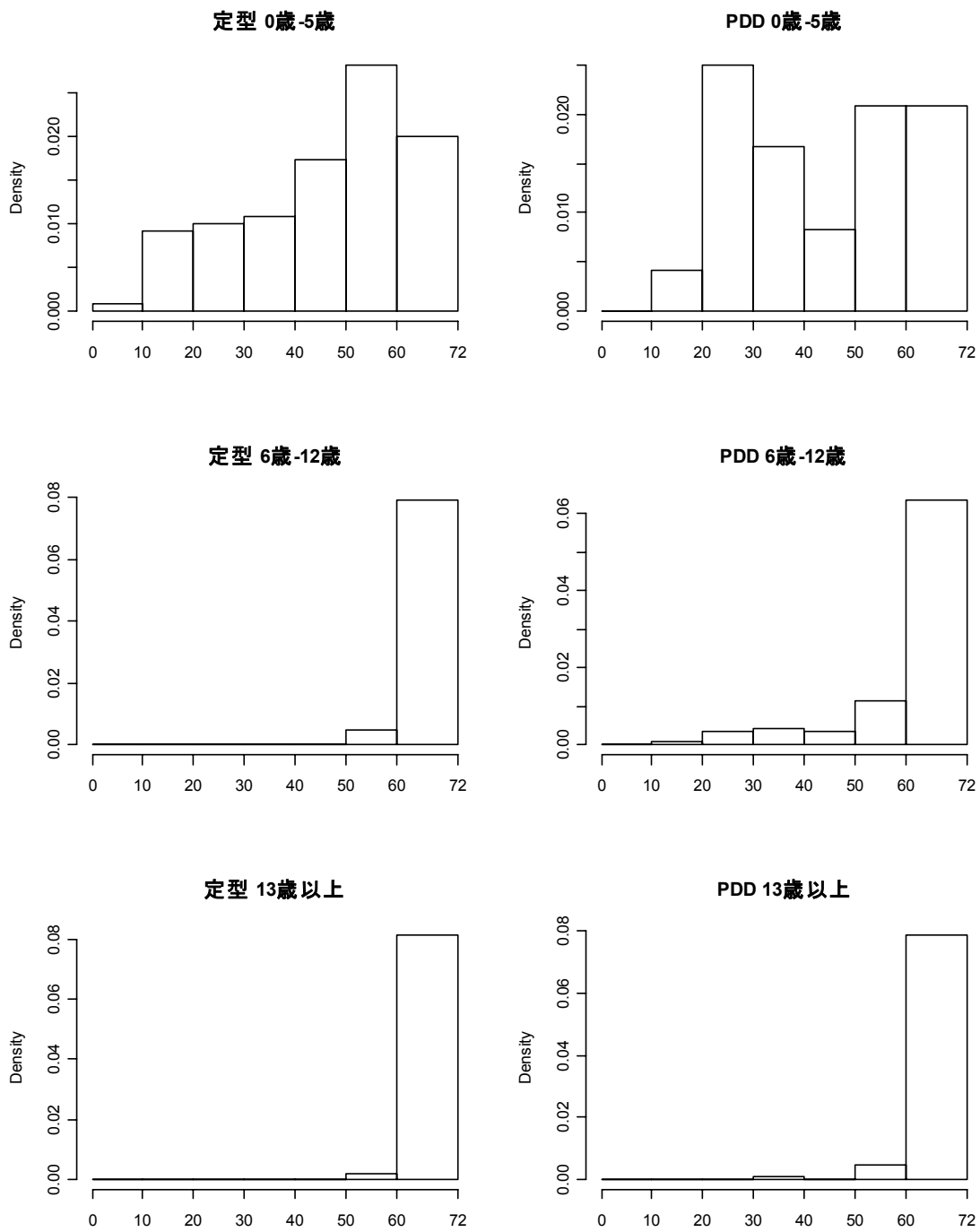


図 1-11 下位領域「微細運動」の尺度得点のヒストグラム

適応行動尺度の領域ごとの尺度得点のヒストグラムを、群別、年齢帯別に図 2-1～図 2-4 に示す。

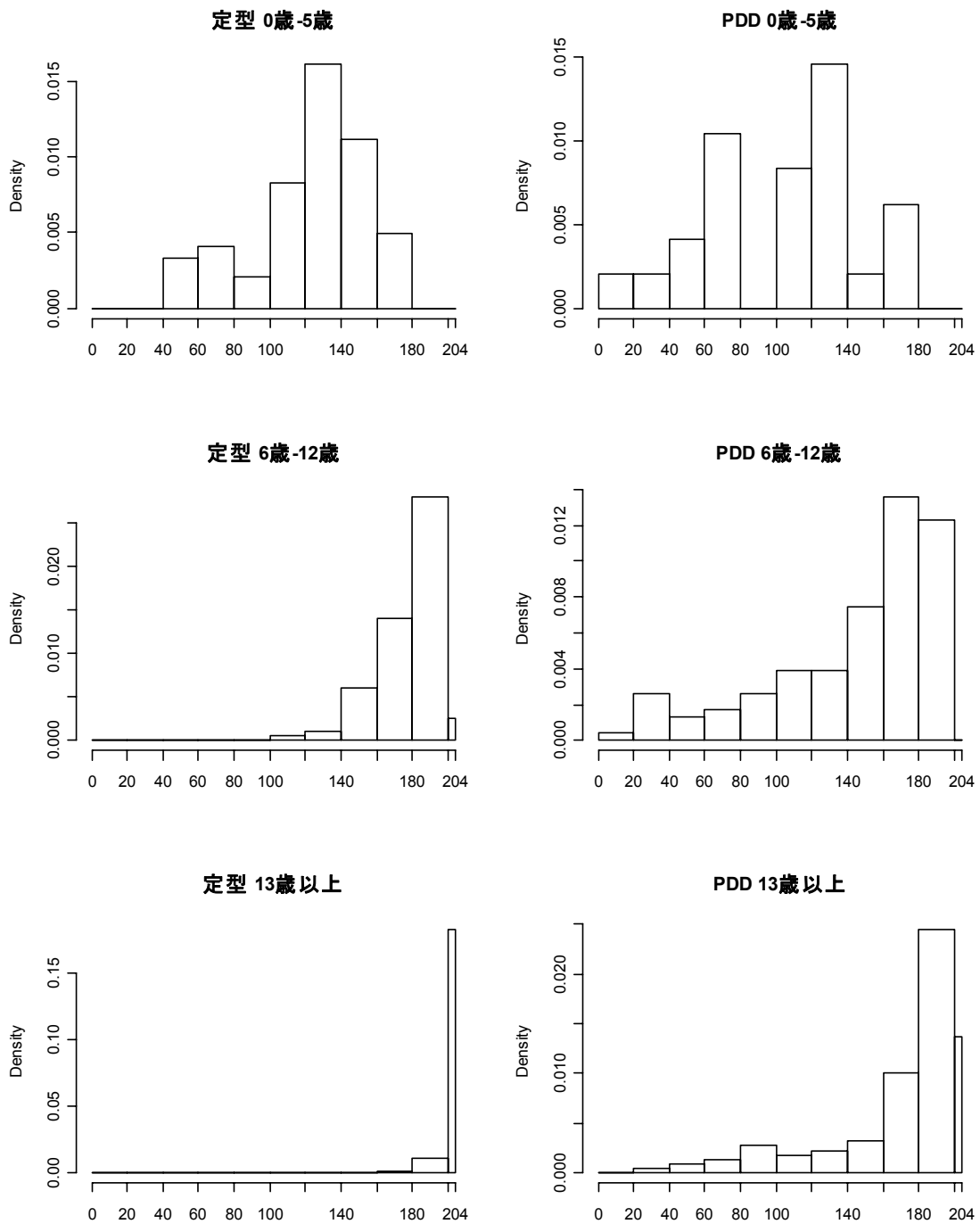


図 2-1 領域「コミュニケーション」の尺度得点のヒストグラム

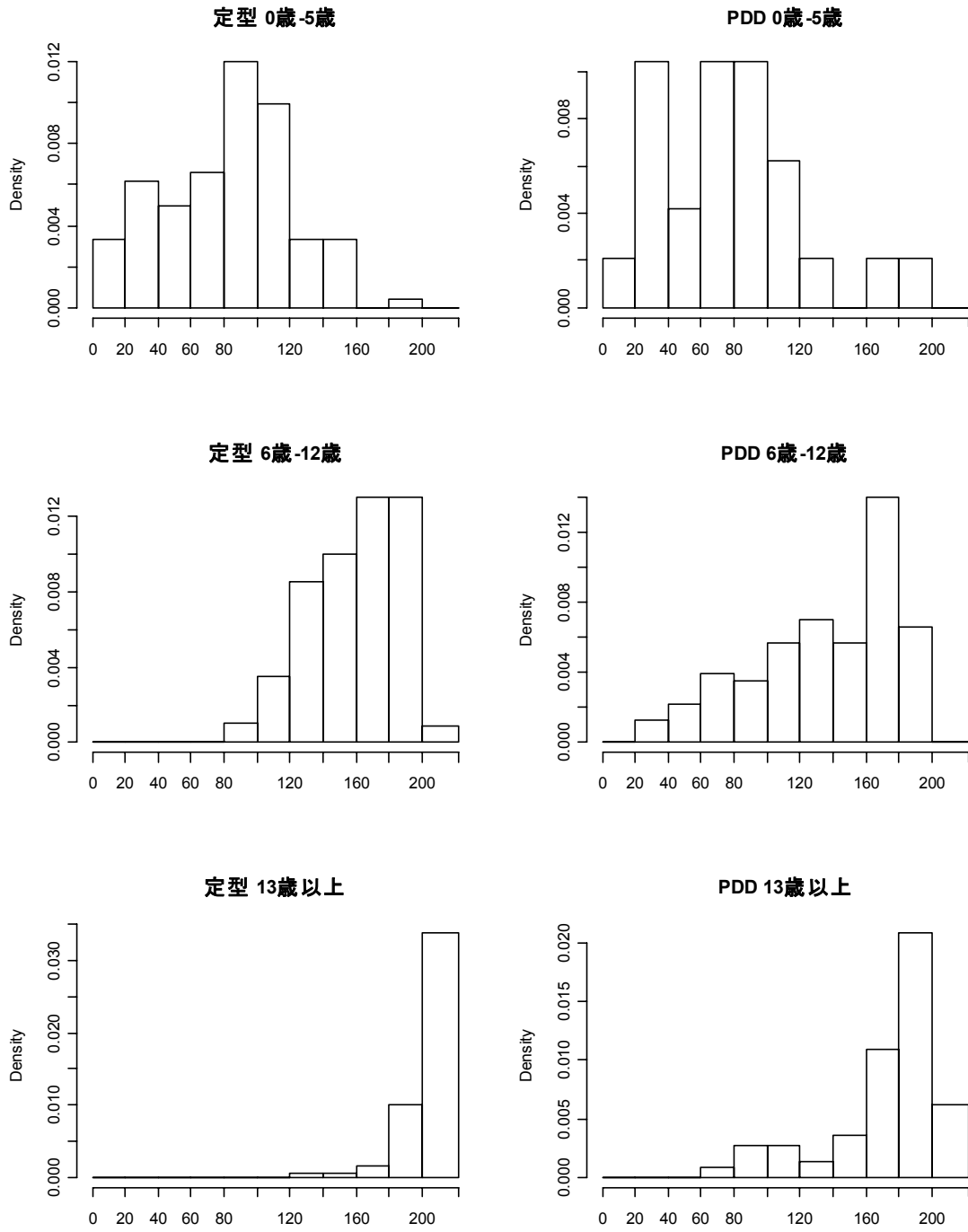


図 2-2 領域「日常生活スキル」の尺度得点のヒストグラム

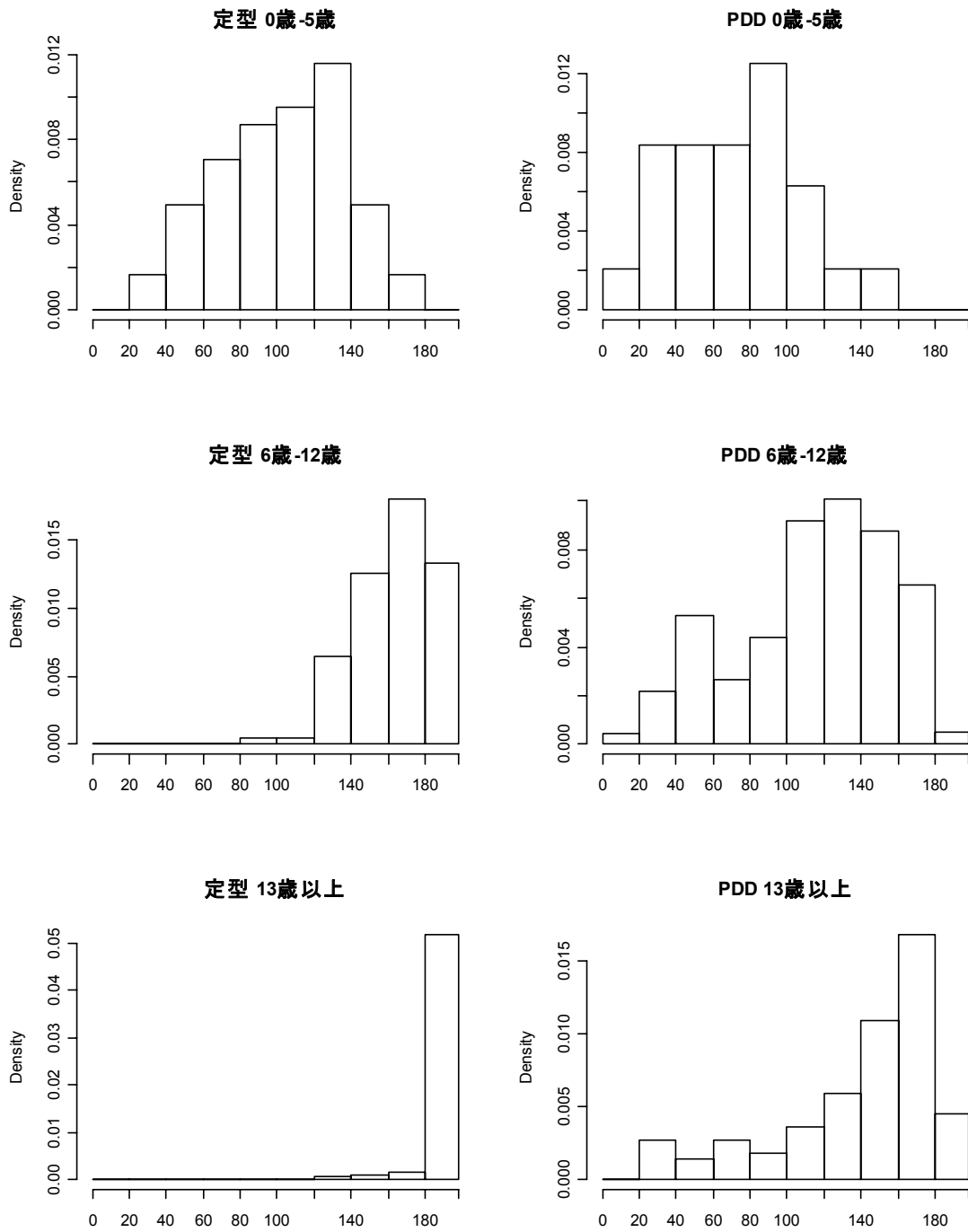


図 2-3 領域「社会性」の尺度得点のヒストグラム

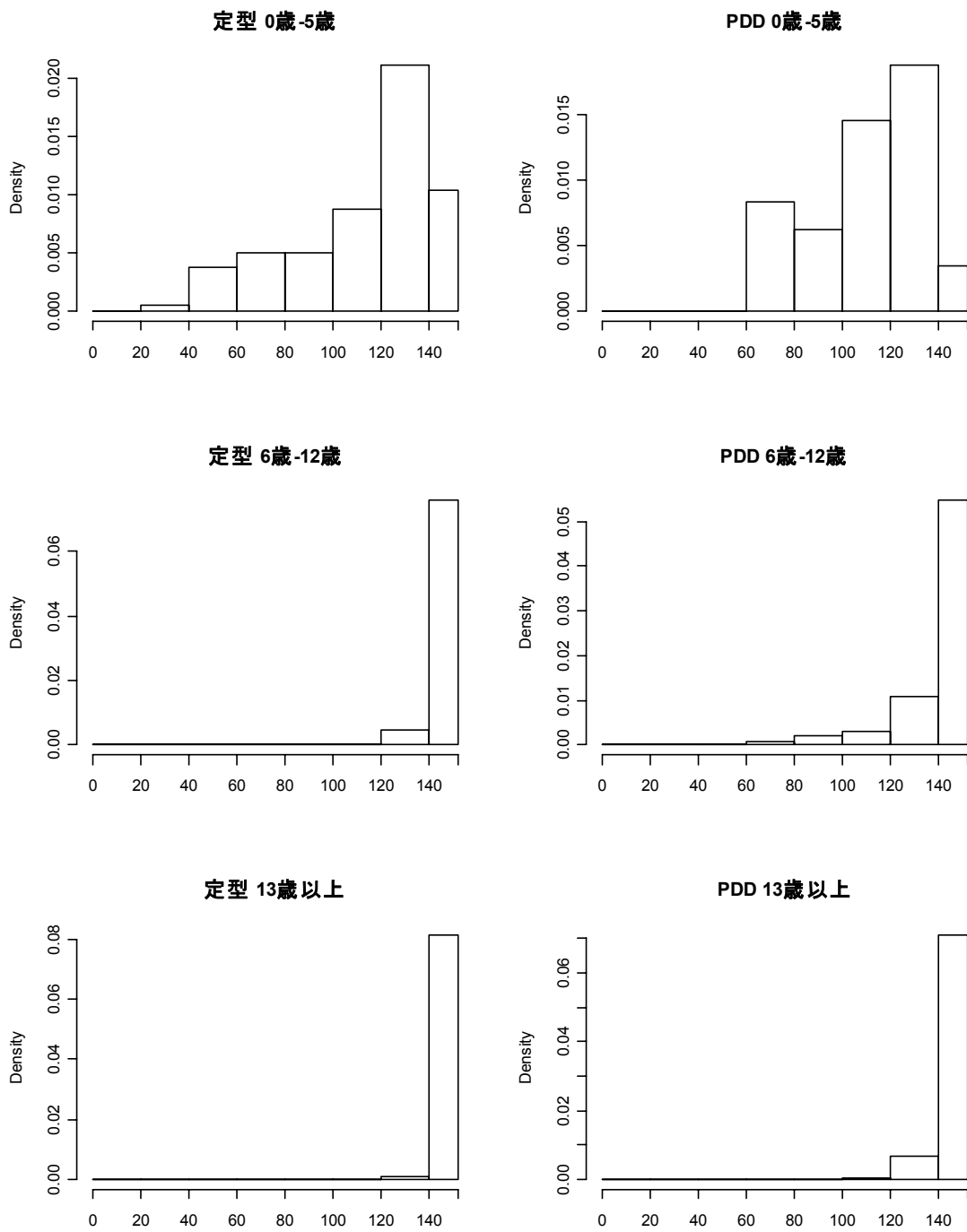


図 2-4 領域「運動スキル」の尺度得点のヒストグラム

適応行動尺度全体の尺度得点のヒストグラムを、群別、年齢帯別に図 3 に示す。

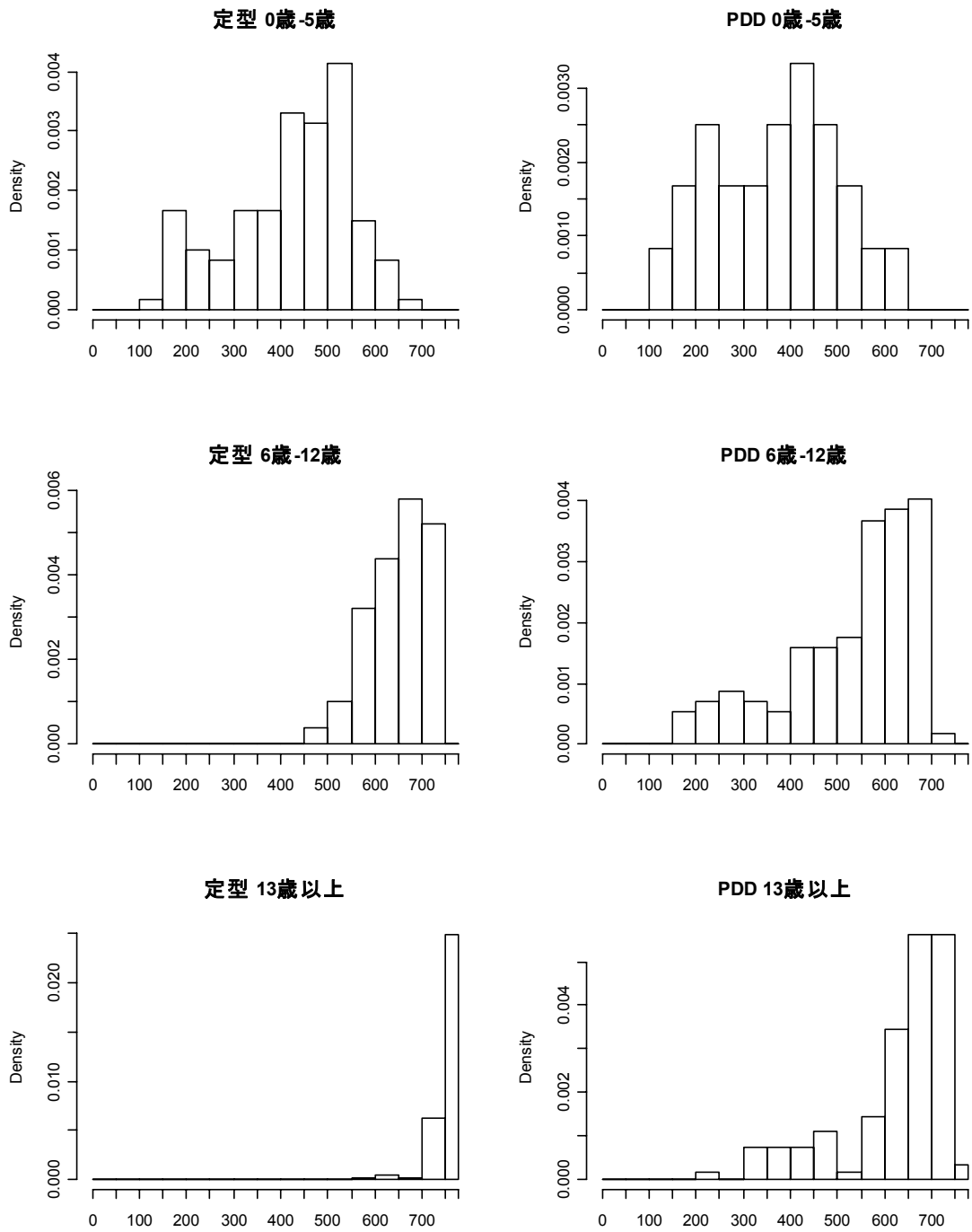


図3 適応行動尺度全体の尺度得点のヒストグラム

不適応行動尺度の下位尺度ごとの尺度得点のヒストグラムを、群別、年齢帯別に図 4-1～図 4-4 に示す。

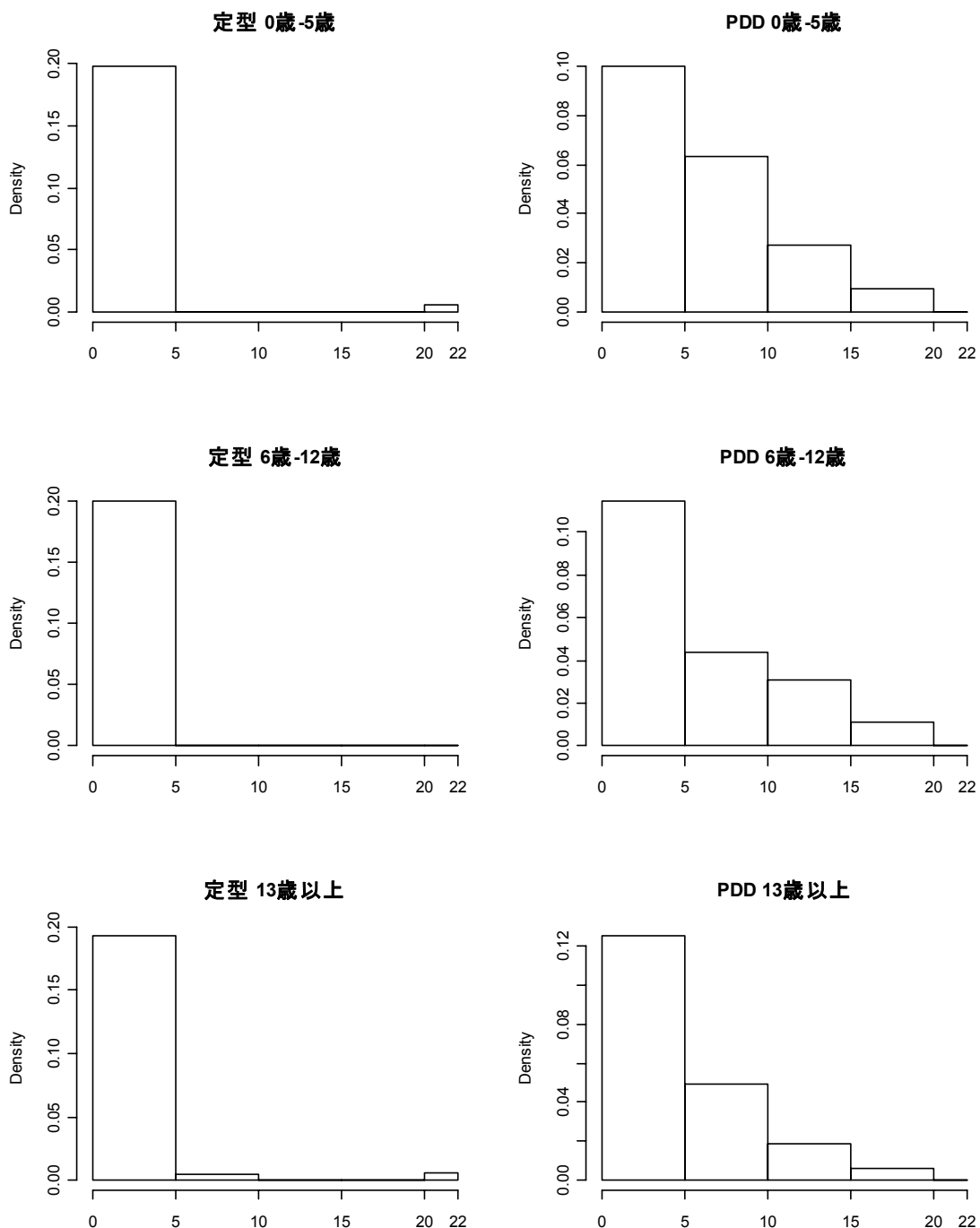


図 4-1 下位尺度「不適応内向」の尺度得点のヒストグラム

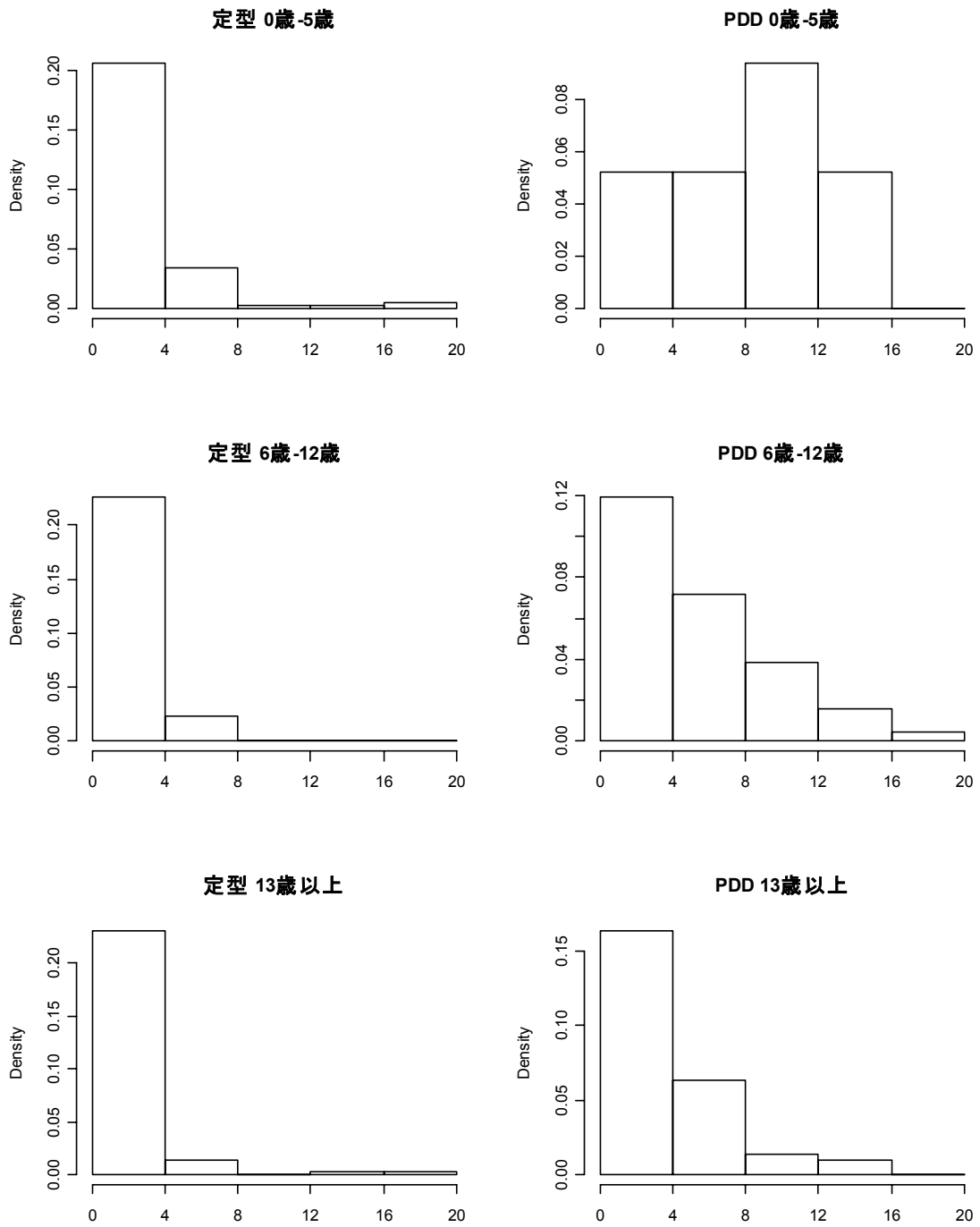


図 4-2 下位尺度「不適応外向」の尺度得点のヒストグラム

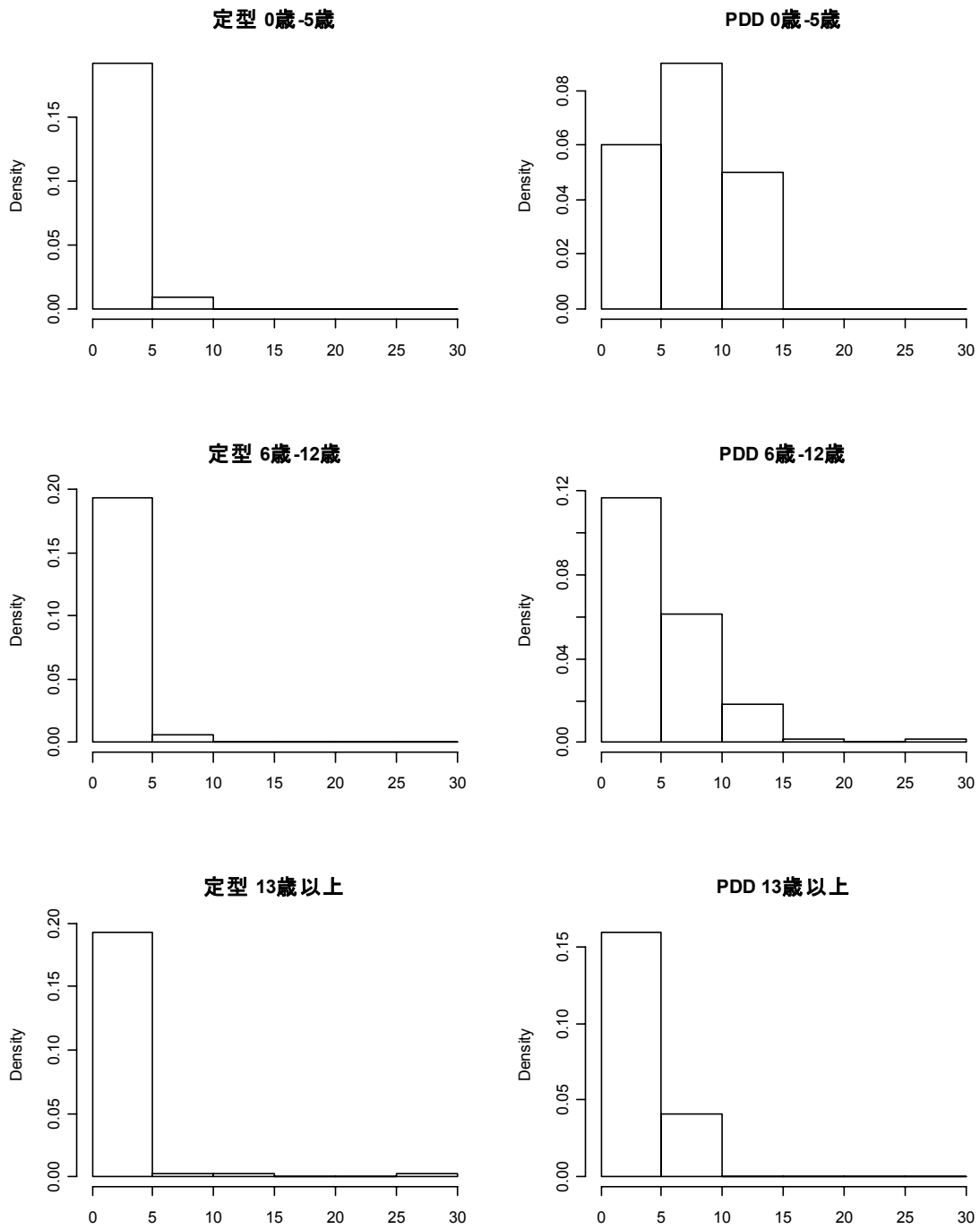


図 4-3 下位尺度「不適応その他」の尺度得点のヒストグラム

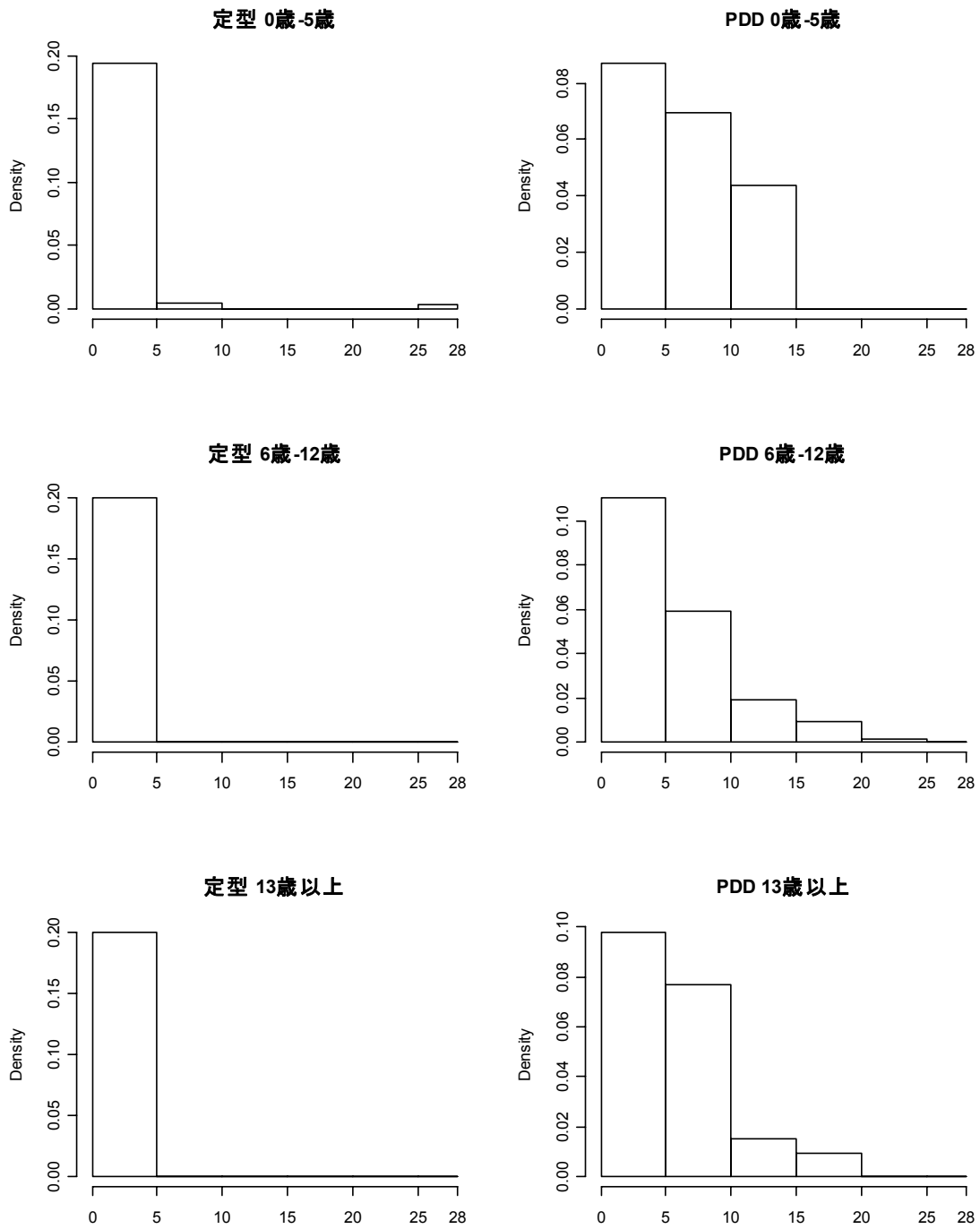


図 4-4 下位尺度「重要事項」の尺度得点のヒストグラム

不適応行動尺度全体（重要事項除く）の尺度得点のヒストグラムを、群別、年齢帯別に図 5 に示す。

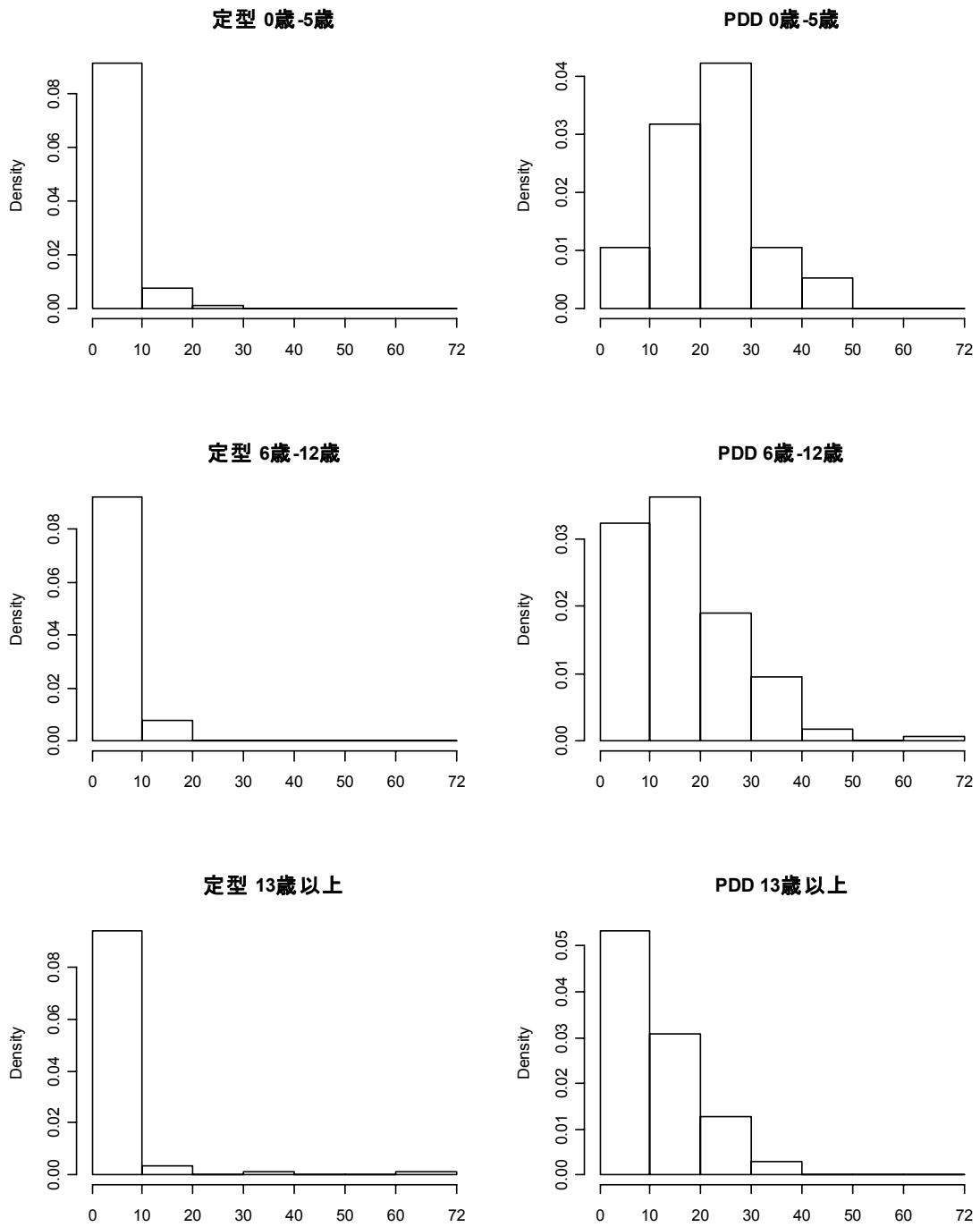


図5 不適応行動尺度全体の尺度得点のヒストグラム

適応行動尺度および不適応行動尺度の領域・下位領域ごとの尺度得点の α 係数を、群別、年齢帯別に表6、表7に示す。 α 係数とは、内的整合性の観点から尺度の信頼性を評価するための指標であり、一般に.70以上の数値を示すことが必要とされている。なお、いずれかの群・年齢帯において分散が0の項目が多く α 係数の算出が不可能であった領域・下位領域については、その群・年齢帯における α 係数を示していない。また、不適応行動尺度の「重要項目」は項目単位の評価を目的とした項目群であるため、 α 係数は示していない。

適応行動尺度では全体に高い α 係数が示されているが、運動スキル領域では定型発達群の13歳以上を中心に低い数値が見られる。これは、運動スキル領域の各下位尺度が定型発達群の高い年齢帯にとっては達成がきわめて容易な項目から構成され、分布に偏りが生じているためである。このため原版のVineland-IIでも、7歳以上の年齢帯では運動スキル領域の数量的評価を行っていない。しかし、PDD群では高い年齢帯でも運動スキル領域の α 係数が十分な値を示していることから、PDD者については高い年齢帯でも運動スキル尺度が有効な識別力を有していることがわかる。

不適応行動尺度については、下位尺度単位では.70に満たない α 係数が複数見られるが、不適応行動全体では.80前後以上の十分な α 係数が示されている。このことから、不適応行動尺度は、下位尺度単位でなく、尺度全体として評価に用いることが適切と考えられる。

表6 適応行動尺度の各領域・下位領域の α 係数

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
受容言語	.93	.80	.83	.93	.94	.93
表出言語	.98	.86	.82	.97	.98	.98
読み書き	.89	.92	.82	.94	.95	.94
コミュニケーション	.93	.94	.91	.98	.99	.98
身辺自立	.97	.84	.73	.96	.94	.88
家事	.90	.91	.87	.92	.93	.90
地域生活	.92	.94	.87	.96	.97	.97
日常生活スキル	.98	.96	.93	.98	.98	.97
対人関係	.92	.85	.74	.93	.94	.94
遊びと余暇	.94	.77	.72	.95	.94	.96
コーピング	.93	.93	.93	.84	.95	.95
社会性	.97	.95	.92	.97	.98	.98
粗大運動	.95	.46	-.02	.89	.86	.75
微細運動	.96	.73	.67	.96	.95	.87
運動スキル	.98	.75	.64	.96	.95	.87
適応行動	.98	.98	.96	.99	.99	.99

表7 不適応行動尺度の各下位尺度のα係数

	定型			PDD		
	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上	0歳-5歳	6歳-12歳	13歳以上
不適応内向	.88	.47	.94	.80	.81	.74
不適応外向	.82	.77	.91	.82	.81	.76
不適応その他	.27	.51	.94	.53	.74	.48
不適応行動	.76	.80	.97	.81	.90	.84

適応行動尺度および不適応行動尺度の各領域・下位領域の尺度得点間の相関係数を、群別、年齢帯別に表8-1～表8-3に示す。対角線の上側が定型発達群、下側がPDD群の値を示す。

表8-1 領域・下位領域得点間の相関係数（0歳～5歳）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1.	受容言語	-	.90	.39	.83	.88	.73	.78	.87	.81	.87	.74
2.	表出言語	.91	-	.32	.86	.92	.73	.77	.89	.84	.88	.73
3.	読み書き	.38	.39	-	.70	.33	.32	.45	.41	.31	.38	.33
4.	コミュニケーション	.93	.96	.64	-	.73	.65	.76	.79	.73	.75	.66
5.	身辺自立	.84	.86	.29	.80	-	.79	.84	.97	.85	.90	.78
6.	家事	.73	.71	.36	.69	.81	-	.82	.89	.81	.74	.80
7.	地域生活	.75	.74	.39	.75	.83	.87	-	.94	.84	.81	.82
8.	日常生活スキル	.83	.83	.36	.80	.95	.92	.96	-	.89	.90	.84
9.	対人関係	.85	.85	.25	.80	.83	.66	.70	.79	-	.85	.82
10.	遊びと余暇	.79	.78	.18	.72	.87	.72	.79	.85	.81	-	.78
11.	コーピング	.78	.71	.23	.68	.77	.81	.70	.79	.77	.76	-
12.	社会性	.87	.86	.23	.80	.89	.77	.80	.88	.94	.94	.88
13.	粗大運動	.75	.77	.00	.61	.85	.69	.62	.77	.76	.69	.69
14.	微細運動	.87	.88	.48	.88	.91	.76	.78	.88	.79	.81	.72
15.	運動スキル	.88	.89	.34	.85	.94	.78	.77	.89	.83	.82	.76
16.	適応行動	.93	.93	.44	.92	.94	.84	.88	.95	.88	.88	.81
17.	不適応内向	.03	.22	-.22	-.04	.33	.34	.21	.30	.08	.21	.05
18.	不適応外向	-.01	.27	-.13	-.04	.05	-.02	-.08	-.01	-.05	-.03	-.03
19.	不適応その他	-.20	-.01	-.28	-.54	-.07	-.11	-.09	-.09	-.07	-.15	.02
20.	不適応行動	.14	.44	-.25	-.08	.41	.32	.19	.34	.13	.22	.19
21.	重要事項	-.11	.02	-.28	-.33	.02	-.01	-.08	-.02	-.04	-.19	-.19

(表8-1のつづき)

		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1.	受容言語	.86	.86	.88	.89	.76	-.13	-.21	-.27	-.30	-.06
2.	表出言語	.87	.91	.89	.92	.87	-.14	-.17	-.15	-.22	.07
3.	読み書き	.38	.28	.52	.46	.51	-.10	-.26	-.16	-.25	-.22
4.	コミュニケーション	.79	.62	.79	.77	.90	-.15	-.22	-.20	-.21	-.10
5.	身辺自立	.90	.91	.93	.94	.89	-.16	-.15	-.17	-.21	.09
6.	家事	.84	.68	.76	.74	.81	-.22	-.15	-.20	-.16	.05

7.	地域生活	.88	.76	.83	.82	.88	-.08	-.06	-.01	-.06	-.03
8.	日常生活 スキル	.94	.87	.92	.92	.95	-.16	-.14	-.14	-.17	.04
9.	対人関係	.95	.77	.85	.83	.88	-.12	-.16	-.16	-.18	.11
10.	遊びと余暇	.94	.86	.92	.91	.85	-.18	-.24	-.25	-.30	.00
11.	コーピング	.92	.66	.75	.73	.83	-.20	-.11	-.12	-.12	.05
12.	社会性	-	.81	.90	.88	.94	-.18	-.18	-.19	-.22	.06
13.	粗大運動	.77	-	.90	.97	.76	-.09	-.13	-.12	-.19	.01
14.	微細運動	.85	.76	-	.98	.88	-.20	-.31	-.18	-.32	-.03
15.	運動スキル	.87	.90	.97	-	.89	-.16	-.24	-.16	-.27	-.01
16.	適応行動	.94	.78	.94	.95	-	-.18	-.16	-.12	-.12	-.02
17.	不適応内向	.14	.41	.28	.34	.11	-	.67	.37	.66	.13
18.	不適応外向	-.04	.14	.08	.11	-.15	.35	-	.55	.91	.21
19.	不適応 その他	-.10	.15	-.12	-.02	-.49	.13	.28	-	.80	.04
20.	不適応行動	.20	.47	.38	.44	.00	.73	.77	.57	-	.15
21.	重要事項	-.14	.21	.08	.14	-.28	.53	.30	.56	.60	-

表 8-2 領域・下位領域得点間の相関係数（6歳～12歳）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
1.	受容言語	-	.75	.56	.75	.58	.40	.53	.56	.48	.34	.51
2.	表出言語	.92	-	.79	.93	.74	.55	.79	.78	.60	.50	.73
3.	読み書き	.87	.87	-	.95	.77	.64	.84	.85	.64	.66	.72
4.	コミュニ ケーション	.95	.98	.94	-	.80	.63	.86	.86	.66	.61	.76
5.	身辺自立	.81	.79	.84	.83	-	.60	.77	.85	.60	.55	.62
6.	家事	.60	.57	.67	.62	.72	-	.65	.84	.46	.53	.58
7.	地域生活	.85	.87	.92	.91	.84	.69	-	.94	.67	.72	.75
8.	日常生活 スキル	.84	.84	.91	.89	.93	.84	.96	-	.65	.70	.75
9.	対人関係	.81	.82	.72	.82	.72	.61	.77	.78	-	.53	.76
10.	遊びと余暇	.80	.83	.75	.83	.76	.62	.80	.81	.87	-	.63
11.	コーピング	.71	.68	.71	.72	.69	.66	.72	.76	.74	.72	-
12.	社会性	.84	.84	.78	.86	.78	.68	.82	.84	.94	.93	.89
13.	粗大運動	.68	.65	.68	.69	.74	.53	.65	.70	.52	.60	.53
14.	微細運動	.80	.80	.82	.83	.86	.63	.78	.83	.68	.73	.63
15.	運動スキル	.81	.80	.82	.83	.87	.64	.79	.84	.67	.73	.64
16.	適応行動	.92	.93	.92	.96	.90	.75	.94	.96	.88	.89	.82
17.	不適応内向	-.26	-.23	-.18	-.23	-.21	-.04	-.17	-.16	-.34	-.23	-.27
18.	不適応外向	-.11	-.01	-.05	-.04	-.12	-.05	-.05	-.07	-.12	-.02	-.34
19.	不適応 その他	-.13	-.07	-.10	-.09	-.14	.03	-.08	-.07	-.12	-.02	-.20
20.	不適応行動	-.20	-.13	-.12	-.15	-.17	.00	-.12	-.11	-.22	-.09	-.30
21.	重要事項	-.27	-.26	-.22	-.26	-.22	-.04	-.25	-.20	-.36	-.28	-.31

(表 8-2 のつづき)

12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

1.	受容言語	.52	.43	.58	.63	.64	-.11	-.07	-.18	-.17	-.03
2.	表出言語	.72	.42	.65	.68	.85	.03	.04	-.11	-.03	-.05
3.	読み書き	.76	.50	.69	.74	.91	.11	.10	-.07	.04	-.02
4.	コミュニケーション	.78	.50	.72	.77	.93	.06	.07	-.11	-.01	-.04
5.	身辺自立	.67	.47	.62	.67	.83	.06	.14	-.02	.08	.07
6.	家事	.60	.31	.59	.60	.75	-.09	-.01	-.24	-.14	-.07
7.	地域生活	.81	.50	.71	.76	.93	.15	.04	-.09	.01	.00
8.	日常生活スキル	.80	.49	.73	.77	.96	.06	.05	-.13	-.03	-.01
9.	対人関係	.87	.34	.51	.54	.77	.06	-.05	-.09	-.06	.00
10.	遊びと余暇	.77	.31	.63	.63	.75	.12	.06	-.09	.04	-.03
11.	コーピング	.96	.28	.68	.66	.87	-.05	-.09	-.23	-.16	-.21
12.	社会性	-	.34	.69	.69	.91	.02	-.05	-.18	-.10	-.13
13.	粗大運動	.58	-	.35	.62	.49	.13	.10	.00	.08	.10
14.	微細運動	.73	.74	-	.95	.79	.00	.01	-.22	-.10	-.15
15.	運動スキル	.73	.87	.97	-	.82	.04	.04	-.18	-.05	-.09
16.	適応行動	.93	.71	.86	.87	-	.04	.03	-.15	-.05	-.06
17.	不適応内向	-.32	-.19	-.20	-.21	-.27	-	.52	.37	.69	.47
18.	不適応外向	-.18	-.03	-.11	-.09	-.10	.65	-	.48	.89	.34
19.	不適応その他	-.13	-.10	-.13	-.13	-.12	.58	.69	-	.78	.43
20.	不適応行動	-.23	-.12	-.15	-.14	-.18	.87	.88	.87	-	.50
21.	重要事項	-.36	-.12	-.15	-.15	-.31	.75	.52	.46	.67	-

表 8-3 領域・下位領域得点間の相関係数 (13 歳以上)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
1.	受容言語	-	.70	.58	.78	.57	.52	.45	.55	.29	.14	.40
2.	表出言語	.83	-	.74	.91	.71	.60	.42	.60	.34	.15	.44
3.	読み書き	.77	.85	-	.93	.77	.77	.71	.83	.50	.36	.69
4.	コミュニケーション	.89	.98	.92	-	.80	.75	.63	.78	.45	.28	.62
5.	身辺自立	.83	.81	.76	.85	-	.71	.68	.84	.42	.32	.44
6.	家事	.64	.59	.55	.62	.65	-	.70	.89	.43	.38	.60
7.	地域生活	.86	.90	.84	.93	.86	.67	-	.93	.48	.47	.54
8.	日常生活スキル	.87	.88	.82	.91	.91	.82	.97	-	.50	.46	.60
9.	対人関係	.73	.84	.73	.84	.71	.62	.80	.80	-	.61	.61
10.	遊びと余暇	.84	.84	.74	.86	.82	.64	.89	.89	.82	-	.42
11.	コーピング	.76	.79	.72	.81	.74	.56	.81	.80	.77	.79	-
12.	社会性	.83	.89	.79	.90	.81	.65	.90	.89	.93	.94	.92
13.	粗大運動	.29	.26	.23	.27	.25	.39	.34	.37	.23	.36	.22
14.	微細運動	.76	.75	.68	.77	.71	.62	.77	.78	.62	.69	.61
15.	運動スキル	.69	.66	.60	.69	.63	.64	.72	.74	.56	.67	.55
16.	適応行動	.90	.95	.87	.97	.88	.72	.96	.97	.89	.93	.87
17.	不適応内向	-.23	-.21	-.26	-.24	-.17	-.25	-.24	-.25	-.39	-.28	-.35
18.	不適応外向	-.32	-.16	-.22	-.21	-.12	-.11	-.23	-.20	-.26	-.24	-.28

19.	不適応 その他	-.39	-.24	-.35	-.31	-.31	-.29	-.38	-.38	-.32	-.37	-.37
20.	不適応行動	-.31	-.20	-.28	-.25	-.19	-.24	-.31	-.29	-.38	-.32	-.38
21.	重要事項	-.40	-.42	-.41	-.44	-.39	-.24	-.42	-.40	-.48	-.41	-.44

(表 8-3 のつづき)

		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1.	受容言語	.36	-.04	.28	.24	.62	-.12	-.13	-.03	-.09	.00
2.	表出言語	.40	-.06	.35	.30	.69	-.13	-.12	-.03	-.09	-.07
3.	読み書き	.66	-.04	.58	.51	.90	-.09	-.19	-.02	-.10	-.03
4.	コミュニ ケーション	.58	-.05	.50	.44	.87	-.12	-.18	-.03	-.11	-.04
5.	身辺自立	.48	-.10	.28	.22	.81	-.04	-.14	-.01	-.06	-.03
6.	家事	.59	-.01	.39	.35	.86	-.07	-.18	-.02	-.09	-.17
7.	地域生活	.60	.00	.40	.36	.86	-.01	-.17	-.04	-.07	-.10
8.	日常生活 スキル	.63	-.03	.41	.37	.94	-.04	-.19	-.03	-.08	-.12
9.	対人関係	.87	.02	.39	.36	.67	-.29	-.26	-.08	-.21	-.27
10.	遊びと余暇	.73	.22	.32	.36	.56	-.18	-.14	-.07	-.13	-.23
11.	コーピング	.88	-.03	.80	.71	.78	-.28	-.35	-.15	-.27	-.17
12.	社会性	-	.05	.66	.61	.82	-.31	-.33	-.13	-.26	-.26
13.	粗大運動	.29	-	.19	.45	.00	.03	.07	.04	.04	.06
14.	微細運動	.69	.36	-	.96	.59	-.16	-.19	-.07	-.15	.06
15.	運動スキル	.64	.74	.89	-	.53	-.14	-.15	-.06	-.14	.07
16.	適応行動	.96	.35	.79	.74	-	-.15	-.25	-.07	-.16	-.15
17.	不適応内向	-.36	-.22	-.19	-.24	-.30	-	.83	.90	.95	.30
18.	不適応外向	-.28	-.25	-.24	-.30	-.25	.57	-	.88	.95	.37
19.	不適応 その他	-.38	-.25	-.33	-.37	-.37	.39	.68	-	.97	.33
20.	不適応行動	-.38	-.29	-.28	-.35	-.33	.84	.88	.76	-	.35
21.	重要事項	-.48	-.11	-.29	-.26	-.45	.60	.45	.49	.63	-

5. 定型発達群とPDD群の比較

年齢帯別に各領域・下位領域得点について定型発達群対PDD群のt検定を行った結果を表9-1、表9-2に示す。t値および有意確率(p値)とともに効果量dを併記した。効果量dは2群の平均値の差の大きさを標準化して示す指標であり、慣習的な目安として、dが0.2程度であれば差は小さい、0.5程度であれば中程度、0.8程度であれば大きいとされる。表中のdの値が高いほど、定型発達群の平均値がPDD群の平均値より高いことを意味する。

適応行動尺度では、全体的に定型発達群がPDD群より有意に高い得点を示しているが、その傾向は年齢帯が上がるにつれてより顕著になっている。0歳～5歳では、有意差が見られない領域・下位領域が半数近く存在するが、6歳～12歳では全ての領域・下位領域で有意差が見られている。さらに、13歳以上ではほぼ全ての領域・下位領域で効果量dが6歳～12歳よりも高い値を示しており、2群の差はより明確になっている。

不適応行動尺度では、全ての尺度・下位尺度、全ての年齢帯で、PDD群が定型発達群より有意に高い得点を示している。しかし、効果量dの値に着目すると、適応行動とは逆に、年齢帯が上がるにつれ、全体に2群の差が縮まる傾向が見られる。

表9-1 適応行動尺度の各尺度得点に対する定型発達群対PDD群のt検定の結果

	0歳5歳				6歳12歳				13歳以上			
	df	T	p	d	df	t	p	d	df	t	p	d
受容言語	143	3.18	.00	0.71	211	9.04	.00	1.48	199	6.21	.00	1.10
表出言語	143	2.89	.00	0.63	211	7.70	.00	1.28	199	7.47	.00	1.41
読み書き	112	-0.02	.98	0.00	211	2.61	.01	0.36	199	8.64	.00	1.40
コミュニケーション	112	5.89	.00	1.15	211	6.85	.00	1.06	199	8.01	.00	1.43
身辺自立	143	1.47	.15	0.34	211	5.12	.00	0.78	199	7.37	.00	1.15
家事	143	0.59	.56	0.13	211	4.51	.00	0.62	199	9.58	.00	1.45
地域生活	143	0.68	.50	0.13	211	3.65	.00	0.52	199	8.35	.00	1.35
日常生活スキル	143	1.10	.27	0.24	211	4.63	.00	0.66	199	9.27	.00	1.46
対人関係	143	4.76	.00	1.03	211	11.77	.00	1.78	199	14.57	.00	2.55
遊びと余暇	143	4.29	.00	0.91	211	8.28	.00	1.31	199	8.82	.00	1.61
コーピング	143	3.34	.00	0.89	211	7.92	.00	1.10	199	10.04	.00	1.67
社会性	143	4.46	.00	1.01	211	10.15	.00	1.49	199	12.04	.00	2.12
粗大運動	143	-0.13	.90	-0.03	211	5.19	.00	0.85	199	6.21	.00	1.21
微細運動	143	0.88	.38	0.19	211	4.57	.00	0.73	199	4.93	.00	0.90
運動スキル	143	0.44	.66	0.10	211	5.09	.00	0.83	199	6.54	.00	1.22
適応行動	112	5.32	.00	1.10	211	7.30	.00	1.09	199	10.21	.00	1.77

表 9-2 不適応行動尺度の各尺度得点に対する定型発達群対 PDD 群の t 検定の結果

	0 歳-5 歳				6 歳-12 歳				13 歳以上			
	<i>df</i>	<i>t</i>	<i>p</i>	<i>d</i>	<i>df</i>	<i>t</i>	<i>p</i>	<i>d</i>	<i>df</i>	<i>t</i>	<i>p</i>	<i>d</i>
不適応内向	116	-7.91	.00	-1.55	202	-10.92	.00	-1.91	193	-8.65	.00	-1.29
不適応外向	118	-8.09	.00	-1.66	203	-8.47	.00	-1.28	195	-5.58	.00	-0.81
不適応その他	111	-10.35	.00	-2.09	197	-8.52	.00	-1.37	192	-4.80	.00	-0.69
不適応行動	110	-12.28	.00	-2.50	192	-10.51	.00	-1.75	189	-7.07	.00	-1.02
重要項目	116	-7.39	.00	-1.56	197	-10.99	.00	-1.95	192	-12.68	.00	-2.39

第4章： 適応行動尺度の可能性と実用化に向けての課題

中京大学 辻井正次

1. 発達障害児者への支援ニーズの把握に向けて適応行動尺度の果たす可能性

1) 広汎性発達障害者の適応行動の特徴

この研究において、全国の多くのサンプルを対象にして、まずは、定型発達における適応行動や不適応行動の全体像を把握し、そのことで、広汎性発達障害児者の適応行動や不適応行動の特徴を描いてきた。かなり基本的に両者は異なっていた。

第3章において、定型発達者と広汎性発達障害者のVABS-IIにおける適応行動の違いを見ていくと、明らかに適応行動が異なり、適応行動尺度では、全体的に定型発達群がPDD群より有意に高い得点を示しているが、その傾向は年齢帯が上がるにつれてより顕著になっていた。0歳～5歳では、有意差が見られない領域・下位領域が半数近く存在し、読み書きや、日常生活スキル、運動スキルなどでの有意差は見られなかった。6歳～12歳では全ての領域・下位領域で有意差が見られている。さらに、13歳以上ではほぼ全ての領域・下位領域で効果量dが6歳～12歳よりも高い値を示しており、2群の差はより明確になって、適応行動上の差異が明確になっている。

幼児期においては、日常生活スキルや運動スキルの個人差は確かにあるものの、コミュニケーションや社会性において、また、不適応行動の量において両者は大きく異なっており、こうした適応状況から必要な支援が把握できることは、保育などでの発達支援においては極めて有用性の高い知見となるであろう。発達障害の診断という観点であると、親たちとしては向かいにくいこともあるが、適応行動のどこが「苦手」であるかという視点では、その場での取り組みにつながりやすいと考えられる。確かに、従来の発達検査などでも同様の知見は得られるが、1つには、成人期までの連続線上で把握できることや、「発達」ではなく、適応行動という形で把握できるため、広汎性発達障害の場合に、支援につながりやすいものと考えられる。

一方、不適応行動尺度では、全ての尺度・下位尺度、全ての年齢帯で、PDD群が定型発達群より有意に高い得点を示している。しかし、効果量dの値に着目すると、適応行動とは逆に、年齢帯が上がるにつれ、全体に両群の差が縮まる傾向が見られていた。

このように、VABS-IIによって明確に両群の適応行動を測ることは可能であり、また、こうした適応行動の度合いや不適応行動の度合いで、実際の支援の特徴を個人ごとで描いていくことも考えられる。こうした傾向から、個々の発達障害児者の支援の支援ニーズのパターンや必要な支援の量を対比させていくことは可能であり、今後の研究のなかで取り組むことが可能である。

今後、年代ごとでの、判別分析で、広汎性発達障害児者の特性を明確にしたりすることが可能であり、さらに統計的にも検討を進めていく。

2. VABS-IIの日本語版作成に向けての課題

今回、VABS-IIの日本語版を作成するための予備的な取組みを実施したが、いくつかの課題も見ることができた。基本的に、北米の生活様式を基本にしており、また、言語が英語と日本語との違いもあり、日本の文化のなかでの特徴に合った項目の構成と、項目の並べなおしが必要になると考えられる。

最も大きな変更が必要であったのは、言語表出に関連した項目群であり、英語と日本語での言語的な差異で、日本語にあった言語発達の対応が必要であった。また、日常生活においても、家事などの生活スタイルでの違いなど、日本独自の項目設定が必要になるかと思われる。また、項目の並び順においても、いくつかの修正が必要になることが明らかになり、今後、そうした修正をもとに、実際の本番の標準化の手続きが可能になった。地域のなかで、障害ある人たちが自立して生活できるためには、どの程度のスキルが各領域において持っていることで十分とするかについて、今後も議論が必要であろう。例えば、対人関係の最後が「デート」であるが、わが国であれば、さらに近隣でのコミュニケーションなどがあるかもしれないなど、大人の自立した生活をどこまでと考えるのかかなり課題がある。

特に、障害児者の支援メニューとの対応を考えていくとすれば、支援メニューのどのようなものを活用して、「支援があって」できるところまでを構成していくのが重要であり、それに向けての議論が必要であろう。少なくとも、発達障害だけではなく、知的障害や精神障害なども含め、適応行動で評価して、支援を決めていくのは1つの非常に効率性の高い支援の構成の仕方であると考えられ、実際に提供で来るメニューや、日本社会でしかも地域で生きていくうえで必要なスキルなどの明確化なども合わせて必要である。

現在、著者代表者の **Dr. Sara Sparrow** との研究打ち合わせを進めつつ、VABS-IIの著作権元出版社との交渉を進めている。こうした実質的な課題を1つずつクリアしていくことも重要になる。

3. 本事業の成果についての評価

本事業の成果としては、発達障害児者の適応行動を把握するための基本的なアセスメント・ツールであり、国際的に最も標準的に用いられている評価尺度であるVABS-IIの日本版の作成を行い、広汎性発達障害の適応行動上の特徴を明確にし、今後の支援ニーズの評価を可能にするツールの原型を作成することができた。

また、わが国で、こうした発達障害児者の適応行動状況を把握する上で、必要な標準化のデータ収集を行う上で、必要な全国的な研究者ネットワークを構築することができ、今後、障害児者福祉施策を行っていく上で、必要なエビデンスを蓄積できる体制ができた。

今回の事業の有益な成果を元に、実際のVABS-IIの標準化を進め、また、実際の受けている支援との対比を行い、実際に全国どこでも活用できる形でのマニュアル化を進めていくことが可能になった。これは、当事者の支援ニーズを適切に把握する上では必要不可欠なことであり、今回の事業は今後の障害児者福祉サービスを、よりエビデンスに基づき提供するための一歩となる。さらに、知的障害や精神障害も含め、行動の支援を中核とする障害群に対するサービスを、適応行動という同じ基準で把握し、地域生活に基づく支援を提供できることで、当事者の支援ニーズを充実していくことを実現できると考える。

4. 研究体制について；研究代表者及び研究協力者

本研究においては、NPO法人アスペ・エルデの会の実施事業ではあるが、非常に多くの研究協力者のもと、全国的な研究ネットワークの中で研究を実施することができた。非常に慌しいスケジュールのなか、意欲的に、当事者の利益を最優先にして研究に参加していただいた多くの研究仲間の先生方に心よりの感謝の気持ちを表す。なお、代表して、以下の諸先生方のお名前を挙げるが、その他にも多くの先生方のご協力を得ていることを記す。日本の心ある、志ある先生方が力を結集して下さった

研究代表者

辻井正次 中京大学現代社会学部

研究委員会

安達 潤 (北海道教育大学旭川校)

萩原 拓 (北海道教育大学旭川校)

市川宏伸 (東京都立梅ヶ丘病院)

内山登紀夫 (大妻女子大学)

神尾陽子 (国立精神・神経センター)

黒田美保 (国立精神・神経センター)

小笠原恵 (東京学芸大学)

梅永雄二 (宇都宮大学)

中村和彦 (浜松医科大学)

杉山登志郎 (あいち小児保健医療総合センター)

行廣隆次 (京都学園大学)

井上雅彦 (鳥取大学大学院)

原 幸一 (徳島大学)

田中恭子 (益城病院)

研究協力者 (北海道から順に地域ごとで示す。順不同。原則、東海地区のアスペ・エルデの会スタッフは除く。また、各地の代表の先生のみを記載。)

分析担当

伊藤大幸 (名古屋大学大学院)

谷 伊織 (三重大学)

調査担当

弘前 増田貴人 (弘前大学)
山形 高橋信子 (山形発達研究センター)
宮城 白石雅一 (宮城学院女子大学)
茨城 野呂文行 (筑波大学)
富山 水内豊和 (富山大学)
金沢 大井 学 (金沢大学)
高橋和子 (金沢大学)
福井 三橋美典 (福井大学)
清水 聡 (福井県立大学)
長野 高橋知音 (信州大学)
大阪 内田裕之 (大阪大学)
加戸陽子 (関西大学)
奈良 櫻井秀雄 (関西福祉科学大学)
千原雅代 (天理大学)
兵庫 井澤信三 (兵庫教育大学大学院)
広島 七木田敦 (広島大学大学院)
徳島 森 健治 (徳島大学)
香川 松井剛太 (香川大学)
福岡 中庭洋一 (なかにわメンタルクリニック)
長崎 岩永竜一郎 (長崎大学大学院)
大分 佐藤晋治 (大分大学)
井伊暢美 (大分県立看護科学大学)
熊本 水間宗幸 (九州看護福祉大学)

5. 謝辞

本研究においては、全国の 1000 人ほどの市民の方々のご協力を得た。心よりの感謝の意を表す。関係する当事者団体や、関係者の皆様のご協力なしには実現しなかった。心よりの感謝を表し、これからの取組みに向けて、こうした協力への想いを活かすように取り組んでいきたい。